



MusicCAST 

MCX-C15

コントローラー

MCX-CA15

アンプ

設置マニュアル

ご注意:

本機の設置は必ず関連知識を有する工事・施工業者が行ってください。お客様ご自身では設置しないでください。

設置上のご注意

本書は MCX-C15 コントローラーおよび MCX-CA15 アンプの設置について説明しています。設置する前にお読みください。

絵表示の例



気をつけなければならない内容を表示しています。



してはいけない行為を表示しています。



必ずしなければならない行為を表示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



必ず行う

MCX-C15/MCX-CA15 を設置する際は、必ず本書に基づいて行う。

誤った設置や不十分な取り付けは MCX-C15/MCX-CA15 が落下してけがの原因となります。



必ず行う

取り付ける際は MCX-C15/MCX-CA15 の総自重に長期間十分耐え、また地震にも十分耐える施工を行う。

不十分な取り付けを行った場合、MCX-C15/MCX-CA15 が落下してけがの原因となります。



必ず行う

安全確保のため、ボルトおよびネジ類は確実に締めつける。

MCX-C15/MCX-CA15 が落下してけがの原因となります。



必ず行う

取り付けに使う部品は必ず同梱された部品や指定された部品（市販品）を使用する。

MCX-C15/MCX-CA15 が落下してけがの原因となります。



禁止

こわれた部品を使用しない。

MCX-C15/MCX-CA15 が落下してけがの原因となります。
万一、部品がこわれた場合は販売店にご相談ください。



接触禁止

雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。

感電の原因となります。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



禁止

放熱のため MCX-C15/MCX-CA15 を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- あおむけや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(少なくとも MCX-C15/MCX-CA15 の上下左右 10cm 以上離して設置してください。)

MCX-C15/MCX-CA15 の内部に熱がこもり火災の原因となります。



禁止

MCX-C15/MCX-CA15 の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうそくなどを置かない。

- 水や異物が中に入ると、火災や感電の原因となります。
- 接触面が経年変化を起こし、MCX-C15/MCX-CA15 の外装を損傷する原因となります。

	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。
	禁止	<p>冷暖房の吐き出し口や振動の多い場所に設置しない。 MCX-C15/MCX-CA15 に悪影響が生じて、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	禁止	<p>ほこりや湿気の多い場所に設置しない。 MCX-C15/MCX-CA15 内部にほこりが堆積することによりショートして、火災や感電の原因となることがあります。</p>
	禁止	<p>直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなるまたは低くなる場所（冷暖房機のそばなど）に設置しない。 変形したり、外装が変色する原因となることがあります。</p>
	禁止	<p>薬物厳禁 ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。 外装が傷んだりすることがあります。</p>
	禁止	<p>お客様による工事は一切行わないでください。 (工事は技術と経験が必要です。専門の工事業者または販売店にご依頼ください。) 不十分な取り付けは天吊金具や MCX-C15/MCX-CA15 が落下してけがをする原因となることがあります。</p>
	注意	<p>取り付け後は、定期的に安全点検をする。 長期間使用すると経年変化や振動等により、ネジがゆるんだり、取り付け強度が低下することがあります。</p>
	プラグを抜く	<p>長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 火災や感電の原因となることがあります。</p>
	禁止	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。 コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。</p>
	プラグを抜く	<p>移動をするときには、MCX-C15/MCX-CA15（または接続機器）の電源を切り、すべての接続を外す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。 ● コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず行う

必ず付属の専用 AC アダプターおよび DC 電源ケーブルを使用する。

専用 AC アダプターおよび DC 電源ケーブル以外の使用は、火災や感電の原因となることがあります。

AC アダプターは電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届く状態でご使用ください。

目次

はじめに

付属品の確認 (MCX-C15)	2
付属品の確認 (MCX-CA15)	3

設置

MCX-C15/MCX-CA15 の設置	4
MCX-CA15 の動作モードを設定する	4
壁内部のケーブル接続	6
スピーカーケーブルを接続する	10
付属の DC 電源ケーブルを接続する	10
CAT-5 ケーブルを接続する	11
MCX-C15/MCX-CA15 を壁に はめ込む	11
AC アダプターをコンセントに接続する	13
外部機器の接続	14
サブウーファーを接続する	14
テレビ / モニターを接続する	14
AV アンプを接続する	15
他の外部機器を接続する	15
IR フラッシュャーを接続する	16
複数の MCX-CA15 の接続 (カスケード接続)	17

クライアント機の設定

MCX-C15 のご使用前に	18
MusicCAST システムを バージョンアップする	18
MCX-C15 のネットワーク設定	22
電源モード	22
ネットワークの自動設定	23
ネットワークの手動設定	24

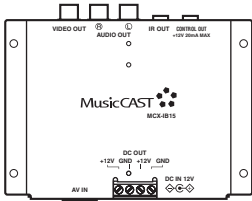
付録

故障かな?と思ったら	27
------------------	----

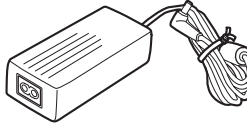
付属品の確認 (MCX-C15)

同梱されている付属品を確認してください。

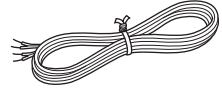
I/O ボックス
(MCX-IB15)



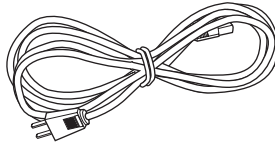
AC アダプター
(LSE0215C1240)



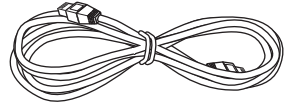
DC 電源ケーブル (2m) 2本



電源コード (1.6m)



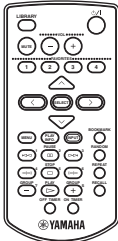
CAT-5 ケーブル (2m)



スペーサー 4個



リモコン



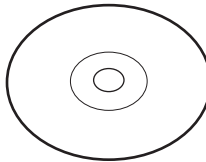
クイックマニュアル



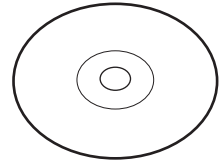
設置マニュアル (本書)



アップデート用 CD-ROM
(MusicCAST Software
Version Up Disc Vol.2.1
Including MCX-C15
Connectivity)



取扱説明書 (CD-ROM)



ご注意

取扱説明書 (CD-ROM) には、「MCX-C15 取扱説明書」と「バージョンアップマニュアル Vol.2」の2種類のPDFファイルが含まれています。MCX-C15の機能については「MCX-C15 取扱説明書」(C15_Manual_J.pdf)を、バージョンアップ2により追加される機能については「バージョンアップマニュアル Vol.2」(VersionUp_Manual_J.pdf)をご参照ください。

付属品の確認 (MCX-CA15)

同梱されている付属品を確認してください。

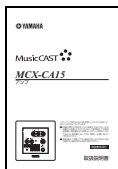
ステレオピン/ミニ変換
ケーブル (1m)



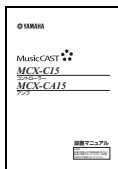
スパーサー 4 個



取扱説明書



設置マニュアル (本書)



MCX-C15/MCX-CA15 の設置

MCX-CA15 の動作モードを設定する

MCX-CA15 は MCX-C15 と組み合わせて使用することを目的としたパワーアンプですが、他のオーディオ機器のパワーアンプとしてもご使用いただけます。ただし接続する機器に応じて、MCX-CA15 の各部位に特定なはたらきを割り当てる必要があります。これを動作モードといいます。MCX-CA15 を各機器と接続する前に、以下の説明をよく読み、目的に応じた動作モードを設定してください。

ご注意

動作モードの設定は、MCX-CA15 を電源と接続する前に行ってください。

■動作モード

モード	説明	参照ページ
Aモード	MCX-CA15 を MCX-C15 と接続する際に使用するモードです。このモードでは、MCX-C15 を操作して MCX-CA15 を制御することができます。また MCX-CA15 の IR/CTRL 端子に IR フラッシャーを接続して AV リンク機能を使用することも可能です。AV リンク機能について詳しくは、「MCX-C15 取扱説明書」(CD-ROM) の「本機でヤマハ AV アンプを操作する (AV リンク機能)」(P.47 ページ) をご参照ください。	6、7ページ
Bモード	MCX-CA15 を MCX-C15 以外の機器と接続する際に使用するモードです。このモードでは、INPUT SENSE で設定した入力感度により MCX-CA15 の電源が制御されます。入力感度については「MCX-CA15 取扱説明書」の「入力感度を調節する」(P.12 ページ) をご参照ください。	9ページ
Cモード	MCX-CA15 を MCX-C15 以外の機器と接続する際に使用するモードです。このモードでは、接続した外部機器の制御信号により MCX-CA15 の電源が制御されます。	9ページ

ご注意

- MCX-CA15 では音量を調節することはできません。MCX-CA15 から音声を出力する前に、MCX-CA15 に接続した MCX-C15 や外部機器の音量を調節してください。
- MCX-CA15 と外部機器の接続および取り外しは、MCX-CA15 の AC アダプターをコンセントから抜いた状態で行ってください。

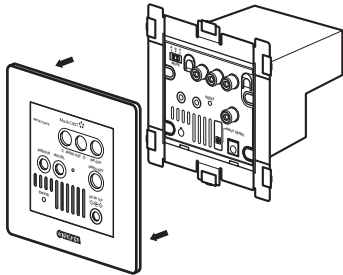
■動作モードを切り替える

以下の手順でMCX-CA15の動作モードを切り替えます。

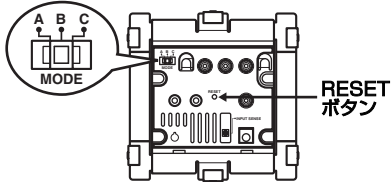
ご注意

- MCX-CA15の動作モードを、接続状態に合わせて設定してください(※4ページ)。
- フロントパネルを取り外したり取り付けたりする際は、パネルを無理に引っ張ったり押し込んだりしないでください。

1 フロントパネルを本体から取り外す。



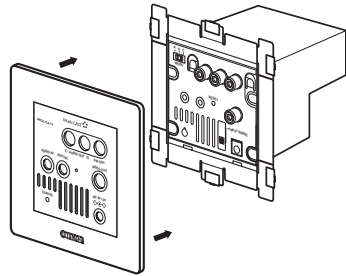
2 MODEスイッチを使用する動作モード(※4ページ)にあわせる。



3 RESET ボタンを押す。

ボールペンなど先の細長いものを使用してボタンを押します。

4 フロントパネルを本体に取り付ける。



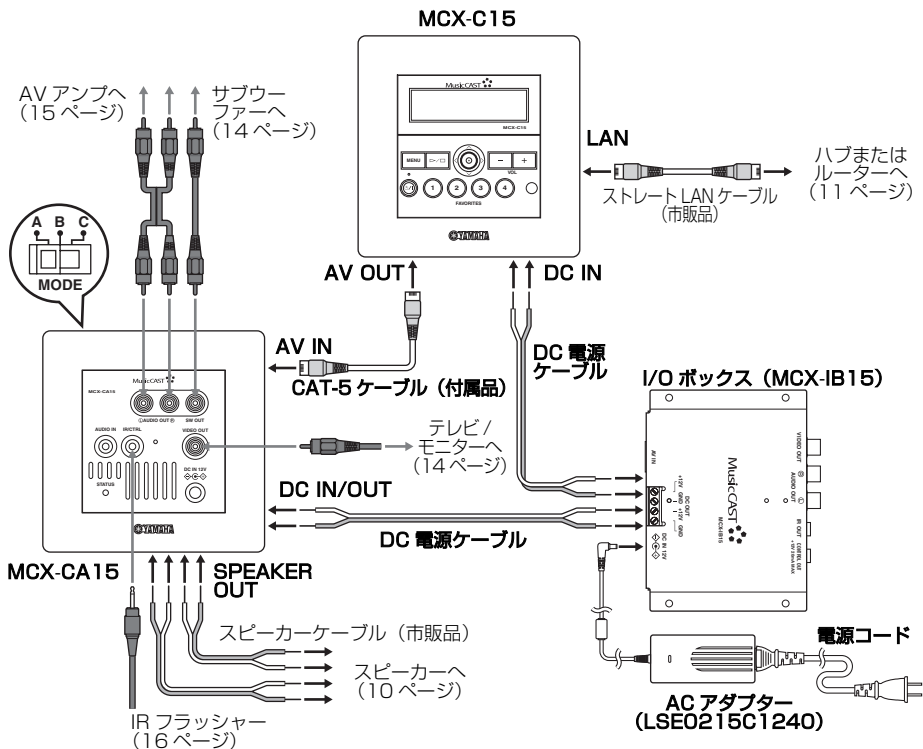
壁内部のケーブル接続

■MCX-C15、MCX-CA15、I/O ボックスを使用する場合

この接続では、MCX-C15 を使用して MCX-CA15 を制御することができます。MCX-C15、MCX-CA15 への電源は I/O ボックスから供給されます。

ご注意

- 電源の接続は、すべての機器を接続した後で行ってください。
- MCX-CA15 の動作モードを「A」に設定してください (※4 ページ)。
- MCX-C15 と MCX-CA15 の接続は、MCX-C15 に付属の CAT-5 ケーブルを使用してください。
- MCX-C15 とハブまたはルーターの接続は、市販のストレート LAN ケーブルを使用してください。

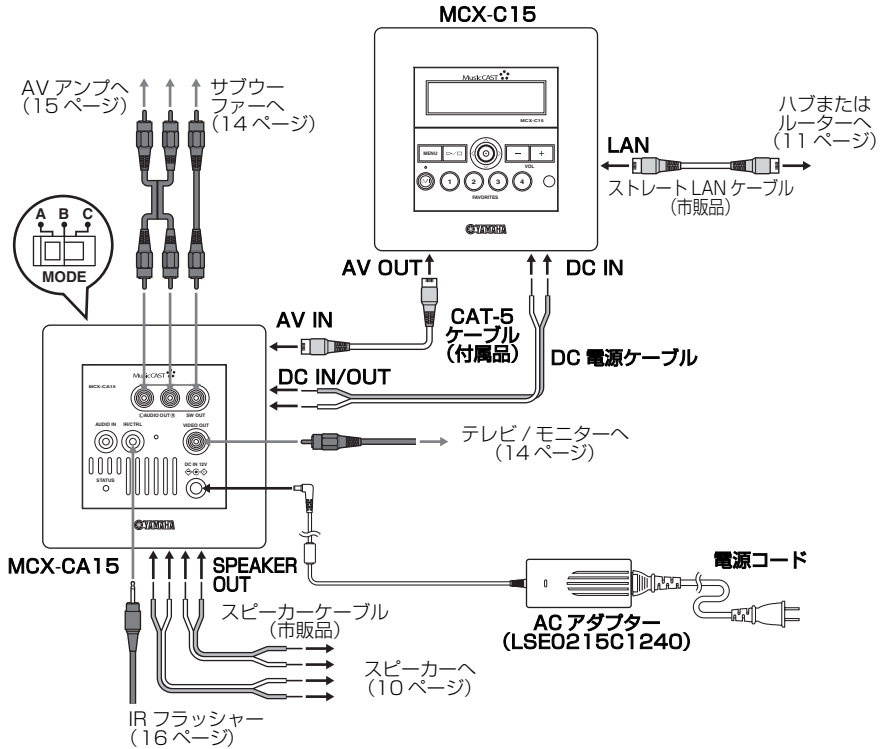


■ MCX-C15 と MCX-CA15 を使用する場合

この接続では、MCX-C15 を使用して MCX-CA15 を制御することができます。MCX-C15 への電源は MCX-CA15 から供給されます。

ご注意

- 電源の接続は、すべての機器を接続した後で行ってください。
- MCX-CA15 の動作モードを「A」に設定してください（※4 ページ）。
- MCX-C15 と MCX-CA15 の接続は、MCX-C15 に付属の CAT-5 ケーブルを使用してください。
- MCX-C15 とハブまたはルーターの接続は、市販のストレート LAN ケーブルを使用してください。

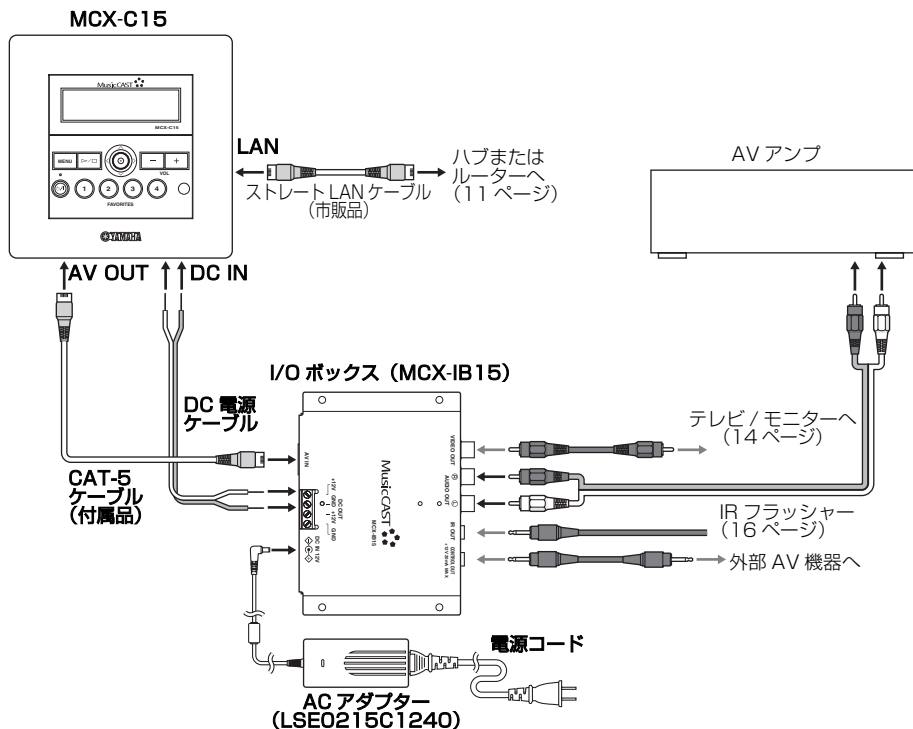


■ MCX-C15 と I/O ボックスを使用する場合

この接続では、MCX-C15 と AV アンプを組み合わせて使用します。また I/O ボックスの IR OUT 端子に IR フラッシャーを接続して AV リンク機能を使用することも可能です。AV リンク機能について詳しくは、「MCX-C15 取扱説明書」(CD-ROM) の「本機でヤマハ AV アンプを操作する (AV リンク機能)」(☞ 47 ページ) をご参照ください。

ご注意

- 電源の接続は、すべての機器を接続した後で行ってください。
- MCX-C15 と I/O ボックスの接続は、MCX-C15 に付属の CAT-5 ケーブルを使用してください。
- MCX-C15 とハブまたはルーターの接続は、市販のストレート LAN ケーブルを使用してください。

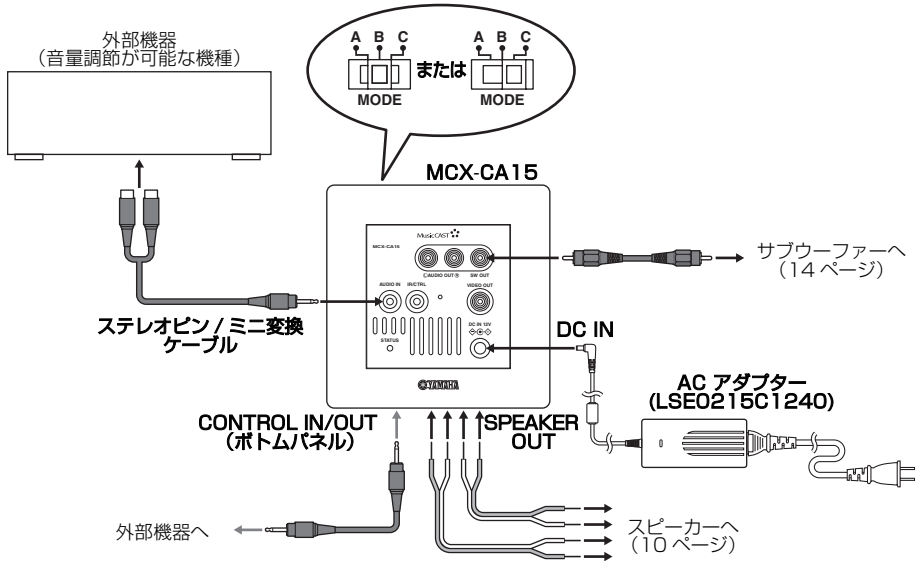


■ MCX-CA15 のみを使用する場合

この接続では、MCX-CA15にMCX-C15以外の機器を組み合わせ使用します。またMCX-CA15同士のカスケード接続（※17ページ）でスレーブ機として使用することも可能です。

ご注意

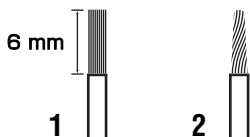
- 電源の接続は、すべての機器を接続した後で行ってください。
- MCX-CA15の電源モードを入力感度により制御する場合は動作モードを「B」に、外部機器の制御信号により制御する場合は動作モードを「C」に設定してください（※4ページ）。
- MCX-CA15をMCX-C15以外の機器のパワーアンプとして使用する場合（動作モード「B」または「C」）は、音量が調節できる外部機器と接続してください。音量調節は接続した外部機器で行なってください。



スピーカーケーブルを接続する

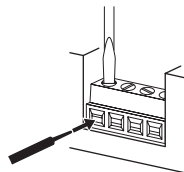
ご注意

- 電源の接続は、すべての機器を接続した後で行ってください。
- スピーカーケーブルの芯線はしっかりよじり、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルに接触したり、+側と-側が接触すると、保護回路が作動して電源がスリープ状態になることがあります。
- スピーカーは防磁型スピーカーをご使用ください。防磁型以外のスピーカーを使用すると、テレビ/モニターの画像が乱れることがあります。防磁型スピーカーをご使用の場合でも画像が乱れる場合は、テレビ/モニターとスピーカーを離して設置してください。
- スピーカーの+端子とMCX-CA15の+端子、スピーカーの-端子とMCX-CA15の-端子をそれぞれ接続してください。間違えて接続すると音が不自然になります。
- スピーカーはインピーダンスが 4Ω 以上のものをご使用ください。



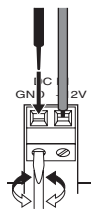
- 1 スピーカーケーブル先端の絶縁部（被覆）を 6mm ぐらいはがす。
- 2 芯線をしっかりよじる。
芯線同士が接触してショートするのを防ぎます。
- 3 スピーカー端子のネジをゆるめる。
- 4 スピーカー端子の穴に芯線を差し込む。

- 5 スピーカー端子のネジを締めてスピーカーケーブルを固定する。



付属の DC 電源ケーブルを接続する

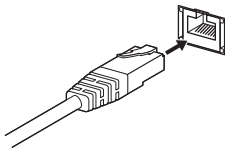
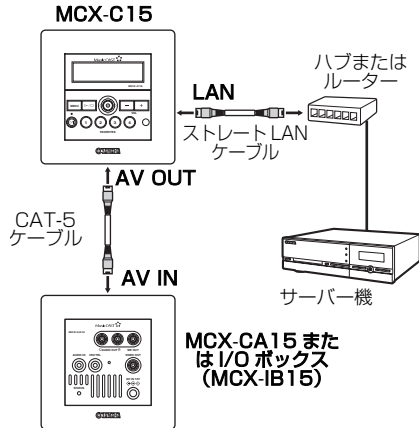
- 1 DC 電源ケーブル先端の絶縁部（被覆）を 6mm ぐらいはがす。
- 2 芯線をしっかりよじる。
芯線同士が接触してショートするのを防ぎます。
- 3 DC 端子のネジをゆるめる。
- 4 DC 端子の穴に芯線を差し込む。
- 5 DC 端子のネジを締めて DC 電源ケーブルを固定する。



CAT-5 ケーブルを接続する

ご注意

- 電源の接続は、すべての機器を接続した後で行ってください。
- サーバー機と MCX-C15 はハブまたはルーター経由で接続してください。



CAT-5 ケーブル (ストレート LAN ケーブル) を接続する。



- MCX-C15とMCX-CA15またはI/Oボックスの接続は、付属の CAT-5 ケーブルを使用してください。
- MCX-C15 とサーバー機の接続は、市販のストレートLANケーブルを使用してください。

MCX-C15/MCX-CA15 を壁にはめ込む

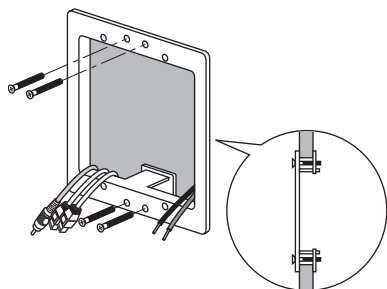
MCX-C15/MCX-CA15 はブラケットを使って壁にはめ込みます。以下の手順で設置してください。

ご注意

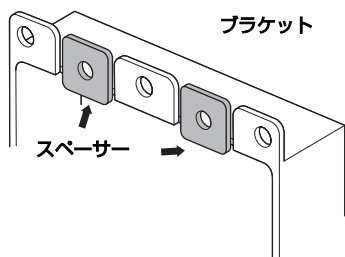
- 電源の接続は、すべての機器を接続した後で行ってください。
- MCX-C15/MCX-CA15 の上下左右にそれぞれ 10cm の通風スペースを確保し、断熱材などを取り除いてください。
- MCX-C15/MCX-CA15 を挿入する際、MCX-C15/MCX-CA15 と奥の壁面の間にケーブル類をはさまないようにご注意ください。
- MCX-C15/MCX-CA15 を上下逆さまに取り付けしないでください。MCX-C15/MCX-CA15 が過熱し、感電、発火、故障の原因になることがあります。

- 1 ブラケットのサイズに合わせて壁に穴を開ける。

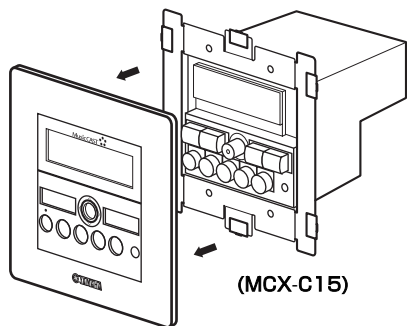
- 2 ブラケットを壁にネジ止めし、内側のケーブル類を外に引き出す。



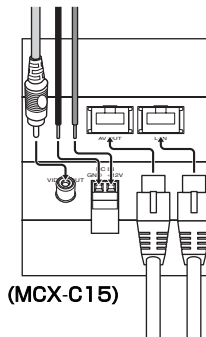
ブラケットに隙間がある場合は、付属のスペーサーをはめ込みます。



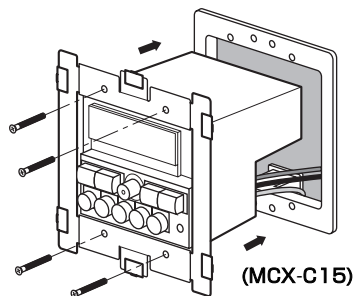
- 3 フロントパネルを本体から取り外す。



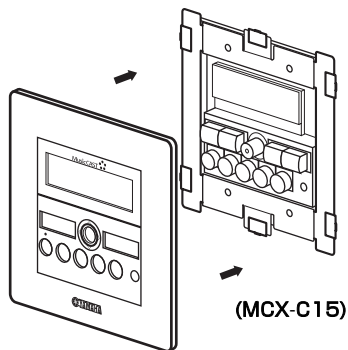
- 4 ケーブル類を接続する。



- 5 本体をブラケットに差し込み、ネジ止める。



- 6 フロントパネルを本体に取り付ける。



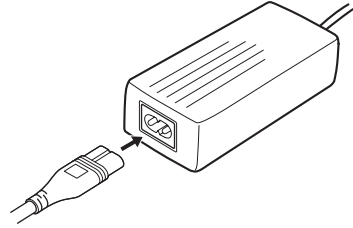
AC アダプターをコンセントに接続する

すべての接続が完了したらMCX-CA15またはI/O ボックスに、AC アダプターと電源コードを以下の手順で接続します。接続するとき電源プラグの向き（極性）によって音質が変わることがありますので、お好みの向きで接続してください。

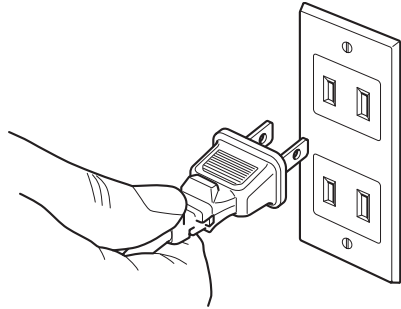
ご注意

- 付属の AC アダプター以外は使用しないでください。
- 火災や感電を防ぐため、ACアダプターはラックなどの安全な場所に置いてください。また電源プラグは、コンセントからすぐ抜けるようにしてください。
- MCX-CA15 をカスケード接続した場合に、1 つの AC アダプターで同時に 2 台以上作動させることはできません。
- MCX-C15 と MCX-CA15 は、電源に接続されている間は常に電流が流れています。電源を切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

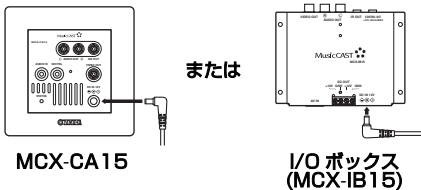
2 電源コードを AC アダプターに接続する。



3 電源プラグをコンセントに差し込む。



1 ACアダプターをDC IN端子に接続する。

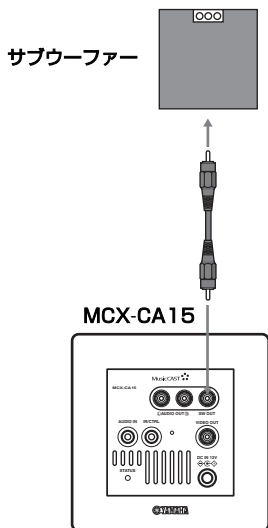


外部機器の接続

サブウーファーを接続する

MCX-CA15 にサブウーファーを接続すると、より豊かな低音をお楽しみいただけます。低音の聴こえ方はサブウーファーの位置と聴く位置の両方に影響されるので、サブウーファーの位置や角度を、聴く位置に応じていろいろお試しください。

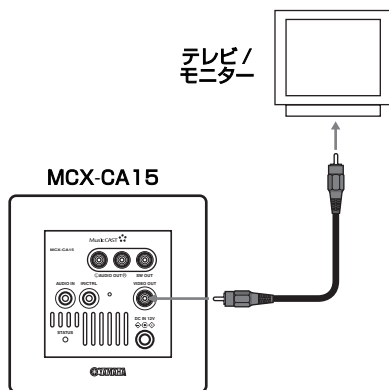
MCX-CA15 の SW OUT 端子にサブウーファーを接続する。



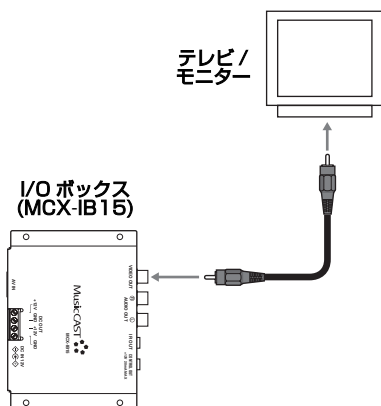
テレビ / モニターを接続する

市販のビデオケーブルを使用してテレビやモニターを接続すると、MCX-C15 のディスプレイの表示内容 (Setup 画面など英語表示のみに対応) を、接続した機器のテレビ / モニターに表示することができます。

MCX-CA15 の VIDEO OUT 端子にテレビ / モニターを接続する。



I/O ボックスの VIDEO OUT 端子にテレビ / モニターを接続する。

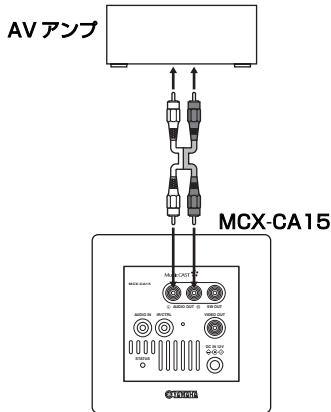


MCX-C15 (VIDEO OUT 端子) に直接テレビやモニターを接続することもできます。

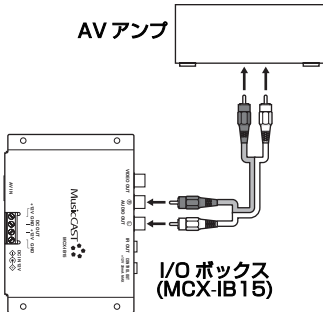
AV アンプを接続する

MCX-CA15またはI/OボックスにAVアンプを接続して、AVアンプから音声を楽しむことができます。

MCX-CA15のAUDIO OUT端子にAVアンプをアナログ接続する。



I/OボックスのAUDIO OUT端子にAVアンプをアナログ接続する。



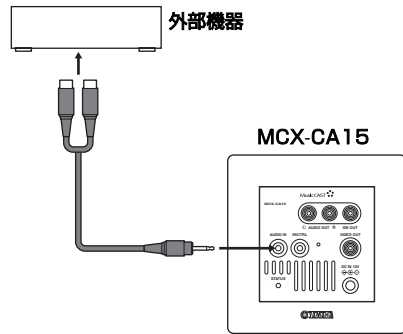
他の外部機器を接続する

DVDプレーヤーなどの外部機器をMCX-CA15に接続して、それらの機器の出力音声を楽しむことができます。

ご注意

MCX-CA15では音量を調節することはできません。接続する外部機器は音量調節が可能なものをご使用ください。音量調節は接続した外部機器で行ってください。

MCX-CA15のAUDIO IN端子に外部機器を接続する。



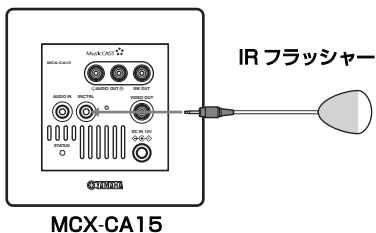
IR フラッシャーを接続する

MCX-CA15 または I/O ボックスに IR フラッシャーを接続すると、AV リンク機能対応のヤマハ AV アンプを操作できます。AV リンク機能について詳しくは、「MCX-C15 取扱説明書」(CD-ROM) の「本機でヤマハ AV アンプを操作する (AV リンク機能)」(P. 47 ページ) をご参照ください。

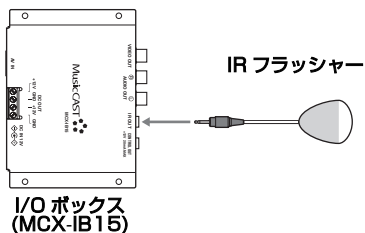
ご注意

MCX-CA15 の動作モードを「A」に設定してください (P. 4 ページ)。

MCX-CA15 の IR/CTRL 端子に IR フラッシャーを接続する。



I/O ボックスの IR OUT 端子に IR フラッシャーを接続する。



複数の MCX-CA15 の接続 (カスケード接続)

複数の MCX-CA15 を接続して、いっそう充実した音楽再生をお楽しみいただけます (カスケード接続)。

ご注意

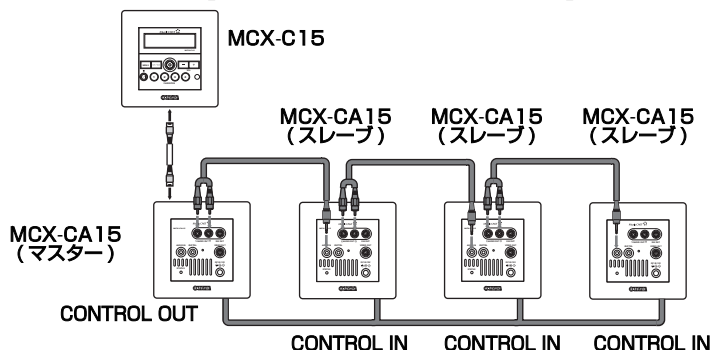
- ・スレーブ機の電源モード (オン/スリープ) は、マスター機の電源に連動して自動的に切り替わります。
- ・カスケード接続では、マスター機を含め合計 4 台の MCX-CA15 を接続できます。



スレーブ機の IR/CTRL 端子を CONTROL IN 端子として使用することもできます。

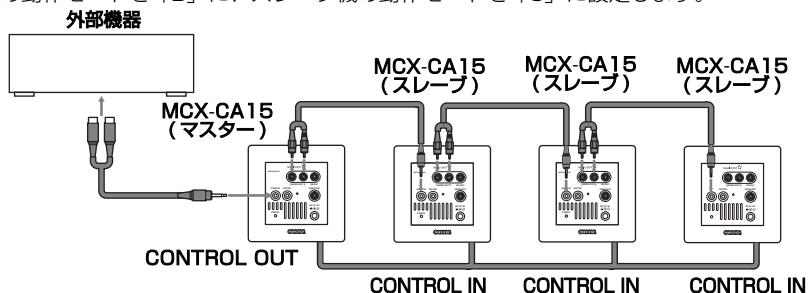
■ 接続例 1

マスター機の動作モードを「A」に、スレーブ機の動作モードを「C」に設定します。



■ 接続例 2

マスター機の動作モードを「B」に、スレーブ機の動作モードを「C」に設定します。



ご注意

マスター機には、音量が調節できる外部機器を接続してください。音量調節は接続した外部機器で行ってください。

MCX-C15 のご使用前に

MusicCAST システムをバージョンアップする

MCX-C15 を使用するには、MusicCAST システムのファームウェアをバージョンアップする必要があります。バージョンアップは MCX-C15 に付属のアップデート用 CD-ROM (MusicCAST Software Version Up Disc Vol.2.1 Including MCX-C15 Connectivity) を使って、サーバー機で行います。

サーバー機のバージョンアップが終了すると、バージョンアップで追加された機能が使用できます。

ご注意

- MCX-A10 をご使用の場合、バージョンアップは必ずサーバー機およびすべての MCX-A10 で行ってください。この際、サーバー機と MCX-A10 がネットワーク接続されていることをご確認ください。
- バージョンアップはすべての MCX-C15 と MCX-A10 の再生を停止してから行ってください。
- バージョンアップ中に電源の切断などが起きますと、ハードディスクにダメージを与える場合がありますのでご注意ください。停電などで電源が切断されてしまった場合はリカバリー (☞ 20、21 ページ) を実行してください。



- バージョンアップで追加される機能について詳しくは、付属の取扱説明書 (CD-ROM) に含まれる「バージョンアップマニュアル Vol.2」(VersionUp_Manual_J.pdf) をご参照ください。

■サーバー機のバージョンアップ

- 1 サーバー機のTOP MENUキーを押して、トップメニューを表示する。**
- 2 ^ / v キーを押して「システム設定」を選択し、SELECT キーを押す。**
システム設定画面が表示されます。
- 3 ^ / v キーを押して「システムユーティリティ」を選択し、SELECT キーを押す。**
システムユーティリティ画面が表示されます。
- 4 ^ / v キーを押して「システムのアップデート」を選択し、SELECT キーを押す。**
システムのアップデート画面が表示されます。
- 5 アップデート用CD-ROMをディスクトレイに入れ、ディスクトレイを閉じる。**
ディスクトレイを開閉するには OPEN/CLOSE キーを押します。
CD が自動的に読み込まれ、「アップデートの準備ができました」というメッセージが表示されます。
- 6 SELECT キーを押す。**
CD の読み込みが開始され、CD UPDATE 画面に「READING」が表示されます。
読み込みがすべて完了すると、画面左下に「UPDATE OK」というメッセージが表示されます。
- 7 CD を取り出しディスクトレイを閉じてから、STANDBY/ON キーを押す。**
サーバー機がスタンバイモードに切り替わります。

8 再度 STANDBY/ON キーを押す。

サーバー機が再起動され、トップメニューが表示されます。

以上でサーバー機のバージョンアップは完了です。

ご注意

- ・「アップデートの準備ができました」というメッセージが表示されない場合は、アップデート用 CD-ROM を入れ直してください。アップデート用 CD-ROM を入れ直してもメッセージが表示されない場合は、本書に記載されていますお客様相談センターまでお問い合わせください。
- ・「アップデートをもう一度行ってください」というメッセージが表示された場合は、「OK」を選択してSELECTを押し、サーバー機のバージョンアップを再度実行してください。

■ MCX-A10 のバージョンアップ

MCX-A10 をご使用の場合、バージョンアップを必ずすべての MCXA10 で行ってください。バージョンアップが終了すると、バージョンアップで追加された機能が使用できます。

1 MENUキーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。**2 へ / ｖ キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。**

Setup 画面が表示されます。

3 へ / ｖ キーを押して「System」を選択し、SELECT キーを押す。

System 画面が表示されます。

4 へ / ｖ キーを押して「System Update」を選択し、SELECT キーを押す。

System Update 画面が表示されます。

5 ▷ キーを押す。

更新情報の読み込みが開始され、System Update 画面に [Receiving] → [data Check] → [Flash Erase] → [Flash Write] → [Verify] → [Update O.K.] が表示されます。この後、MCX-A10 が自動的に再起動されトップメニューが表示されます。

以上でMCX-A10のバージョンアップは完了です。

■ サーバー機のリカバリー

電源の切断などでバージョンアップが中断した場合は、サーバー機を起動してから以下の手順でリカバリーを実行してください。

システムバージョン画面の Main CPU 欄と MCX-A10 欄に「3.2.x」と表示されていれば、サーバー機のバージョンアップは完了です。詳しくはサーバー機に付属の「MCX-1000 取扱説明書」の「システムバージョンを確認する」(☞203 ページ) をご参照ください。

ご注意

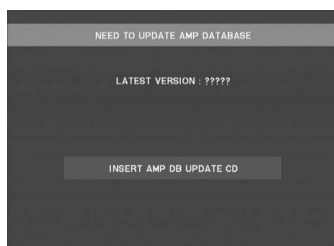
リカバリーが完了するまでは、アップデート用 CD-ROM を取り出さないでください。

ケース 1

- 「OSD VERSION MISMATCH」画面が表示された
- 「NEED TO UPDATE AMP DATABASE」画面が表示された



または



上記の画面が表示された場合、リカバリーが自動的に開始されます。リカバリーがすべて完了すると、画面左側に「UPDATE OK」または「RECOVERY OK」というメッセージが表示されますので、以下の手順でサーバー機を再起動します。

1 STANDBY/ON キーを押す。

サーバー機がスタンバイモードに切り替わります。

2 再度 STANDBY/ON キーを押す。

サーバー機が再起動されます。

この際、トップメニューが表示されていればリカバリーは完了です。

再度リカバリーが自動的に開始された場合は、画面指示に従って再リカバリーを実行してから、上記の手順でサーバー機を再起動してください。

ケース 2

- トップメニューが表示され正常に操作できない (外見は正常だが電源の切断などでバージョンアップを完了できなかった)
- トップメニューが表示されたが画面に乱れがある

サーバー機のバージョンアップを再度実行してください (☞18 ページ)。

ケース 3

- トップメニューが表示されたが正常に操作できない
- 正常に起動されない

本書に記載されておりますお客様ご相談センターまでお問い合わせください。

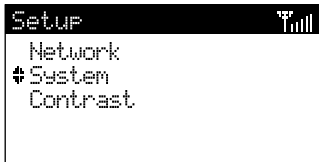
■ MCX-A10 のリカバリー

電源の切断などでバージョンアップが中断した場合は、MCX-A10 を起動してから以下の手順でリカバリーを実行してください。

Information画面のVersion欄に「3.2.x」と表示されていれば、MCX-A10 のバージョンアップは完了です。詳しくは同機に付属の「MCX-A10 取扱説明書」の「システム情報を確認する」(☞72 ページ) をご参照ください。

ケース 1

トップメニューが表示されずに Setup 画面が表示された

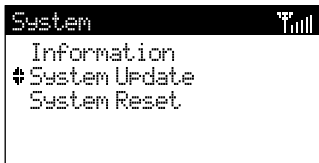


以下の手順で MCX-A10 のリカバリーを実行します。

ご注意

「System Update」を選択する際、誤って「System Reset」を選択してしまうと同機のネットワーク設定が初期化されてしまいますので、お間違えのないようご注意ください。

1 [System]→[System Update]を選択する。



System Update 画面が表示されます。



表示例

2 ▷ キーを押す。

リカバリーが開始され、System Update 画面に [Receiving] → [Data Check] → [Flash Erase]→[Flash Write]→[Verify] → [Update O.K.] が表示されます。この後、MCX-A10 が自動的に再起動されトップメニューが表示されれば、リカバリーは完了です。

ケース 2

トップメニューが表示され正常に操作できる(外見は正常だが電源の切断などでバージョンアップを完了できなかった)

MCX-A10 のバージョンアップを再度実行してください (☞19 ページ)。

MCX-C15 のネットワーク設定

電源モード

接続およびバージョンアップが完了したら以下の方法で MCX-C15 の電源を入れます。

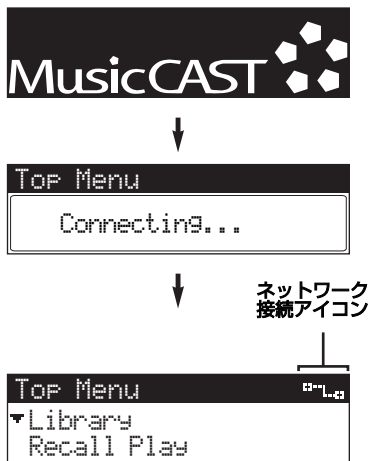
オン 電源が入っていて、いつでも操作できる状態です。

スリープ 待機状態です。ディスプレイには時刻が表示されます。

MCX-C15 の電源をオンにする前に、サーバー機の電源がオンになっていることをご確認ください。

1 電源キーを押す。

MCX-C15 の電源がオンになり、ディスプレイの表示が以下のように切り替わります。



トップメニューが表示され、画面右上にネットワーク接続アイコンが点灯します。

「Connecting...」の表示が長く続きトップメニューに切り替わらない場合は、一度 MCX-C15 の電源をスリープにしてから再度電源キーを押してください。

再起動後も同じ状態が続く場合は、MCX-C15 とサーバー機のネットワークが正しく設定されていない可能性があります。フロントパネル上のいずれかのボタンを押しトップメニューを表示してから、各機のネットワーク設定をご確認ください。MCX-C15 のネットワーク設定については同機に付属している「MCX-C15 取扱説明書」(CD-ROM) の「ネットワーク設定の確認」(※58 ページ)、サーバー機のネットワーク設定については同機に付属している「MCX-1000 取扱説明書」の「ネットワーク (LAN) の設定をする」(※158 ページ) をご参照ください。

ご注意

各機のネットワークが正しく設定されているにも関わらず実際の接続ができない場合、ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。詳しくは「壁内部のケーブル接続」(※6 ~ 8 ページ) をご参照ください。

☀

再生停止中に操作をしない状態が 30 分間続くと、MCX-C15 の電源モードが自動的にスリープに切り替わります。電源モードを再度オンにするには、SELECT キーまたは電源キーを押してください。

ネットワークの自動設定

MCX-C15 とサーバー機のネットワークを自動で設定することができます。

ネットワークを設定する前に以下の作業を行ってください。

- MCX-C15 にすべての機器を接続してください。
- サーバー機のシステムをバージョンアップしてください (※ 18 ページ)。
- サーバー機をネットワーク自動設定モードにしてください。詳しくは同機に付属の「MCX-1000 取扱説明書」の「ネットワークの自動設定」(※ 161 ページ)をご参照ください。

■ MCX-C15 の操作

- 1 MENUキーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。
- 2 \wedge / \vee キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。

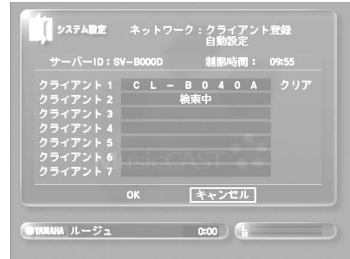


Setup 画面が表示されます。

- 3 \wedge / \vee キーを押して「Network」を選択し、SELECT キーを押す。
Network 画面が表示されます。
- 4 \wedge / \vee キーを押して「Auto Configuration」を選択し、SELECT キーを押す。
Auto Configuration 画面が表示されます。

5 \triangleright キーを押してネットワークの自動設定を開始する。

ネットワークの自動設定を実行せずに操作を中止する場合は、 \leftarrow キーを押します。



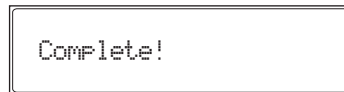
自動設定中のクライアント機の ID がサーバー機の画面に表示されます。



自動設定モードになっているサーバー機が複数存在する場合は、クライアント機の画面に複数のサーバー機が表示されます。 \wedge / \vee キーで接続するサーバー機の ID を選択し、SELECT キーを押してください。

■ サーバー機の操作

- 6 \wedge / \vee / \leftarrow / \rightarrow キーを押して「OK」を選択し、SELECT キーを押す。
設定内容を保存し、ネットワーク自動設定を終了します。またネットワーク自動設定は 5 分かかる場合があります。
ネットワーク自動設定が終了すると、MCX-C15 に以下の画面が表示されます。



ネットワークの手動設定

MCX-C15 とサーバー機のネットワークを手動で設定することができます。この設定は、ネットワーク自動設定によりネットワーク設定が完了している場合は必要ありません。

手動設定を行う場合、すべての項目を設定する必要はありませんが、以下の項目は必ず設定してください。

- サーバー ID
- IPアドレス(DHCPがOFFになっている場合)
- サブネットマスク (*)
 - * MusicCAST システムは (1 台以上のハブで構成された) 同一サブネット内のみ正常に作動します。

手動設定の前に、以下の作業を行ってください。

- MCX-C15 にすべての機器を接続してください。
- サーバー機のシステムをバージョンアップしてください (☞18 ページ)。
- クライアント ID をサーバー機に登録してください。詳しくはサーバー機に付属の「MCX-1000 取扱説明書」の「クライアント ID の手動設定」(☞177 ページ) をご参照ください。
- サブネットマスクをサーバー機に設定してください (サーバー機と MCX-C15 に同一の値を設定する必要があります)。詳しくはサーバー機に付属の「MCX-1000 取扱説明書」の「サーバー機の IP アドレスを設定する」(☞166 ページ) をご参照ください。

1 MENUキーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 ^ / v キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。



Setup 画面が表示されます。

3 ^ / v キーを押して「Network」を選択し、SELECT キーを押す。

Network 画面が表示されます。

4 ^ / v キーを押して「Manual Setup」を選択し、SELECT キーを押す。

Manual Setup 画面が表示されます。

■サーバー ID を設定する

MCX-C15 を接続するサーバー機の ID を設定します。



サーバー ID は、サーバー機の画面に表示されるとおり正確に入力してください。サーバー機の ID を確認する方法は、サーバー機に付属の「MCX-1000 取扱説明書」の「IP アドレス画面を表示する」(☞175 ページ) をご参照ください。

1 [Top Menu] → [Setup] → [Network] → [Manual Setup] を選択する。

Manual Setup 画面が表示されます。

2 ^ / v キーを押して「Server ID」を選択し、SELECT キーを押す。



Server ID 画面が表示されます。

- 3 > キーを押して「SV-0001」を選択し、SELECT キーを押す。

```
Server ID
▼ [SV-0001]
Save & Network restart
```

設定欄にカーソルが表示されます。

- 4 接続するサーバー機の ID を入力し、SELECT キーを押す。

文字の選択は ^ / v キー、カーソルの左右移動は < / > キーを使用します。

- 5 ^ / v キーを押して「Save&Network restart」を選択し、SELECT キーを押す。

サーバーIDを設定せずに操作を中止するには、^ / v キーを押して「Cancel」を選択し、SELECT キーを押します。

```
Server ID
[SV-0001]
◆ Save & Network restart
```

ディスプレイの表示が Manual Setup 画面に戻ります。

■ DHCP モードを設定する

MCX-C15 の電源を入れるたびに DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得したいときは、DHCP 設定を ON にします（初期設定）。

- 1 [Top Menu] → [Setup] → [Network] → [Manual Setup] を選択する。

Manual Setup 画面が表示されます。

- 2 ^ / v キーを押して [DHCP] を選択し、SELECT キーを押す。

```
Manual Setup
Server ID
◆ DHCP
```

DHCP 画面が表示されます。

- 3 ^ / v キーを押して DHCP モードを選択する。

ON DHCP サーバーから IP アドレスを自動設定するときに設定します（初期設定）。

DHCP サーバーの設定を変更した場合は、MCX-C15 を再起動してください。

OFF IP アドレスやサブネットマスクを手動設定するときに設定します。

■ IP アドレスを設定する

MCX-C15 の IP アドレスを手動で入力できます。この設定は、DHCP サーバーモードが「OFF」に設定されているときのみ有効です。

- 1 [Top Menu] → [Setup] → [Network] → [Manual Setup] を選択する。

Manual Setup 画面が表示されます。

- 2 ^ / v キーを押して「IP Address」を選択し、SELECT キーを押す。

```
Manual Setup
DHCP
◆ IP Address
```

IP Address 画面が表示されます。

- 3 > キーを押して「0.0.0.0」を選択し、SELECT キーを押す。

```
IP Address
▼ [ 0. 0. 0. 0 ]
Save & Network restart
```

設定欄にカーソルが表示されます。

- 4 IP アドレスを入力し、SELECT キーを押す。

数値の変更は ^ / v キー、カーソルの左右移動は < / > キーを使用します。4 つの欄すべてに入力してください。

- 5 ^/∨キーを押して「Save&Network restart」を選択し、SELECT キーを押す。

IPアドレスを設定せずに操作を中止するには、^/∨キーを押して「Cancel」を選択し、SELECT キーを押します。

```
IP Address          [ 0. 0. 0. 0 ]
◆ Save & Network restart
```

ディスプレイの表示が Manual Setup 画面に戻ります。

■ サブネットマスクのアドレスを設定する

サブネットマスクを手動で入力できます。この設定は、DHCP サーバーモードが「OFF」に設定されているときのみ有効です。



MCX-C15 のサブネットマスクは、サーバー機の画面に表示されるとおり正確に入力してください。サーバー機のサブネットマスクを確認する方法は、サーバー機に付属の「MCX-1000 取扱説明書」の「IP アドレス画面を表示する」(p.175 ページ) をご参照ください。

- 1 [Top Menu]→[Setup]→[Network] → [Manual Setup] を選択する。
Manual Setup 画面が表示されます。

- 2 ^/∨キーを押して「Subnet Mask」を選択し、SELECT キーを押す。

```
Manual Setup
IP Address
◆ Subnet Mask
```

Subnet Mask 画面が表示されます。

- 3 ^/∨キーを押して「0.0.0.0」を選択し、SELECT キーを押す。

```
Subnet Mask
▼ [ 0. 0. 0. 0 ]
Save & Network restart
```

設定欄にカーソルが表示されます。

- 4 サブネットマスクを入力し、SELECT キーを押す。

数値の変更は ^/∨キー、カーソルの左右移動は </> キーを使用します。4 つの欄すべてに入力してください。

- 5 ^/∨キーを押して「Save&Network restart」を選択し、SELECT キーを押す。

サブネットマスクを設定せずに操作を中止するには、^/∨キーを押して「Cancel」を選択し、SELECT キーを押します。

```
Subnet Mask
[ 0. 0. 0. 0 ]
◆ Save & Network restart
```

ディスプレイの表示が Manual Setup 画面に戻ります。

故障かな？と思ったら

ご使用中に MCX-C15/ MCX-CA15 が正常に作動しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や、対処しても正常に作動しない場合は、MCX-C15 の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げ店または最寄のヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせの上、サービスをご依頼ください（巻末の「ヤマハホットラインサービス」をご覧ください）。

症状	原因	対策	参照ページ
MCX-C15 が本書の説明どおりに作動しない。	MusicCAST システムのファームウェアがバージョンアップされていない。	サーバー機をバージョンアップしてください。	18 ページ
ネットワーク自動設定が正常に機能しない。	ネットワークが正しく設定されていない。	サーバー機のネットワーク設定を確認してください。	MCX-1000 取扱説明書 (175 ページ)
	サーバー機がネットワーク自動設定モードになっていない。	サーバー機をネットワーク自動設定モードにしてください。	MCX-1000 取扱説明書 (161 ページ)
	サーバー機が録音中である。	サーバー機の録音を停止し、もう一度ネットワーク自動設定を実行してください。	23 ページ MCX-1000 取扱説明書 (161 ページ)
	ネットワーク上に DHCP サーバーが 2 台以上あり、同じ IP アドレスを使おうとしている。	ネットワーク上の DHCP サーバーを 1 台にしてください。	MCX-1000 取扱説明書 (169 ページ)
MCX-C15 から音が出ない	ネットワーク自動設定が完了していない。	ネットワーク自動設定を実行してください。	23 ページ
	ネットワークが正しく設定されていない。	クライアント機とサーバー機のネットワーク設定を確認してください。	MCX-C15 取扱説明書 (58 ページ) MCX-1000 取扱説明書 (175 ページ)
	サーバー機の電源モードがスタンバイになっている。	サーバー機の電源モードをオンにしてください。	—
	サーバー機に MP3 フォーマットに変換された曲データが保存されていない。	サーバー機に曲を録音してください。	MCX-1000 取扱説明書 (25 ページ)

症状	原因	対策	参照ページ
MCX-C15 から音が出ない	MCX-C15 の音量が低く設定されている。	MCX-C15 の音量を上げてください。	MCX-C15 取扱説明書 (20 ページ)
	スピーカーが MCX-CA15 に正しく接続されていない。	スピーカーと MCX-CA15 の接続を確認し、正しく接続しなおしてください。	8 ページ
	MCX-C15 の「Amplifier」が正しく設定されていない。	接続したアンプに合わせて正しく設定してください。	MCX-C15 取扱説明書 (47 ページ)
MCX-C15 の再生音が音飛びする	ネットワークが非常に混雑している。	ネットワーク周辺機器をアップグレードするか、MusicCASTシステムのネットワークを既存のネットワークから独立させてください。	—
MCX-CA15 の STATUS ランプが点滅する (保護回路が作動している)	ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルを正しく接続しなおしてください。 MCX-CA15 を MCX-C15 に接続して使用している場合は、MCX-C15 の OFF ボタンを約 10 秒間押し続けてシステムを再起動してください。 MCX-CA15 を他のオーディオ機器に接続して使用している場合は、MCX-CA15 のフロントパネル内にある RESET ボタンを押して MCX-CA15 を再起動してください。	5 ページ
	低インピーダンスのスピーカーを使用している。	4 Ω 以上のインピーダンスをもつスピーカーを使用してください。 MCX-CA15 を MCX-C15 に接続して使用している場合は、MCX-C15 の OFF ボタンを約 10 秒間押し続けてシステムを再起動してください。 MCX-CA15 を他のオーディオ機器に接続して使用している場合は、MCX-CA15 のフロントパネル内にある RESET ボタンを押して MCX-CA15 を再起動してください。	5 ページ

ヤマハホットラインサービスマネットワーク

ヤマハホットラインサービスマネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

● ヤマハ電気音響製品サービス拠点

- 北海道** 〒064-8543 札幌市中央区南十条西 1-1-50
ヤマハセンター内
TEL (011) 512-6108
- 仙台** 〒984-0015 仙台市若林区卸町 5-7
仙台卸商共同配送センター 3F
TEL (022) 236-0249
- 首都圏** 〒143-0006 東京都大田区平和島 2丁目 1番 1号
京浜トラックターミナル内 14号棟 A-5F
TEL (03) 5762-2121
- 浜松** 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465-6711
- 名古屋** 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町 2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター 3F
TEL (052) 652-2230
- 大阪** 〒565-0803 吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ(株)
千里丘センター内
TEL (06) 6877-5262
- 四国** 〒760-0029 高松市丸亀町 8-7
ヤマハ(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822-3045
- 九州** 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前 2-11-4
TEL (092) 472-2134

愛情点検



★永年ご使用の製品の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

- **保証期間**
お買い上げ日より1年間です。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**
 - ◆ **技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
 - ◆ **部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
 - ◆ **出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **持ち込み修理のお願い**
故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。
- **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定にご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくために AV 製品全般について記載しております。

製品の機能や取扱いに関するお問い合わせは、お客様ご相談センターにご連絡ください。

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01-1808 (ナビダイヤル)
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

FAX (053) 460-3459

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町 10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00、13:00~18:00
(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきます。)

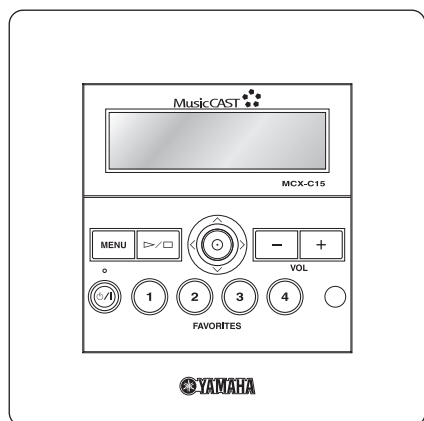




MusicCAST

MCX-C15

コントローラー



ヤマハコントローラーMCX-C15をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■ 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

■ 保証書は、「お買上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

クイックマニュアル

安全上のご注意（安全に正しくお使いいただくために）

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



気をつけなければならない内容を表しています。
たとえば ▲ は「感電注意」を示しています。



してはいけない行為を表しています。
たとえば ㊄ は「分解禁止」を示しています。



必ずしなければならない行為を表しています。
たとえば ㊄ は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がする。
- 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。
- 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかる場所

水滴の混入により火災や感電の原因となります。



接触禁止

雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。

感電の原因となります。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因となります。

修理・調整は販売店にご依頼ください。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- あおむけや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

(少なくともMCX-C15の上下左右10 cm以上離して設置してください。)

本機の内部に熱がこもり火災の原因となります。



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因となります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。



必ず行う

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



必ず行う

必ず AC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



必ず行う

電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。



禁止

本機にもものを入れたり、落としたりしない。

火災や感電の原因となります。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうそくなどを置かない。

- 水や異物が中に入ると、火災や感電の原因となります。
- 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒してけがの原因となることがあります。



禁止

直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。



必ず行う

再生を始める前には、音量（ボリューム）を最小にする。

突然大きな音が出て聴力障害の原因となることがあります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

移動をするときには、本機（または接続機器）の電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

- 接続機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
- コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。

聴力障害の原因となることがあります。

	<h2>注意</h2> <p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
 <p>必ず行う</p>	<p>電池は極性表示 (プラス⊕とマイナス⊖) に従って、正しく入れる。 間違えると破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>指定以外の電池は使用しない。また種類の異なる電池や新しい電池と古い電池をいっしょに混ぜて使用しない。 破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。 電池がショートし破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。 破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ほこりや湿気の多い場所に設置しない。 ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。</p>
 <p>プラグを抜く</p>	<p>手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。 感電の原因となることがあります。</p>
 <p>注意</p>	<p>本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。 それらの製品とはできるだけ離して設置してください。</p>
 <p>必ず行う</p>	<p>電源プラグは確実にコンセントに根もとまで確実に差し込む。 差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>電源プラグを差し込んだときゆるみがあるコンセントは使用しない。 感電や発熱・火災の原因となることがあります。</p>



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

結露が発生した場合には、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



必ず行う

必ず付属の専用 AC アダプターおよび DC 電源コードを使用する。

専用 AC アダプターおよび DC 電源コード以外の使用は、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

お客さまによる工事は一切行わないでください。

（工事は技術と経験が必要です。専門の工事業者または販売店にご依頼ください。）

不十分な取り付けは、本機が落下して、けがをする原因となることがあります。



必ず行う

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外してください。電池が破裂したり、電池から液が漏れることがあります。



必ず行う

使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄してください。

AC アダプターは電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届く状態でご使用ください。

目次

はじめに

本機の特長	2
MusicCAST システムの概要	3
サーバー機	4
クライアント機	4
アンプ	4

音楽を聴く

電源モード	5
リモコンを使用する	6
フロントパネルのコントローラーを 使用する	7
サーバー機に保存した曲を聴く	8
音量を調節する	10
音色を調節する	11
再生時間表示を切り替える	12

いろいろな機能と設定

いろいろな機能と設定	13
よく使う機能	13
便利な機能	13
外部音声の再生	13
その他の機能	14
ディスプレイの設定	14
システムの設定	14
付録	14
クイックメニューガイド	15

はじめに

音楽を聴く

いろいろな
機能と設定

本機の特長

本機 MCX-C15 は、MusicCAST サーバー機 MCX-1000 のライブラリーに保存した曲を受信・再生するための機器です。複数のクライアント機（サーバー機には本機を含めて最大7 台の接続が可能）をご使用いただくことにより、お好みの場所に設置した各クライアント機でお聴きになりたい曲を同時に再生することができます。

本機の主な特長は以下のとおりです。

- ◆ サーバー機のライブラリーに保存した曲を受信・再生
- ◆ 複数のクライアント機でそれぞれがお好みの曲を再生（同時再生可）
- ◆ インテリアにとけこむ洗練されたデザイン（壁はめ込みタイプ）
- ◆ 表示が見やすい 128 x 32 画素のディスプレイ
- ◆ 便利な再生機能（リピート / ランダム再生、ブックマーク、オートプレイ）
- ◆ お好みの音楽をワンタッチ再生する FAVORITES（フェイバリット）機能
- ◆ 2種類のタイマー設定でいつでも自動再生 & スリープ
- ◆ 外部接続したヤマハAV アンプを赤外線コントロールする AV リンク機能

本書について

- 本書は主に本機の操作方法について説明しています。本機の設置およびネットワーク設定については、付属の「設置マニュアル」をご参照ください。
- 本書では、リモコンでの操作を前提に各手順を説明しています。ほとんどの機能は本体フロントパネル上のボタンを操作しても同様に使用いただけますが、一部リモコンのキーでのみ操作可能なものがあります。
- 本書では、MCX-C15、MCX-A10 をクライアント機と記載しています。
- 「ご注意」では操作・設定を行う際に留意すべき事項、※では知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- 本書は製品開発に先がけ作成されております。その後、操作性の向上、その他の理由により、製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

本機の設置は必ず関連知識を有する工事・施工業者が行ってください。詳しくは付属の「設置マニュアル」をご参照ください。



Fraunhofer Institut
Integrierte Schaltungen

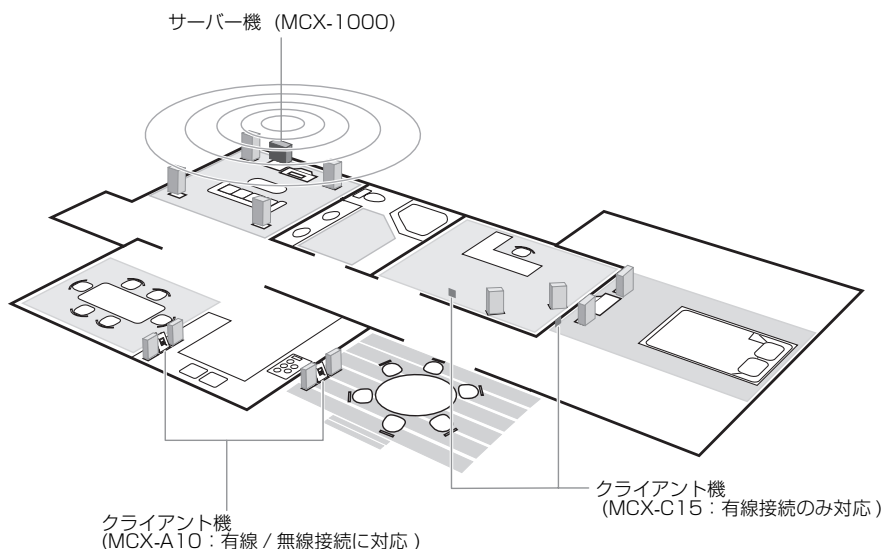
MPEG Layer-3 音声圧縮技術については、Fraunhofer IIS および Thomson よりライセンスを受けております。

本製品は株式会社 ACCESS の AVE-TCP
を搭載しています。

Copyright © 1996-2002 ACCESS CO., LTD

MusicCAST システムの概要

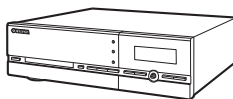
MusicCAST システムは、LAN を使用した音楽配信システムです。サーバー機のライブラリーに曲を保存することにより、サーバー機はもちろんのこと、家庭内の各場所に設置したクライアント機でもこれらの曲をご自由にお楽しみいただくことができます。またサーバー機、クライアント機には音楽をより一層お楽しみいただけるよう、たくさんの便利な機能が備わっています。お好みの曲リストを作成するプレイリスト機能、自動で音楽配信を開始・停止するタイマー機能、別の部屋で聴いていた音楽を引き継ぎ再生するリコール機能など、目的に応じてさまざまな機能をご活用いただけます。先進する MusicCAST システムにより、独自のサウンドワールドを存分にお楽しみください。



ご注意

- サーバー機とクライアント機の接続方法には、有線接続と無線接続の2種類があります。本機は有線接続のみに対応しています。有線接続の場合には、最大7台までサーバー機に接続することが可能です。
- 無線接続にはMCX-A10が必要になります。無線接続(最大5台)と有線接続を併用する場合には、最大7台までサーバー機に接続することが可能です。

サーバー機



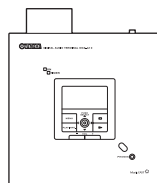
MCX-1000
デジタルオーディオサーバー

サーバー機には 80GB のハードディスクが内蔵されており、最大約 1000 時間の曲データ (MP3 モード、圧縮レート 160kbps 使用時) を保存することができます。保存した曲データはサーバー機およびネットワーク接続した各クライアント機で再生することが可能です。サーバー機について詳しくは、同機に付属の「MCX-1000 取扱説明書」をご参照ください。

クライアント機



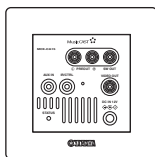
MCX-C15 コントローラー (本機)



MCX-A10
デジタルオーディオターミナル

クライアント機はサーバー機に保存した曲データを受信・再生するための機器です。複数のクライアント機をご使用の場合、各クライアント機で個別の曲を再生してお楽しみいただくことができます。本機について詳しくは、本書および「MCX-C15 取扱説明書」をお読みください。また MCX-A10 について詳しくは同機に付属の「MCX-A10 取扱説明書」をご参照ください。

アンプ



MCX-CA15 アンプ

MCX-CA15 はクライアント機 (MCX-C15) と組み合わせて使用することを目的としたパワーアンプですが、他のオーディオ機器と組み合わせてご使用いただくこともできます。MCX-CA15 について詳しくは、同機に付属の「MCX-CA15 取扱説明書」をご参照ください。

電源モード

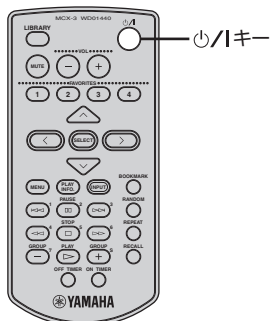
本機を初めて使用する際は、MusicCAST システムをアップグレードしてから、ネットワークを設定する必要があります。ネットワーク設定について詳しくは「設置マニュアル」の「MCX-C15 のご使用前に」(P.18 ページ)と「MCX-C15 のネットワーク設定」(P.22 ページ)をご参照ください。

準備がすべて完了したら以下の方法で本機の電源を入れます。

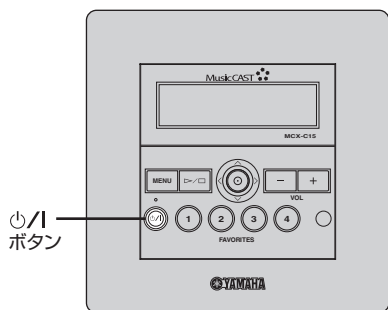
本機の電源モードは 2 種類あります。

オン： 電源が入っていて、いつでも操作できる状態です。

スリープ： 待機状態です。ディスプレイには時刻が表示されます。



または



本機の電源をオンにする前に、サーバー機の電源がオンになっていることをご確認ください。

1 電源キーを押す。

本機の電源がオンになり、ディスプレイの表示が以下のように切り替わります。



トップメニューが表示され、画面右上にネットワーク接続アイコンが点灯します。

「Connecting...」の表示が長く続きトップメニューに切り替わらない場合は、一度本機の電源をスリープにしてから再度上記の手順を行ってください。

再起動後も同じ状態が続く場合は、本機とサーバー機のネットワークが正しく設定されていない可能性があります。フロントパネル上のいずれかのボタンを押しトップメニューを表示してから、各機のネットワーク設定をご確認ください。本機のネットワーク設定については「MCX-C15 取扱説明書」(CD-ROM)の「ネットワーク設定の確認」(P.58 ページ)、サーバー機のネットワーク設定については同機に付属している「MCX-1000 取扱説明書」の「ネットワーク (LAN) の設定をする」(P.158 ページ)をご参照ください。

ご注意

各機のネットワークが正しく設定されているにも関わらず実際の接続ができない場合、ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。詳しくは付属の「設置マニュアル」をご参照ください。尚、本機のケーブル接続は必ず関連知識を有する工事・施工業者が行ってください。



再生停止中に操作をしない状態が30分間続くと、本機の電源モードが自動的にスリープに切り替わります。電源モードを再度オンにするには、SELECT キーまたは \odot/\square キーを押してください。

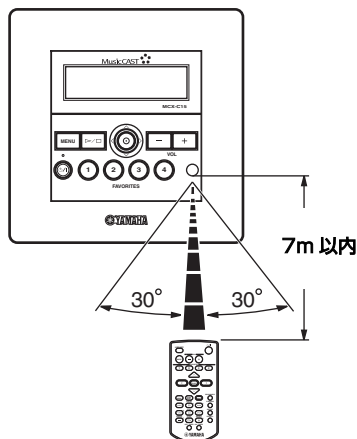
■電源モードをスリープにするには

\odot/\square キーを押す。

ディスプレイに「Please wait.」というメッセージが表示された後、スリープに切り替わりディスプレイに時刻が表示されます。

リモコンを使用する

リモコンで本機を操作する際は、リモコンの赤外線発送信をフロントパネル上のリモコン受光部に向けます。リモコン操作が可能な範囲は、本体から7m以内で正面から左右に 30° 以内です。

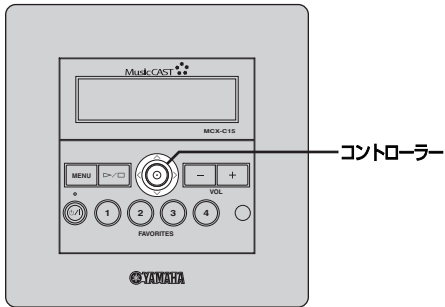


ご注意

- 誤ってリモコンに水や飲み物などをこぼさないようご注意ください。
- 誤ってリモコンを落したり、リモコンに強い衝撃を与えたりしないようご注意ください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明など強い光が当たらないようご注意ください。リモコン操作ができなくなる場合があります。
- 本機のリモコン操作により誤作動を起こす機器がある場合は、その機器の設置場所を変えてリモコンをご使用ください。
- リモコンを以下のような場所に放置しないでください。
 - 湿度が高い場所（風呂場など）
 - 気温が高い場所（ヒーターやストーブの近くなど）
 - 極端に気温が低い場所
 - ほこりっぽい場所

フロントパネルのコントローラー を使用する

フロントパネル上のコントローラーでは、リモコンの \wedge / \vee / \langle / \rangle キーや SELECT キーと同様の操作を行うことができます。例えば、コントローラーを上をスライドさせた場合はリモコンの \wedge キーを押したのと同様の操作、コントローラーを押した場合はリモコンの SELECT キーを押したのと同様の操作になります。



サーバー機に保存した曲を聴く

本機では、MP3 (MPEG-1 Audio Layer 3) と PCM (Pulse Code Modulation) の 2 種類の音声ファイルを再生することができます。

MP3 ファイルは圧縮データのためデータ量が少なく、たくさんの曲をハードディスクに保存することができます。(最大約 1000 時間分のデータ、圧縮レート 160kbps 使用時)

PCM ファイルは高音質な再生を可能にしますが、データ量が多くハードディスクの領域をたくさん使用します。(最大約 100 時間分のデータ) また PCM ファイルをサーバー機から受信・再生できるクライアント機は任意の 1 台のみになります。PCM ファイルの再生方法について詳しくは、サーバー機に付属している「MCX-1000 取扱説明書」の「クライアント機で PCM フォーマットを再生する」(☞193 ページ) をご参照ください。



本機でライブラリーの曲リストを表示した際、曲名の左側に付く注釈記号 (*) はその曲データが MP3 ファイルに変換前の PCM ファイルであることを示しています。

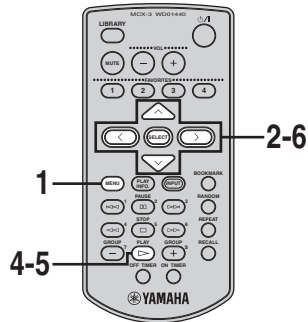
■再生グループ

サーバー機のライブラリーに保存した曲を本機で再生する際、再生する曲目をアーティスト名、アルバム名、ジャンル名から選択することができます。また、曲単位で選択することや、あらかじめ作成したブックマークやプレイリストから再生曲を選択することも可能です。このように再生用に選択するグループのことを再生グループと呼びます。例えばライブラリーから「Albums」を選択した場合、再生グループはアルバム単位に設定されます。さらに選択したグループ内の曲をリピート再生したり、グループ内の曲をランダム再生したり、グループ内のすべての曲を再生することもできます。詳しくは「MCX-C15 取扱説明書」(CD-ROM)の「基本的な操作」(☞16 ~ 24 ページ) をご参照ください。

ライブラリーには以下のメニューがあります。

- Artists :** アーティスト名から選曲します。
- Albums :** アルバム名から選曲します。
- Genres :** ジャンル名から選曲します。
- All Songs :** 曲名から選曲します。サーバー機に保存されているすべての曲が数字、アルファベット、ひらがな、カタカナ、漢字の順で表示されます。
- Playlists :** プレイリストから選曲します (☞13 ページ)。
- Song Statistics :** 曲の統計リストから選曲します (☞13 ページ)。
- Bookmarks :** ブックマークした曲のリストから選曲します (☞13 ページ)。
- External Inputs :** 外部機器を接続したサーバー機の端子を指定して、その外部機器の出力音声を再生します (☞13 ページ)。

以下の手順では例として「Artists」メニューから曲を選択していますが、他のメニューを選択した場合も同様に操作することができます。



- 1 MENUキーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。**

- 2 へ / ｖ キーを押して「Library」を選択し、SELECT キーを押す。



Library 画面が表示されます。

- 3 へ / ｖ キーを押して「Artists」を選択し、SELECT キーを押す。



Artists 画面が表示されます。

- 4 へ / ｖ キーを押してアーティスト名を選択し、SELECT キーを押す。

選択したアーティストのすべての曲を再生するには、へ / ｖ キーを押してアーティスト名を選択し、▷ キーを押します。



Albums 画面が表示されます。

- 5 へ / ｖ キーを押してアルバム名を選択し、SELECT キーを押す。

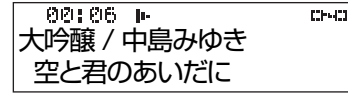
選択したアルバムのすべての曲を再生するには、へ / ｖ キーを押してアルバム名を選択し、▷ キーを押します。



Songs 画面が表示されます。

- 6 へ / ｖ キーを押して再生する曲名を選択し、SELECT キーを押す。

前の画面に戻るには、く キーを押します。



選択した曲の再生が始まります。選択した曲の再生が終了すると、アルバム（再生グループ）内の登録順で自動的に次の曲が再生されます。

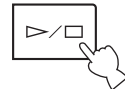
■再生を停止する

□ キーを押します。



リモコン

または



フロントパネル

■再生を一時停止する

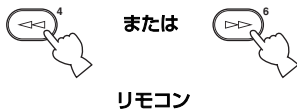
⏸ キーを押します。一時停止を解除するには再度 ⏸ キーを押します。



リモコン

■早送り・巻き戻しする

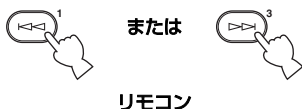
再生中に早送りするには **▶▶** キーを押します。
巻き戻しするには **<<** キーを押します。



- 選択した曲以外の範囲をサーチすることはできません。
- 早送り・巻き戻し操作中は再生音が出力されないため、ディスプレイの経過時間や残り時間を確認しながらサーチを行ってください。

■曲をスキップする

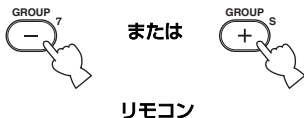
次の曲へスキップするには **▶▶** キーを押します。再生している曲の開始位置へスキップするには **◀◀** を押します。前の曲へスキップするには **◀◀** キーを2回続けて押します。



再生が停止中（一時停止を含む）に曲をスキップすることはできません。

■再生グループをスキップする

次の再生グループ（※8 ページ）へスキップするには **GROUP +** キーを押します。前の再生グループへスキップするには **GROUP -** キーを押します。



ライブラリーで選択したメニュー内に2つ以上の項目（再生グループ）が存在する場合にのみ有効です。

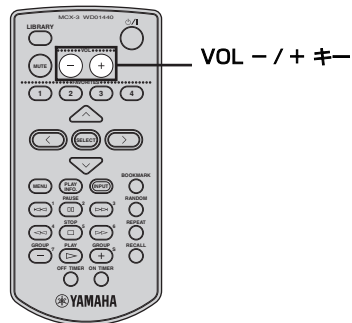
■曲の情報を表示する

再生中に **PLAY INFO.** キーを押して再生情報画面をディスプレイに表示します。

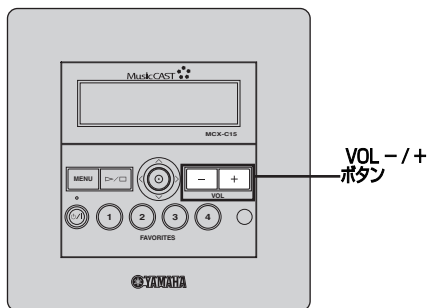


音量を調節する

以下の方法で音量を調節することができます。



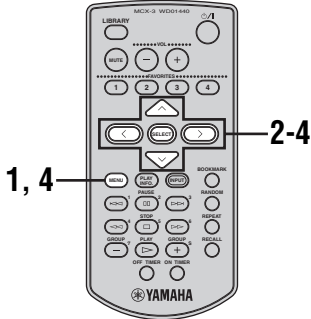
または



VOL -/+ キーを押して音量を調節する。
音量を上げる場合は **VOL +** キー、下げる場合は **VOL -** キーを押します。

音色を調節する

高音域（Treble）および低音域（Bass）の出力レベルを増減させて、再生音の音色を調節することができます。



- 1 MENU キーを数秒間長押し続けてトップメニューを表示する。
- 2 \wedge / \vee キーを押して「Tone」を選択し、SELECT キーを押す。



Tone 画面が表示されます。

- 3 \wedge / \vee キーを押して「Treble」または「Bass」を選択し、SELECT キーを押す。



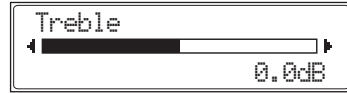
Treble :再生音の高音域の出力レベルを調節します。

Bass : 再生音の低音域の出力レベルを調節します。

選択した音域の出力レベル調節画面が表示されます。

- 4 \lt / \gt キーを押して選択した音域の出力レベルを調節し、SELECT キーまたは MENU キーを押す。

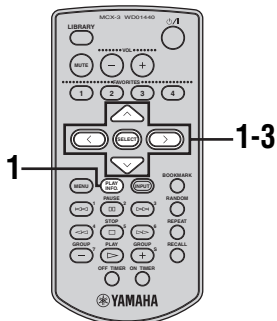
出力レベルを上げる場合は \gt キー、下げる場合は \lt キーを押します。



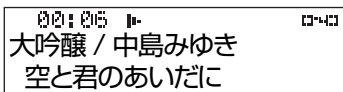
設定が保存され、ディスプレイの表示が Tone 画面に戻ります。

再生時間表示を切り替える

再生情報画面に表示される再生時間を経過時間と残り時間のいずれかに設定することができます。

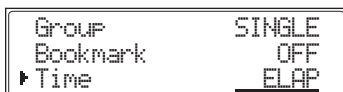


- 1 曲の再生中に **PLAY INFO.** キーを押して再生情報画面を表示し、**>** キーを押す。



サブメニューが表示されます。

- 2 **^ / v** キーを押して「**Time**」を選択し、**SELECT** キーを押す。



設定欄にカーソルが表示されます。

- 3 **^ / v** キーを押して「**ELAP**」または「**REM**」を選択し、**SELECT** キーを押す。
ELAP : 曲の経過時間 (開始位置からの時間) を表示します。
REM : 曲の残り時間 (終了位置までの時間) を表示します。

サブメニューを終了して再生情報画面に戻るには、**<** キーを押します。

いろいろな機能と設定

本機には、本書で説明している機能以外にもたくさんの便利な機能が備わっています。これらの機能を使用してさらに MusicCAST システムでのサウンドをお楽しみください。尚、これらの機能の説明について詳しくは付属の CD-ROM の「MCX-C15 取扱説明書」をご参照ください。機能名の右側に記載してあるページ番号は、「MCX-C15 取扱説明書」の参照ページになります。

よく使う機能

■ リピート再生 (P.22 ページ)

選択した曲またはグループを繰り返して再生します。

■ ランダム再生 (P.23 ページ)

選択したグループ内の曲を順不同で再生します。

■ グループの再生設定 (P.24 ページ)

選択したグループの再生終了後、次のグループを続けて再生するかどうか設定することができます。

便利な機能

■ FAVORITES (フェイバリット) 機能 (P.25 ページ)

あらかじめ登録した音源をワンタッチ操作で再生します。各 FAVORITES キーには、以下のいずれかの機能を割り当てることができます。

- ・ サーバー機に保存した曲を再生
- ・ MCX-CA15 に接続した外部機器の音声を再生
- ・ サーバー機に接続した外部機器の音声を再生
- ・ サーバー機に接続したヤマハ AV アンプのラジオ放送を再生
- ・ AV リンク接続したヤマハ AV アンプの入力を切り替え

■ 曲統計データから選曲 (P.32 ページ)

サーバー機に保存されている曲の統計データから選曲して再生します。

■ プレイリストから選曲 (P.33 ページ)

サーバー機に保存したお好み曲リスト (プレイリスト) から選曲して再生します。

■ リコール再生 (P.34 ページ)

サーバー機や別のクライアント機で再生している曲を本機で引き継いで再生します。

■ ブックマーク機能 (P.36 ページ)

ブックマークしたお好みの曲のリスト (ブックマークリスト) から選曲して再生します。

■ オフタイマー機能・オンタイマー機能 (P.39、40 ページ)

指定した時間に本機の再生を自動的に開始・停止します。

■ ブロードキャスト再生 (P.42 ページ)

本機の再生をサーバー機の再生状態に同調させます。サーバー機で再生している音声を選択したすべてのクライアント機に一斉配信することができます。

外部音声の再生

■ MCX-CA15 に接続された外部機器の音声を再生 (P.44 ページ)

MCX-CA15 の AUDIO IN 端子に接続した外部機器 (CD プレイヤー、コントロールアンプなど) の音声を本機で再生します。

■ サーバー機に接続された外部機器の音声を再生 (P.45 ページ)

サーバー機に接続した外部機器の音声を本機で再生します。

■ サーバー機経由でラジオを再生 (P.46 ページ)

サーバー機に接続したヤマハ AV アンプでプリセットしたラジオ局の放送を本機で再生します。

■ AV リンク機能 (P.47 ページ)

本機を操作して MCX-CA15 または I/O ボックスに接続したヤマハ AV アンプの機能を制御します。

その他の機能

■ オートプレイ機能 (P.50 ページ)

電源モードをスリープにした際の再生曲情報を保存し、次回電源モードをオンにした時にその再生情報をもとに自動的に再生を開始します。

■ オートレベルコントロール機能 (P.51 ページ)

各曲の音量レベルを自動で適切な音量に調節します。

■ オーディオコントロール機能 (P.52 ページ)

本機から外部機器へ出力する音声の音量・音色を、本機で調節するか外部機器で調節するか選択します。

ディスプレイの設定

■ コントラストの調節 (P.53 ページ)

本機の設置場所によりディスプレイの表示が読みにくい場合などに、ディスプレイのコントラストを調節します。

■ スクリーンセイバー機能 (P.54 ページ)

操作から2分間経過後、自動的に動画を表示します。これによりテレビやモニターでディスプレイの内容を表示する際、同一映像による画面焼付けを防ぐことができます。

システムの設定

■ バージョン情報の表示 (P.55 ページ)

本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。

付録

■ 故障かな?と思ったら (P.60 ページ)

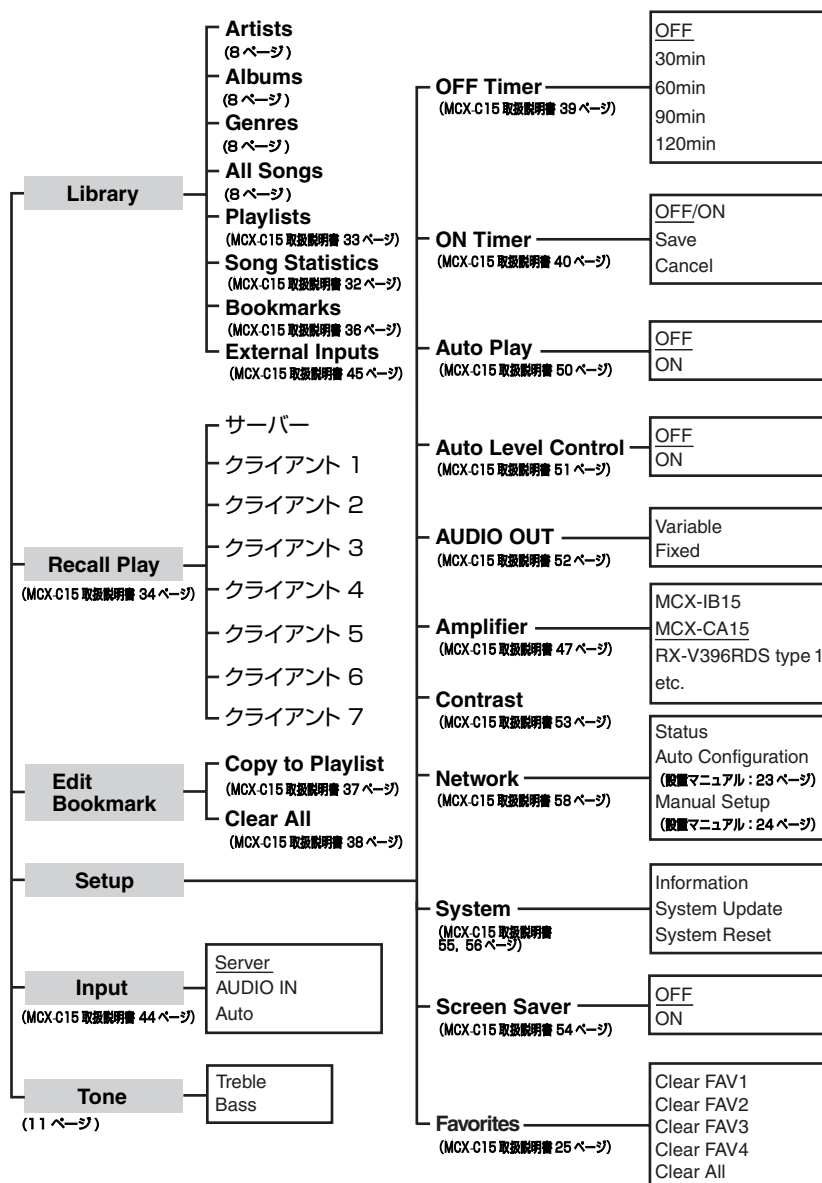
本機を使用している際に一部の機能が正常に作動しない場合など、何かトラブルが発生した場合にご参照ください。

■ 用語解説 (P.63 ページ)

本書および「MCX-C15 取扱説明書」で使用している特殊用語や MusicCAST 独自の用語について説明しています。

クイックメニューガイド

以下の図は本機のメニュー項目（太字）および設定値（細字）の階層を示したものです。



機能と設定

* 設定値の下線は初期値であることを意味しています。

ヤマハホットラインサービスマネットワーク


ヤマハホットラインサービスマネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

● ヤマハ電気音響製品サービス拠点

- 北海道 〒 064-8543 札幌市中央区南十条西 1-1-50
ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108
- 仙台 〒 984-0015 仙台市若林区卸町 5-7
仙台卸商共同配送センター 3F
TEL (022) 236 - 0249
- 首都圏 〒 143-0006 東京都大田区平和島 2丁目 1番 1号
京浜トラクター・テナル内 14号棟 A-5F
TEL (03) 5762 - 2121
- 浜松 〒 435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465 - 6711
- 名古屋 〒 454-0058 名古屋市中川区玉川町 2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター 3F
TEL (052) 652 - 2230
- 大阪 〒 565-0803 吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ(株)
千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262
- 四国 〒 760-0029 高松市丸亀町 8-7
ヤマハ(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045
- 九州 〒 812-8508 福岡市博多区博多駅前 2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

● 保証期間


- お買い上げ日より1年間です。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**
◆ **技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
◆ **部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
◆ **出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **持ち込み修理のお願い**
故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼される時は製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。
- **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定にご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。



★ 永年ご使用の製品の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

● **摩耗部品の一例**

ボリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくために AV 製品全般について記載しております。

製品の機能や取扱いに関するお問い合わせは、お客様ご相談センターにご連絡ください。

お客様ご相談センター
TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 3459
住所 〒 430-8650

静岡県浜松市中沢町 10-1

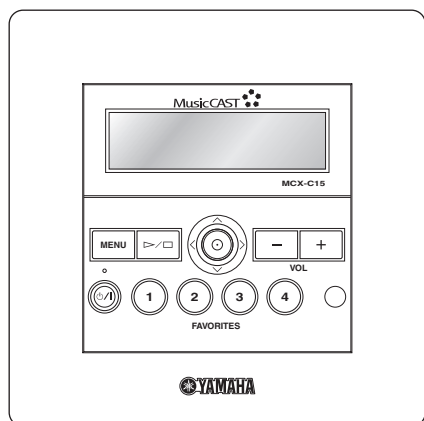
ご相談受付時間 10:00~12:00、13:00~18:00
(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきます。)



MusicCAST 

MCX-C15

コントローラー



取扱説明書

目次

はじめに

本機の特長.....	2
MusicCAST システムの概要.....	3
サーバー機.....	4
クライアント機.....	4
アンプ.....	4
付属品の確認.....	5
リモコンを使用する前に.....	6
リモコンの電池を交換する.....	6
各部の名称とはたらき.....	7
フロントパネル（前面）.....	7
リアパネル（背面）.....	8
ボトムパネル（底面）.....	9
リモコン.....	10
ディスプレイ表示.....	12

音楽を聴く

電源モード.....	14
基本的な操作.....	16
リモコンを使用する.....	16
フロントパネルのコントローラーを 使用する.....	16
サーバー機に保存した曲を聴く.....	17
音量を調節する.....	20
音色を調節する.....	20
再生時間表示を切り替える.....	21
曲を繰り返して再生する （リピート再生）.....	22
曲を順不同で再生する （ランダム再生）.....	23
グループの再生方法を設定する.....	24
便利な機能.....	25
聴きたい曲・音声をワンタッチ再生する （FAVORITES（フェイバリット）機能）.....	25
曲統計データから選曲する.....	32
プレイリストから選曲する.....	33
部屋を移動して引き続き同じ再生曲を 楽しむ（リコール再生）.....	34
ブックマークを使用する.....	36
電源モードを自動的にスリープにする （オフタイマー）.....	39
電源モードを自動的にオンにする （オンタイマー）.....	40
サーバー機の再生を一斉配信する （ブロードキャスト）.....	42
外部音声の再生.....	44
MCX-CA15 に接続された外部機器の 音声を楽しむ.....	44
サーバー機に接続された外部機器の 音声を再生する.....	45
ヤマハ AV アンプでプリセットした ラジオ局の放送を聴く.....	46
本機でヤマハ AV アンプを操作する （AV リンク機能）.....	47

いろいろな機能と設定

その他の機能.....	50
スリープにした時の曲を再生する （オートプレイ機能）.....	50
音量を自動で調節する （オートレベルコントロール機能）.....	51
外部出力音の音量・音色を制御する （オーディオコントロール）.....	52
ディスプレイの設定.....	53
コントラストを調節する.....	53
スクリーンセイバー機能を使用する.....	54
システムの設定.....	55
バージョン情報を確認する.....	55
設定を工場出荷時の状態に戻す.....	56
ネットワーク設定の確認.....	58

付録

故障かな？と思ったら.....	60
クイックメニューガイド.....	62
用語解説.....	63
再生.....	63
録音.....	63
ネットワーク.....	64
ハードウェア.....	64
ソフトウェア.....	65
仕様.....	66

本機の特長

本機 MCX-C15 は、MusicCAST サーバー機 MCX-1000 のライブラリーに保存した曲を受信・再生するための機器です。複数のクライアント機（サーバー機には本機を含めて最大7台の接続が可能）をご使用いただくことにより、お好みの場所に設置した各クライアント機でお聴きになりたい曲を同時に再生することができます。

本機の主な特長は以下のとおりです。

- ◆ サーバー機のライブラリーに保存した曲を受信・再生
- ◆ 複数のクライアント機でそれぞれがお好みの曲を再生（同時再生可）
- ◆ インテリアにとけこむ洗練されたデザイン（壁はめ込みタイプ）
- ◆ 表示が見やすい 128 × 32 画素のディスプレイ
- ◆ 便利な再生機能（リピート / ランダム再生、ブックマーク、オートプレイ）
- ◆ お好みの音楽をワンタッチ再生する FAVORITES（フェイバリット）機能
- ◆ 2種類のタイマー設定でいつでも自動再生 & スリープ
- ◆ 外部接続したヤマハ AV アンプを赤外線コントロールする AV リンク機能

本書について

- 本書は主に本機の実操作方法について説明しています。本機の設置およびネットワーク設定については、付属の「設置マニュアル」をご参照ください。
- 本書では、リモコンでの操作を前提に各手順を説明しています。ほとんどの機能は本体フロントパネル上のボタンを操作しても同様にご使用いただけますが、一部リモコンのキーでのみ操作可能なものがあります。
- 本書では、MCX-C15・MCX-A10 をクライアント機と記載しています。
- 「ご注意」では操作・設定を行う際に留意すべき事項、※では知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- 本書は製品開発に先がけ作成されております。その後、操作性の向上、その他の理由により、製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

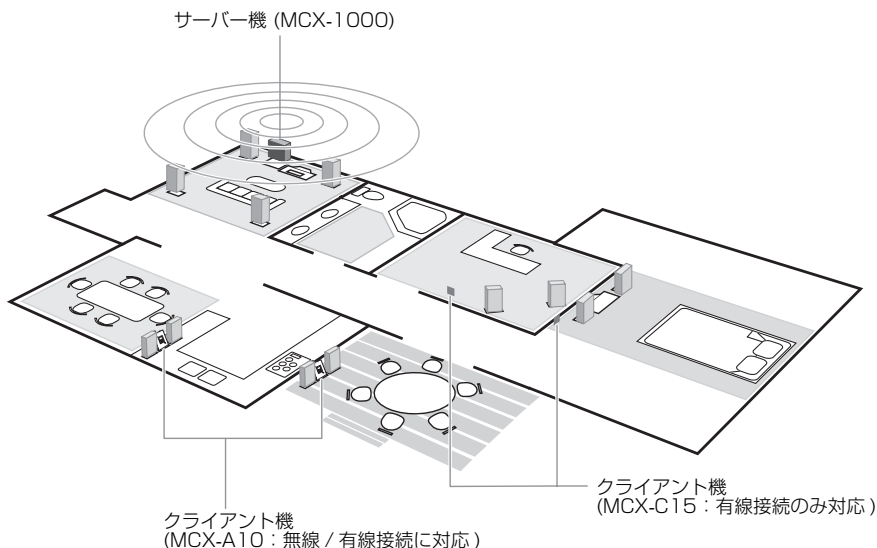
本書を印刷して使用する場合

本書は PDF 形式ファイル (.pdf) で作成されています。ご使用のプリンタで印刷してご覧になる際は、印刷する前に「ページ設定」の各項目が正しく設定されていることをご確認ください。印刷用紙は A4 またはレターサイズのものをご使用ください。

本機の設置は必ず関連知識を有する工事・施工業者が行ってください。詳しくは付属の「設置マニュアル」をご参照ください。

MusicCAST システムの概要

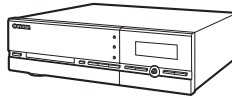
MusicCAST システムは、LAN を使用した音楽配信システムです。サーバー機のライブラリーに曲を保存することにより、サーバー機はもちろんのこと、家庭内の各場所に設置したクライアント機でもこれらの曲をご自由にお楽しみいただくことができます。またサーバー機、クライアント機には音楽をより一層お楽しみいただけるよう、たくさんの便利な機能が備わっています。お好みの曲リストを作成するプレイリスト機能、自動で音楽配信を開始・停止するタイマー機能、別の部屋で聴いていた音楽を引き継ぎ再生するリコール機能など、目的に応じてさまざまな機能をご活用いただけます。先進する MusicCAST システムにより、独自のサウンドワールドを存分にお楽しみください。



ご注意

- サーバー機とクライアント機の接続方法には、有線接続と無線接続の2種類があります。本機は有線接続のみに対応しています。有線接続の場合には、最大7台までサーバー機に接続することが可能です。
- 無線接続にはMCX-A10が必要になります。無線接続(最大5台)と有線接続を併用する場合には、最大7台までサーバー機に接続することが可能です。

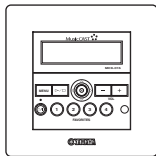
サーバー機



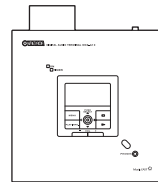
MCX-1000 デジタルオーディオサーバー

サーバー機には 80GB のハードディスクが内蔵されており、最大約 1000 時間の曲データ (MP3 モード、圧縮レート 160kbps 使用時) を保存することができます。保存した曲データはサーバー機およびネットワーク接続した各クライアント機で再生することが可能です。サーバー機について詳しくは、同機に付属の「MCX-1000 取扱説明書」をご参照ください。

クライアント機



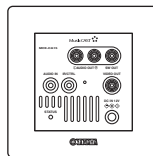
MCX-C15 コントローラー (本機)



MCX-A10 デジタルオーディオターミナル

クライアント機はサーバー機に保存した曲データを受信・再生するための機器です。複数のクライアント機をご使用の場合、各クライアント機で個別の曲を再生して楽しみいただくことができます。本機について詳しくは本書をお読みください。また MCX-A10 について詳しくは同機に付属の「MCX-A10 取扱説明書」をご参照ください。

アンプ



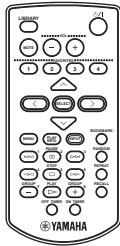
MCX-CA15 アンプ

MCX-CA15 はクライアント機 (MCX-C15) と組み合わせて使用することを目的としたパワーアンプですが、他のオーディオ機器と組み合わせてご使用いただくこともできます。MCX-CA15 について詳しくは、同機に付属の「MCX-CA15 取扱説明書」をご参照ください。

付属品の確認

同梱されている付属品を確認してください。

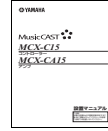
リモコン



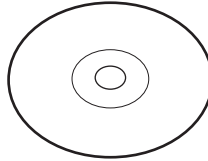
クイックマニュアル



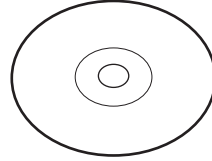
設置マニュアル



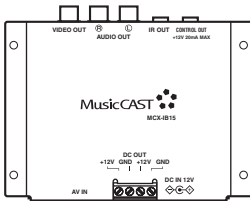
アップデート用 CD-ROM
(MusicCAST Software Version Up
Disc Vol.2.1 Including MCX-C15
Connectivity)



取扱説明書 (CD-ROM)



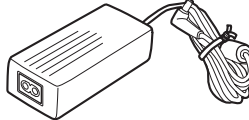
I/O ボックス (MCX-IB15)



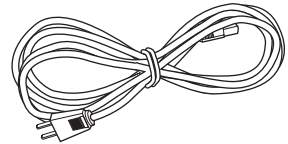
スペーサー 4 個



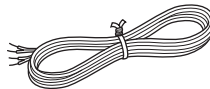
AC アダプター
(LSE0215C1240)



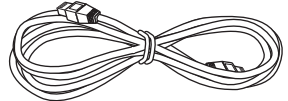
電源コード (1.6m)



DC 電源ケーブル (2m) 2 本



CAT-5 ケーブル (2m)

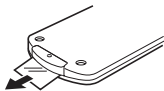


ご注意

- 設置方法により上記以外の部品が必要になる場合があります。
- 取扱説明書 (CD-ROM) には、本書と「バージョンアップマニュアル Vol.2」の 2 種類の PDF ファイルが含まれています。MCX-C15 の機能については本書 (C15_Manual_J.pdf) を、バージョンアップ 2 により追加される機能については「バージョンアップマニュアル Vol.2」(VersionUp_Manual_J.pdf) をご参照ください。

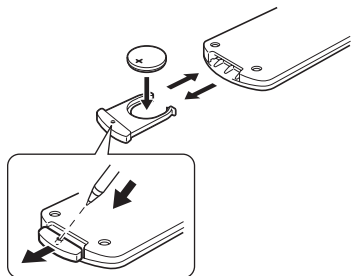
リモコンを使用する前に

ご購入時リモコンの電池ケース部には絶縁体フィルムが取り付けられています。リモコンを使用する前にこの絶縁体フィルムを取り除いてください。



リモコンの電池を交換する

電池の寿命が近づくとリモコンで操作できる距離が短くなります。この場合、以下の手順で電池を交換してください。



- 1 先のとがったもの（ボールペンなど）で電池ケースを引き出し、古い電池を取り出す。
- 2 プラス（+）面が上側になるようにして、新しい電池を電池ケースに装着する。
- 3 リモコンに電池ケースを差し込む。

ご注意

電池ケースは使用中にリモコンから外れないよう固く装着されているため、強く引っ張らないと電池ケースを外せない場合があります。この際、誤って先のとがったもので手や腕などを傷つけることのないようご注意ください。

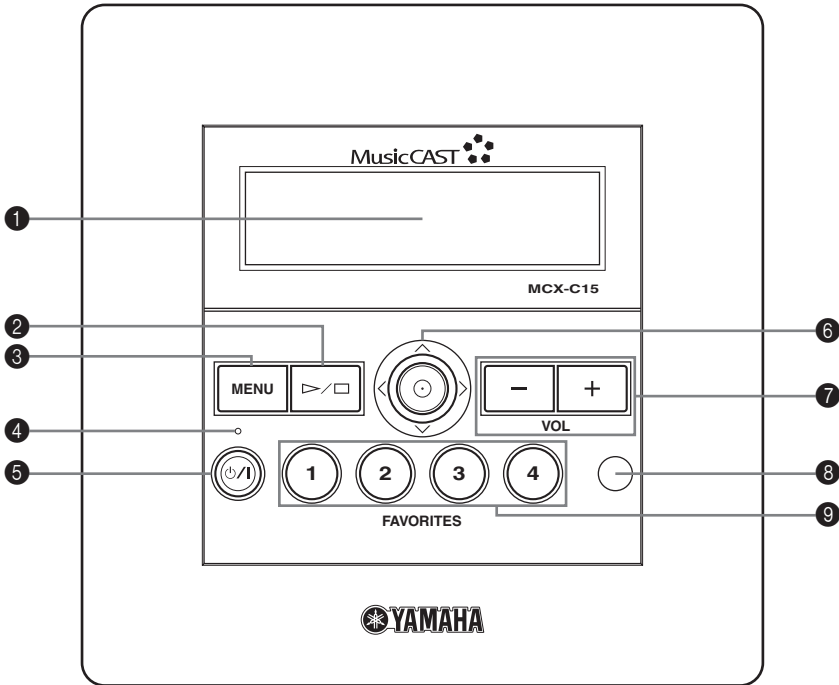
■ リチウム電池に関するご注意

リチウム電池の取扱いを誤ると、発熱、発火、破裂などの原因になることがあります。ご使用中や交換の際は以下の点に十分ご注意ください。

- CR2025 型をご使用ください。
- 充電しないでください。
- 粗雑に扱ったり、分解したりしないでください。
- 電池を交換する際は極性（プラスとマイナス）の向きを正しく装着してください。
- 直射日光のあたる場所など高温になる場所に放置しないでください。
- お子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまった場合はただちに医師の診断を受けてください。
- 液漏れしている場合はただちに電池を処分してください。この際、液が皮膚や衣服に付着すると火傷するおそれがありますので、取扱いには十分ご注意ください。誤って皮膚に付着してしまった場合は、ただちに水道水で洗浄し医師の診断を受けてください。
- 使用済みの電池を廃棄する際は、テープなどで絶縁し、地域の条例に従って火気のない場所に処分してください。

各部の名称とはたらき

フロントパネル (前面)



① ディスプレイ

設定内容や曲情報が表示されます。

② ▷ / □ (再生 / 停止) ボタン

選択した曲を再生 / 停止します。

③ MENU ボタン

以下のようにディスプレイの表示を切り替えます。

一度押す：メニュー画面と再生情報画面の切り替え (☞ 12 ページ)

連続して二度押す：時刻の表示

数秒間押し続ける：トップメニューの表示

④ TIMER ランプ

オンタイマー (☞ 40 ページ) またはオフタイマー (☞ 39 ページ) が設定されている際に点灯します。

⑤ ⏻ / ⏻ (スリープ / オン) ボタン

電源モード (スリープ / オン) を切り替えます。
(☞ 14 ページ)

約 10 秒押し続けると本機を再起動します。

⑥ コントローラー

ディスプレイの表示項目を選択し、選択した項目を実行します。(☞ 16 ページ)

⑦ VOL - / + ボタン

音量を調節します。

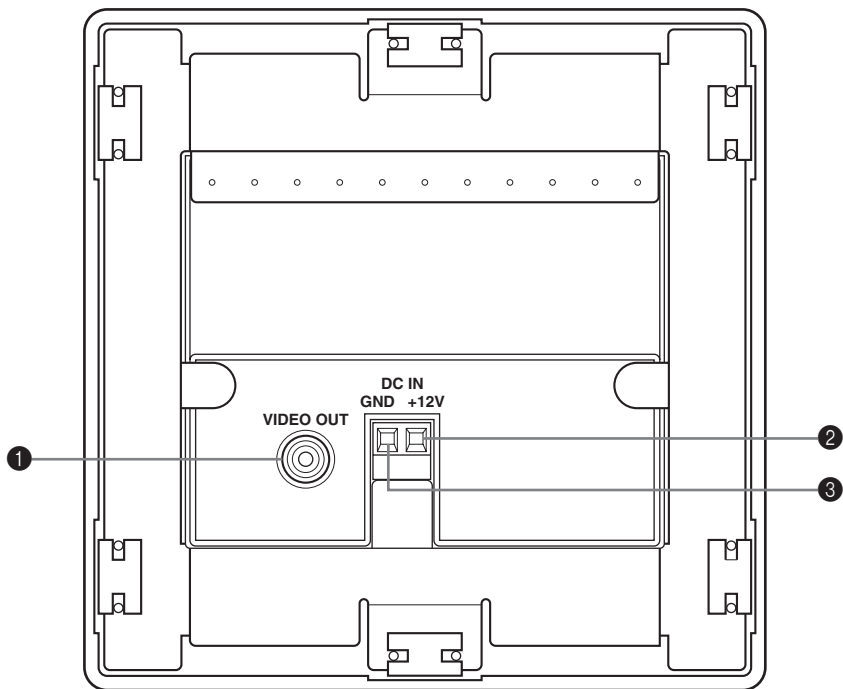
⑧ リモコン受光部

リモコンの赤外線信号を受信します。

⑨ FAVORITES ボタン

各ボタンに設定した曲または外部機器の音声をワンタッチ再生します (☞ 25 ページ)。

リアパネル（背面）



ビデオ アウト

① VIDEO OUT 端子

市販のビデオケーブルを使用してテレビやモニターのビデオ入力端子と接続します。これにより、接続したテレビやモニターの画面で本機ディスプレイの表示内容を確認することができます。ただし日本語は表示されないため、ライブラリーの操作などにはご使用いただけません。Setup 画面で設定操作を行う際などにご使用ください。

② +12V 端子

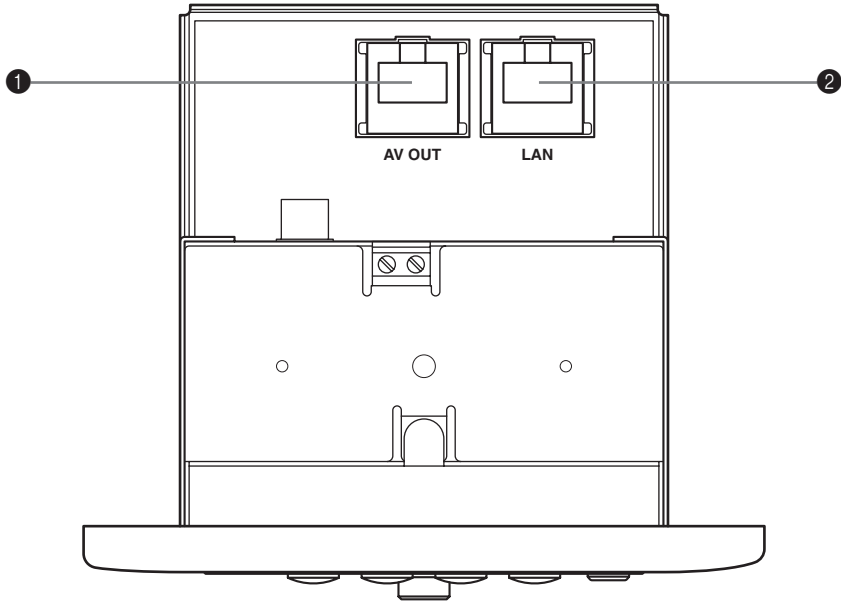
付属の DC 電源ケーブルを接続します。
(接続は必ず関連知識を有する工事・施工業者にご依頼ください。)

グラウンド

③ GND 端子

付属の DC 電源ケーブル（グラウンド側）を接続します。
(接続は必ず関連知識を有する工事・施工業者にご依頼ください。)

ボトムパネル（底面）



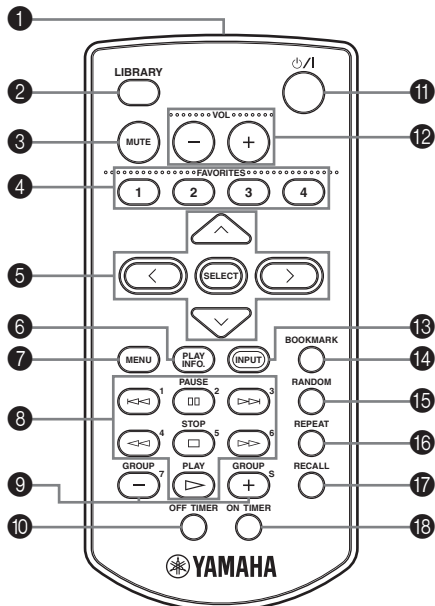
① エービー アウト AV OUT 端子

付属の CAT-5 ケーブルを使用して I/O ボックス
または MCX-CA15 の AV IN 端子と接続します。

② ラン LAN 端子

市販のストレート LAN ケーブルを使用して
ネットワーク機器と接続します。

リモコン



① 赤外線送信部

赤外線信号を送信します。操作する際は本機の赤外線受信部に向けてください (※16 ページ)。

② LIBRARY キー

ディスプレイに Library 画面を表示します。

③ MUTE キー

一時的に消音します。再度押すと消音を解除します。

④ FAVORITES (1~4) キー

各ボタンに設定した曲または外部機器の出力音声をワンタッチ再生します (※25 ページ)。

⑤ \wedge / \vee / \lt / \gt キー / SELECT キー
 \wedge / \vee / \lt / \gt キー でディスプレイの表示項目を選択し、SELECT キーを押して選択した項目を実行します。

⑥ ^{プレイ インフォ}PLAY INFO. キー

ディスプレイに再生情報画面 (※12 ページ) を表示します。

⑦ ^{メニュー}MENU キー

以下のようにディスプレイの表示を切り替えます。

1 回押す：メニュー画面 (※12 ページ) の表示
 連続して 2 回押す：時刻の表示
 数秒間押し続ける：トップメニューの表示

⑧ 再生操作キー

\ll / \gg (スキップ戻し / スキップ送り) キー
 再生しているグループ内の前の曲 / 次の曲へスキップします。

⑨ ^{ポーズ}(PAUSE) キー

再生している曲を一時停止します。再度押すと一時停止を解除します。

⑩ \ll / \gg (巻き戻し / 早送り) キー

再生している曲を巻き戻し / 早送ります。

⑪ ^{ストップ}(STOP) キー

再生を停止します。

⑫ ^{プレイ}(PLAY) キー

選択した曲を再生します。

⑬ ^{グループ}GROUP - / + キー

前の再生グループ / 次の再生グループへスキップします。

⑭ ^{オフ タイマー}OFF TIMER キー

オフタイマー機能 (※39 ページ) をオンにします。押すたびにタイマーの時間設定が切り替わります。

⑮ ON/OFF (スリープ / オン) キー

電源モード (スリープ / オン) を切り替えます (※14 ページ)。

⑯ ^{ボリューム}VOL - / + キー

音量を調節します。

インプット
⑬ INPUT キー

接続している外部アンプの入力ソースを切り替えます。

ブックマーク
⑭ BOOKMARK キー

選択している曲にブックマーク (P.36 ページ) をつけます。再度押すとブックマークを外します。

ランダム
⑮ RANDOM キー

ランダム再生 (P.23 ページ) をオン/オフにします。

リピート
⑯ REPEAT キー

リピート再生 (P.22 ページ) のモード設定を切り替えます。

リコール
⑰ RECALL キー

リコール再生 (P.34 ページ) を開始します。

オン タイマー
⑱ ON TIMER キー

オンタイマー機能 (P.40 ページ) をオン/オフにします。

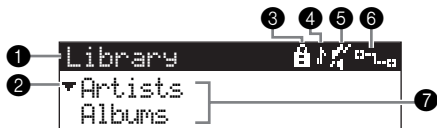
ディスプレイ表示

本機のディスプレイには、機能进行操作する際の選択項目や再生している曲の情報などが表示されます。各画面で表示される情報とアイコンの意味は以下のとおりです。



本機の VIDEO OUT 端子 (☞8 ページ) にテレビやモニターを接続すると、ディスプレイの表示内容をテレビやモニターの画面でも表示することができます。ただし日本語は表示されないため、ライブラリーの操作などにはご使用いただけません。Setup 画面で設定操作を行う際などにご使用ください。

■メニュー画面



メニュー選択や設定変更をするには、MENU キーを押してメニュー画面を表示します。メニューの内容について詳しくは、「クイックメニューガイド」(☞62 ページ)をご参照ください。」



リモコン



フロントパネル

① トップバー

メニューの名称を表示します。

② カーソル

選択している項目を示します。

③ ロックアイコン

サーバー機の設定により本機の操作がロックされている際に表示されます。この状態では、音量の調節 (VOL - / +)、消音 (MUTE)、再生停止 (STOP) 以外の操作を行うことはできません。詳しくはサーバー機に付属している「MCX-1000 取扱説明書」の「クライアント機をロックする」(☞142 ページ)をご参照ください。

④ 再生アイコン

サーバー機に接続された外部機器 (チューナーを含む) から再生信号を受信している際に表示されます。

⑤ 消音アイコン

消音機能 (MUTE) を使用している際に表示されます。

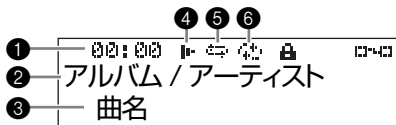
⑥ ネットワーク接続アイコン

本機がサーバー機と正しくネットワーク接続されている際に表示されます。

⑦ メニュー項目

トップバーに表示されているメニュー内の項目を表示します。

■再生情報画面



現在再生している曲の情報 (または最後に再生した曲の情報) を確認するには、PLAY INFO キー (またはフロントパネル上の MENU ボタン) を押して再生情報画面をディスプレイに表示します。



リモコン



フロントパネル

① タイムカウンター

再生している曲の経過時間や残り時間を表示します (☞21 ページ)。

② アルバム / アーティスト名

再生している曲のアルバム / アーティスト名を表示します。

③ 曲名

再生している曲名を表示します。

④ 動作モードアイコン

本機の現在の動作状態を表示します。

□ : 停止

▷ : 再生中

⏸ : 一時停止

⑤ リピート再生アイコン

リピート再生 (☞22 ページ) をオンに設定している際に表示されます。

⑥ ランダム再生アイコン

ランダム再生 (☞23 ページ) をオンに設定している際に表示されます。

電源モード

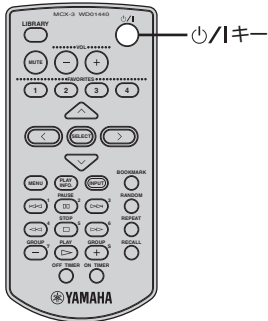
本機を初めて使用する際は、MusicCAST システムをアップデートしてから、ネットワークを設定する必要があります。ネットワーク設定について詳しくは「設置マニュアル」の「MCX-C15 のご使用前に」(※18 ページ)と「MCX-C15 のネットワーク設定」(※22 ページ)をご参照ください。

準備がすべて完了したら以下の方法で本機の電源を入れます。

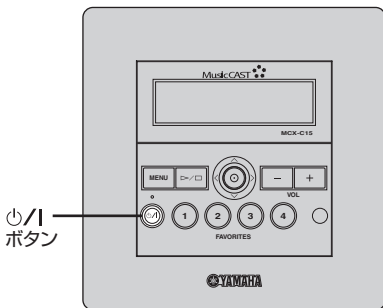
本機の電源モードは 2 種類あります。

オン： 電源が入っていて、いつでも操作できる状態です。

スリープ： 待機状態です。ディスプレイには時刻が表示されます。



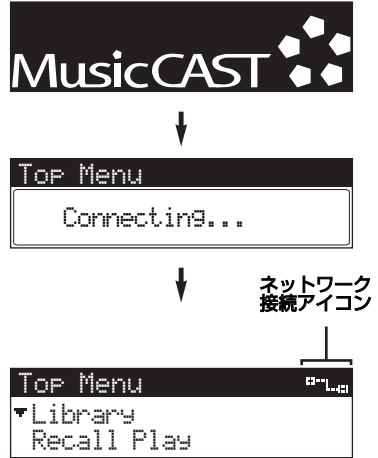
または



本機の電源をオンにする前に、サーバー機の電源がオンになっていることをご確認ください。

1 電源/キーを押す。

本機の電源がオンになり、ディスプレイの表示が以下のように切り替わります。



トップメニューが表示され、画面右上にネットワーク接続アイコンが点灯します。

「Connecting...」の表示が長く続きトップメニューに切り替わらない場合は、一度本機の電源をスリープにしてから再度上記の手順を行ってください。

再起動後も同じ状態が続く場合は、本機とサーバー機のネットワークが正しく設定されていない可能性があります。フロントパネル上のいずれかのボタンを押してトップメニューを表示してから、各機のネットワーク設定をご確認ください。本機のネットワーク設定については本書「ネットワーク設定の確認」(※58 ページ)、サーバー機のネットワーク設定については同機に付属している「MCX-1000 取扱説明書」の「ネットワーク(LAN)の設定をする」(※158 ページ)をご参照ください。

ご注意

各機のネットワークが正しく設定されているにも関わらず実際の接続ができない場合、ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。詳しくは付属の「設置マニュアル」をご参照ください。尚、本機のケーブル接続は必ず関連知識を有する工事・施工業者にご依頼ください。



再生停止中に操作をしない状態が30分間続くと、本機の電源モードが自動的にスリープに切り替わります。電源モードを再度オンにするには、SELECT キーまたは⏻/⏪キーを押してください。

■電源モードをスリープにする

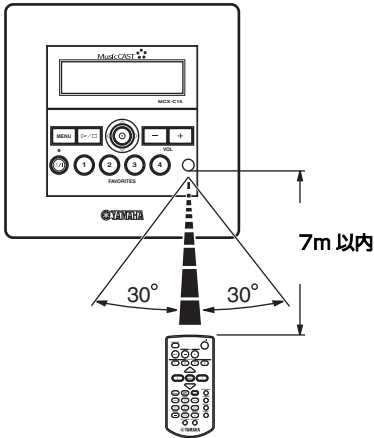
⏻/⏪キーを押す。

ディスプレイに「Please wait.」というメッセージが表示された後、スリープに切り替わりディスプレイに時刻が表示されます。

基本的な操作

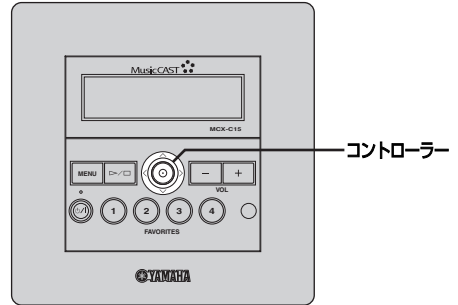
リモコンを使用する

リモコンで本機を操作する際は、リモコンの赤外線送信部をフロントパネル上のリモコン受光部に向けます。リモコン操作が可能な範囲は、本体から7m以内で正面から左右に30°以内です。



フロントパネルのコントローラーを使用する

フロントパネル上のコントローラーでは、リモコンの \wedge / \vee / \lt / \gt キーや SELECT キーと同様の操作を行うことができます。例えば、コントローラーを上をスライドした場合はリモコンの \wedge キーを押したのと同様の操作、コントローラーを押した場合はリモコンの SELECT キーを押したのと同様の操作になります。



ご注意

- 誤ってリモコンに水や飲み物などをこぼさないようご注意ください。
- 誤ってリモコンを落としたり、リモコンに強い衝撃を与えたりしないようご注意ください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明など強い光が当たらないようご注意ください。リモコン操作ができなくなる場合があります。
- 本機のリモコン操作により誤動作を起こす機器がある場合は、その機器の設置場所を変えてリモコンをご使用ください。
- リモコンを以下のような場所に放置しないでください。
 - 湿度が高い場所（風呂場など）
 - 気温が高い場所（ヒーターやストーブの近くなど）
 - 極端に気温が低い場所
 - ほこりっぽい場所

サーバー機に保存した曲を聴く

本機では、MP3 (MPEG-1 Audio Layer 3) と PCM (Pulse Code Modulation) の 2 種類のファイルを再生することができます。

MP3 ファイルは圧縮データのためデータ量が少なく、たくさんの曲をハードディスクに保存することができます。(最大約 1000 時間分のデータ、圧縮レート 160kbps 使用時)

PCM ファイルは高音質な再生を可能にしますが、データ量が多くハードディスクの領域をたくさん使用します。(最大約 100 時間分のデータ) また PCM ファイルをサーバー機から受信・再生できるクライアント機は任意の 1 台のみになります。PCM ファイルの再生方法について詳しくは、サーバー機に付属している「MCX-1000 取扱説明書」の「クライアント機で PCM フォーマットを再生する」(P.193 ページ)をご参照ください。



本機でライブラリーの曲リストを表示した際、曲名の左側に付く注釈記号 (*) はその曲データが MP3 ファイルに変換前の PCM ファイルであることを示しています。

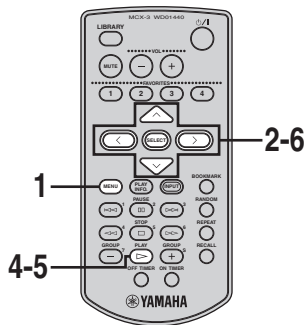
■再生グループ

サーバー機のライブラリーに保存した曲を本機で再生する際、再生する曲目をアーティスト名、アルバム名、ジャンル名から選択することができます。また、曲単位で選択することや、あらかじめ作成したブックマークやプレイリストから再生曲を選択することも可能です。このように再生用を選択するグループのことを再生グループと呼びます。例えばライブラリーから「Albums」を選択した場合、再生グループはアルバム単位に設定されます。さらに選択したグループ内の曲をリピート再生したり (P.22 ページ)、グループ内の曲をランダム再生したり (P.23 ページ)、グループ内のすべての曲を再生することもできます (P.24 ページ)。

ライブラリーには以下のメニューがあります。

- Artists アーティスト名から選曲します。
- Albums アルバム名から選曲します。
- Genres ジャンル名から選曲します。
- All Songs 曲名から選曲します。サーバー機に保存されているすべての曲が数字、アルファベット、ひらがな、カタカナ、漢字の順で表示されます。
- Playlists プレイリストから選曲します (P.33 ページ)。
- Song Statistics 曲の統計リストから選曲します (P.32 ページ)。
- Bookmarks ブックマークした曲のリストから選曲します (P.36 ページ)。
- External Inputs 外部機器を接続したサーバー機の端子を指定して、その外部機器の出力音声を再生します。(P.45 ページ)

以下の手順では例として「Artists」メニューから曲を選択していますが、他のメニューを選択した場合も同様に操作することができます。



- 1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

- 2 ^ / v キーを押して「Library」を選択し、SELECT キーを押す。



Library 画面が表示されます。

- 3 ^ / v キーを押して「Artists」を選択し、SELECT キーを押す。



Artists 画面が表示されます。

- 4 ^ / v キーを押してアーティスト名を選択し、SELECT キーを押す。

選択したアーティストのすべての曲を再生するには、^ / v キーを押してアーティスト名を選択し、▷ キーを押します。



Albums 画面が表示されます。

- 5 ^ / v キーを押してアルバム名を選択し、SELECT キーを押す。

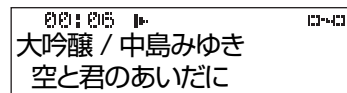
選択したアルバムのすべての曲を再生するには、^ / v キーを押してアルバム名を選択し、▷ キーを押します。



Songs 画面が表示されます。

- 6 ^ / v キーを押して再生する曲名を選択し、SELECT キーを押す。

前の画面に戻るには、< キーを押します。



選択した曲の再生が始まります。選択した曲の再生が終了すると、アルバム（再生グループ）内の登録順で自動的に次の曲が再生されます。

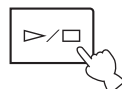
■再生を停止する

□ キーを押します。



リモコン

または



フロントパネル

■再生を一時停止する

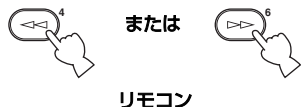
⏸ キーを押します。一時停止を解除するには再度 ⏸ キーを押します。



リモコン

■ 早送り・巻き戻しする

再生中に早送りするには **▶▶** キーを押します。
巻き戻しするには **◀◀** キーを押します。



リモコン

■ 曲の情報を表示する

再生中に **PLAY INFO.** キーを押して再生情報画面をディスプレイに表示します。



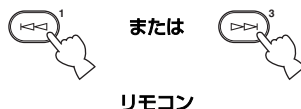
リモコン



- 選択した曲以外の範囲をサーチすることはできません。
- 早送り・巻き戻し操作中は再生音が出力されません。ディスプレイの経過時間や残り時間 (P.12 ページ) を確認しながらサーチを行ってください。

■ 曲をスキップする

次の曲へスキップするには **▶▶** キーを押します。再生している曲の開始位置へスキップするには **◀◀** キーを押します。前の曲へスキップするには **◀◀** キーを2回続けて押します。



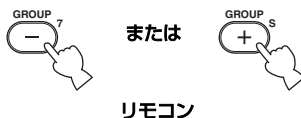
リモコン



再生が停止中(一時停止を含む)に曲をスキップすることはできません。

■ 再生グループをスキップする

次の再生グループ (P.17 ページ) へスキップするには **GROUP +** キーを押します。前の再生グループへスキップするには **GROUP -** キーを押します。



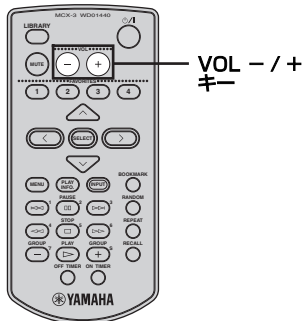
リモコン



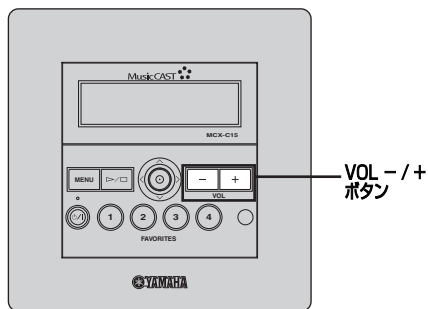
ライブラリーで選択したメニュー内に2つ以上の項目(再生グループ)が存在する場合にのみ有効です。

音量を調節する

以下の方法で音量を調節することができます。



または



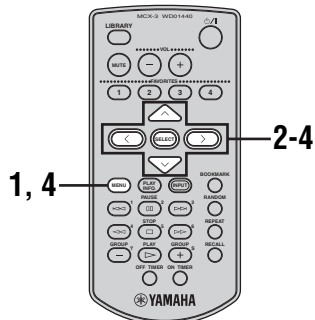
VOL -/+キーを押して音量を調節する。
音量を上げる場合は VOL +キー、下げる場合は VOL -キーを押します。



- オートレベルコントロール機能 (p.51 ページ) を使用して音量を自動調節することもできます。
- 外部接続したヤマハ AV アンプの音量を、本機を使って調節することができます。詳しくは「本機でヤマハ AV アンプを操作する (AV リンク機能)」 (p.47 ページ) をご参照ください。

音色を調節する

高音域 (Treble) および低音域 (Bass) の出力レベルを増減させて、再生音の音色を調節することができます。



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 ^/∨キーを押して「Tone」を選択し、SELECT キーを押す。



Tone 画面が表示されます。

3 ^/∨キーを押して「Treble」または「Bass」を選択し、SELECT キーを押す。



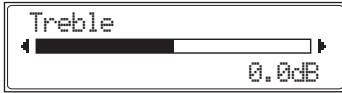
Treble : 再生音の高音域の出力レベルを調節します。

Bass : 再生音の低音域の出力レベルを調節します。

選択した音域の出力レベル調節画面が表示されます。

- 4 </> キーを押して選択した音域の出カレベルを調節し、SELECT キーまたは MENU キーを押す。

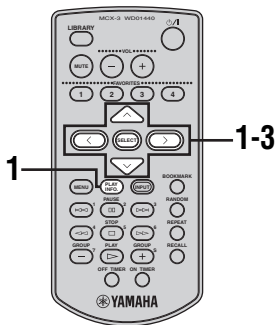
出カレベルを上げる場合は > キー、下げる場合は < キーを押します。



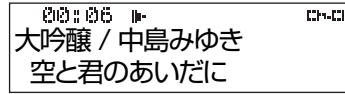
設定が保存され、ディスプレイの表示が Tone 画面に戻ります。

再生時間表示を切り替える

再生情報画面に表示される再生時間を経過時間と残り時間のいずれかに設定することができます。

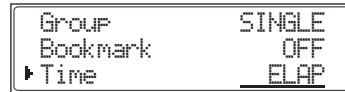


- 1 曲の再生中に PLAY INFO. キーを押して再生情報画面を表示し、> キーを押す。



サブメニューが表示されます。

- 2 ^ / v キーを押して「Time」を選択し、SELECT キーを押す。



設定欄にカーソルが表示されます。

- 3 ^ / v キーを押して「ELAP」または「REM」を選択し、SELECT キーを押す。

ELAP：曲の経過時間（開始位置からの時間）を表示します。

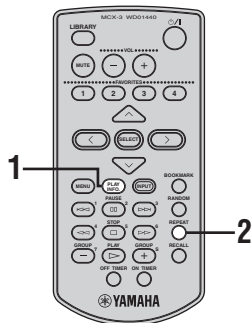
REM：曲の残り時間（終了位置までの時間）を表示します。

サブメニューを終了して再生情報画面に戻するには、< キーを押します。

曲を繰り返して再生する（リピート再生）

リピート再生を設定すると、1つの曲または選択した再生グループ内のすべての曲を繰り返して再生することができます。再生グループについては「再生グループ」(P.17 ページ)をご参照ください。

■ リモコンでの操作手順



1 曲の再生中に **PLAY INFO.** キーを押して再生情報画面を表示する。

2 **REPEAT** キーを押してリピート再生のモードを選択する。

REPEAT キーを押すたびにモードが以下のように切り替わります。

リピート再生モード

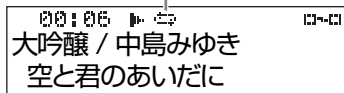
/ 全曲 現在選択している再生グループ内のすべての曲を繰り返して再生します。

/ 曲 現在選択している曲を繰り返して再生します。

(表示なし) / リピート再生をオフにします。
オフ

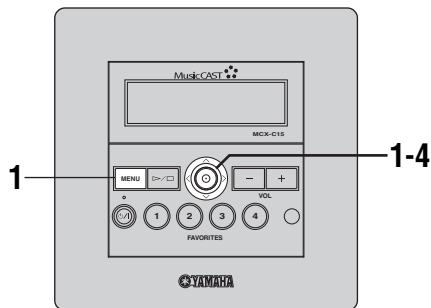


リピート再生アイコン

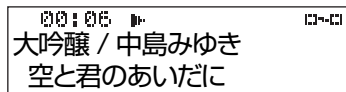


リピート再生を設定するとトップバーにリピート再生アイコンが点灯します。

■ フロントパネルでの操作手順



1 曲の再生中に **MENU** キーを押して再生情報画面を表示し、コントローラーを右にスライドさせる。



サブメニューが表示されます。

2 コントローラーを上下にスライドさせて「Repeat」を選択し、コントローラーを押す。



設定欄にカーソルが表示されます。

3 コントローラーを上下にスライドさせてリピート再生のモードを選択する。

ALL : 現在選択している再生グループ内のすべての曲を繰り返し再生します。

SINGLE : 現在選択している曲を繰り返し再生します。

OFF : リピート再生をオフにします。

4 コントローラーを押す。

設定が保存されます。

サブメニューを終了して再生情報画面に戻るには、コントローラーを左にスライドさせます。リピート再生を設定するとトッパーにリピート再生アイコンが点灯します。

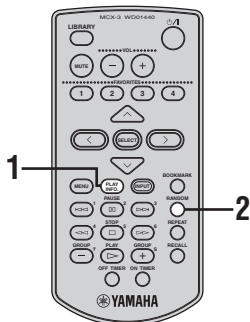
曲を順不同で再生する（ランダム再生）

ランダム再生を設定すると、曲をグループ単位で再生する際に曲順をランダムにすることができます。



グループ単位で曲を再生するには、「サーバー機に保存した曲を聴く」（P.17 ページ）の手順 4 または 5 で **▷** キーを押します。

■ リモコンでの操作手順

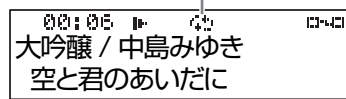


1 曲の再生中に PLAY INFO. キーを押して再生情報画面を表示する。

2 RANDOMキーを押してランダム再生の ON（設定する）/OFF（設定しない）を切り替える。

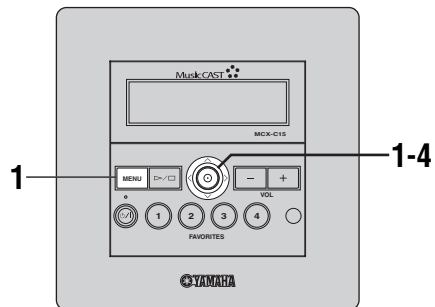


ランダム再生アイコン

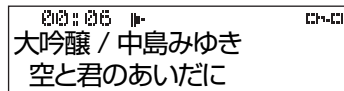


ランダム再生を設定するとトッパーにランダム再生アイコンが点灯します。

■ フロントパネルでの操作手順



1 曲の再生中に MENU キーを押して再生情報画面を表示し、コントローラーを右にスライドさせる。



サブメニューが表示されます。

- 2 コントローラーを上下にスライドさせて「Random」を選択し、コントローラーを押す。



設定欄にカーソルが表示されます。

- 3 コントローラーを上下にスライドさせてランダム再生の ON (設定する) / OFF (設定しない) を切り替える。

- 4 コントローラーを押す。

設定が保存されます。

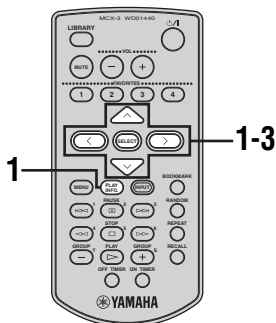
サブメニューを終了して再生情報画面に戻るには、コントローラーを左にスライドさせます。ランダム再生を設定するとトップバーにランダム再生アイコンが点灯します。

グループの再生方法を設定する

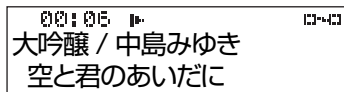
選択したグループの再生終了後、次のグループを続けて再生するかどうか設定することができます。ここでの設定はリピート再生 (P.22 ページ) やランダム再生 (P.23 ページ) をオンにしている際にも反映されます。



グループ単位で曲を再生するには、「サーバー機に保存した曲を聴く」(P.17 ページ) の手順 4 または 5 で ▶ キーを押します。



- 1 曲の再生中に PLAY INFO. キーを押して再生情報画面を表示し、> キーを押す。



サブメニューが表示されます。

- 2 ^ / v キーを押して「Group」を選択し、SELECT キーを押す。



設定欄にカーソルが表示されます。

- 3 ^ / v キーを押して「SINGLE」または「ALL」を選択し、SELECT キーを押す。

SINGLE : 選択したグループの曲のみを再生します。

ALL : 選択したグループの再生終了後、次のグループの曲を再生します。

サブメニューを終了して再生情報画面に戻るには、< キーを押します。

聴きたい曲・音声をワンタッチ再生する (FAVORITES (フェイバリット) 機能)

フェイバリット

FAVORITES 機能を使用すると、ワンタッチ操作で指定した音源を再生することができます。FAVORITES キーを使用する前にお好みの機能を各キーに割り当ててください。1番から4番の各 FAVORITES キーには以下5種類のいずれかの機能を割り当てることができます。

グループの再生：

サーバー機のライブラリーに登録されているグループ内の曲を再生します。(P.24 ページ)

MCX-CA15に接続した外部機器の音声を再生：

MCX-CA15 の AUDIO IN 端子に接続した外部機器で再生している音声を再生します。(P.44 ページ)

サーバー機に接続した外部機器の音声を再生：

サーバー機に接続した外部機器で再生している音声を再生します。(P.45 ページ)

ラジオ放送を再生：

サーバー機に接続したヤマハ AV アンプのラジオ放送を再生します。(P.46 ページ)

AV リンク接続したヤマハ AV アンプの入力切り替え：

MCX-CA15 または I/O ボックスに AV リンク接続したヤマハ AV アンプの入力を切り替えます。(P.47 ページ)

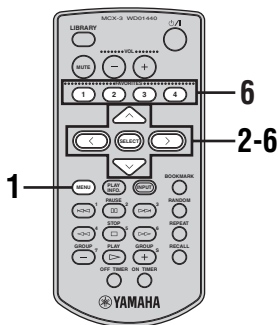


- 機能が割り当てられていない FAVORITES キーを押した場合、「Not assigned」というメッセージがディスプレイに表示されます。
- スリープモード時に FAVORITES キーを押した場合、電源モードが自動的にオンになり割り当てられた機能が実行されます。

ご注意

- リモコンの FAVORITES キー (1 から 4) とフロントパネルの FAVORITES ボタン (1 から 4) には同一機能が割り当てられます。それぞれ個別の割り当て設定ができるわけではありません。
- 既に機能が割り当てられている FAVORITES キーに新しい機能を割り当てた場合、もとの設定が取り消されます。
- 外部機器から音声を入力する場合、これらの機器が正しく接続されていて電源が入っていることをご確認ください。FAVORITES (フェイバリット) 機能では外部機器の電源を自動で切り替えることはできません。

- ライブラリーのグループを割り当てる
 以下の手順では例として「Artists」メニュー
 からグループを選択しています。



- 1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

- 2 上 / 下 キーを押して「Library」を選択し、SELECT キーを押す。



Library 画面が表示されます。

- 3 上 / 下 キーを押して「Artists」を選択し、SELECT キーを押す。



Artists 画面が表示されます。

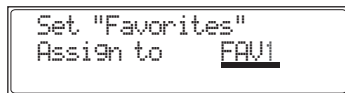
- 4 上 / 下 キーを押して登録するグループ（アーティスト名）を選択する。



- 5 > キーを押す。

Favorites 登録画面が表示されます。

- 6 上 / 下 キーを押して選択したグループを割り当てるキー番号（1から4）を選択し、SELECT キーを押す。



ディスプレイの表示がグループの選択画面に戻り、選択した項目の左側に割り当てた FAVORITES キーの番号が表示されます。



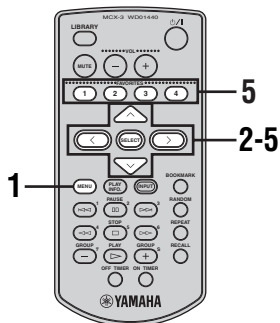
これで割り当て設定は完了です。選択した FAVORITES キーを押すと該当グループの曲が自動的に再生されます。

■ MCX-CA15 に接続した外部機器の音声を割り当てる

MCX-CA15 の AUDIO IN 端子に接続した外部機器の入力を割り当てると、簡単に本機入力を切り替えて、その機器の音声を本機で再生することができます。外部機器の操作方法については各機器に付属している取扱説明書をご参照ください。

ご注意

MCX-CA15 の外部入力を割り当てるには、あらかじめ本機の「Amplifier」メニュー（P.62 ページ）で「MCX-CA15」が選択されている必要があります。



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 上/下キーを押して「Input」を選択し、SELECT キーを押す。



Input 画面が表示されます。

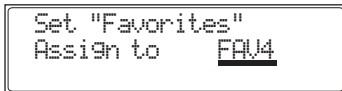
3 上/下キーを押して「AUDIO IN」を選択し、SELECT キーを押す。



4 > キーを押す。

Favorites 登録画面が表示されます。

5 上/下キーを押して MCX-CA15 の AUDIO IN を割り当てるキー番号(1から4)を選択し、SELECT キーを押す。



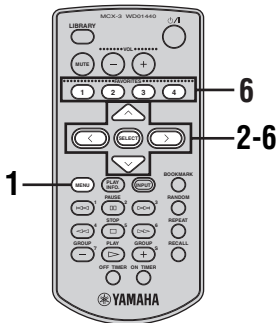
ディスプレイの表示が入力の選択画面に戻り、「AUDIO IN」の左側に割り当てた FAVORITES キーの番号が表示されます。



これで割り当て設定は完了です。選択した FAVORITES キーを押すと MCX-CA15 の入力が自動的に AUDIO IN に切り替わります。

■ サーバー機に接続した外部機器の音声を割り当てる

サーバー機の外部機器入力を割り当てると、その機器の音声を簡単に本機で再生することができます。外部機器の操作方法については各機器に付属している取扱説明書をご参照ください。



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 ^ / v キーを押して「Library」を選択し、SELECT キーを押す。



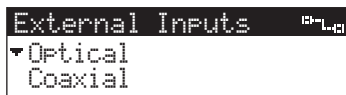
Library 画面が表示されます。

3 ^ / v キーを押して「External Inputs」を選択し、SELECT キーを押す。



External Inputs 画面が表示されます。

4 ^ / v キーを押して登録する入力端子 (Optical、Coaxial、Analog のいずれか) を選択し、SELECT キーを押す。



Optical : サーバー機の OPTICAL IN 端子に接続した外部機器の音声を再生します。

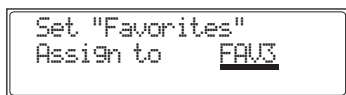
Coaxial : サーバー機の COAXIAL IN 端子に接続した外部機器の音声を再生します。

Analog : サーバー機の ANALOG IN 端子に接続した外部機器の音声を再生します。

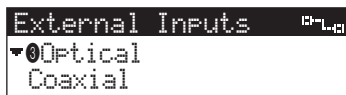
5 > キーを押す。

Favorites 登録画面が表示されます。

6 ^ / v キーを押して選択した外部機器を割り当てるキー番号 (1 から 4) を選択し、SELECT キーを押す。



ディスプレイの表示が入力端子の選択画面に戻り、選択した項目の左側に割り当てた FAVORITES キーの番号が表示されます。



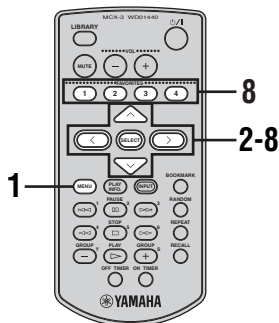
これで割り当て設定は完了です。選択した FAVORITES キーを押すと該当入力端子 (サーバー機) に接続した外部機器の出力音声が自動的に選択されます。

■ ヤマハAVアンプでプリセットしたラジオ局を割り当てる

プリセットとはお好みのラジオ局を登録しておくことができる機能のことです。詳しくはご使用のヤマハAVアンプに付属している取扱説明書をご参照ください。

ご注意

この機能を使用するには、あらかじめサーバー機でヤマハAVアンプの設定をしておく必要があります。詳しくはサーバー機に付属している「MCX-1000 取扱説明書」の「ヤマハAVアンプと接続して使用する」(P.135ページ)をご参照ください。



- 1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。
- 2 へ/∨キーを押して「Library」を選択し、SELECT キーを押す。



Library 画面が表示されます。

- 3 へ/∨キーを押して「External Inputs」を選択し、SELECT キーを押す。



External Inputs 画面が表示されます。

- 4 へ/∨キーを押して「AV Receiver」を選択し、SELECT キーを押す。



プリセットグループ選択画面が表示されます。

- 5 へ/∨キーを押してプリセットグループを選択し、SELECT キーを押す。



プリセット局選択画面が表示されます。

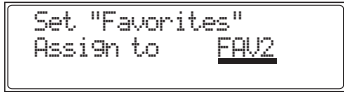
- 6 へ/∨キーを押して登録するラジオ局を選択する。



- 7 > キーを押す。

Favorites 登録画面が表示されます。

- 8 ^ / v キーを押して選択したラジオ局を割り当てるキー番号（1から4）を選択し、SELECT キーを押す。



ディスプレイの表示がラジオ局の選択画面に戻り、選択した項目の左側に割り当てた FAVORITES キーの番号が表示されます。



これで割り当て設定は完了です。選択した FAVORITES キーを押すと該当ラジオ局の放送が自動的に再生されます。



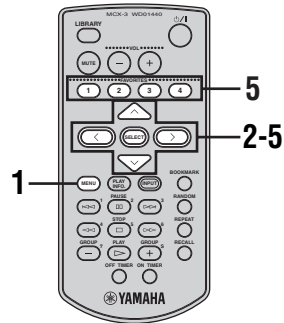
サーバー機にヤマハ AV アンプが接続されていない場合、「Receiver unavailable」というメッセージが表示されます。

■ AV リンク接続したヤマハ AV アンプの入力を割り当てる

AV リンク接続したヤマハ AV アンプの入力を割り当てると、簡単に接続したヤマハ AV アンプの入力を切り替えることができます。AV リンクの接続および操作方法については「本機でヤマハ AV アンプを操作する (AV リンク機能)」（※47 ページ）をご参照ください。

ご注意

ヤマハ AV アンプの入力を割り当てるには、あらかじめ本機の「Amplifier」メニュー（※62 ページ）でお使いの AV アンプが選択されている必要があります。



- 1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。
- 2 ^ / v キーを押して「Input」を選択し、SELECT キーを押す。



Input 画面が表示されます。

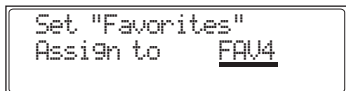
- 3 ^ / v キーを押してヤマハ AV アンプの入力を選択し、SELECT キーを押す。



4 > キーを押す。

Favorites 登録画面が表示されます。

5 ^ / v キーを押して選択したヤマハ AV アンプの入力を割り当てるキー番号(1から4)を選択し、SELECT キーを押す。



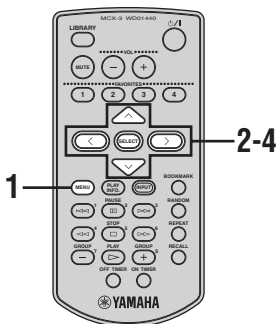
ディスプレイの表示が入力の選択画面に戻り、選択した項目の左側に割り当てた FAVORITES キーの番号が表示されます。



これで割り当て設定は完了です。選択した FAVORITES キーを押すとヤマハ AV アンプの入力が自動的に切り替わります。

フェイバリット

■ FAVORITES ボタンの設定 (割り当て機能) を消去する



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 ^ / v キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。



Setup 画面が表示されます。

3 ^ / v キーを押して「Favorites」を選択し、SELECT キーを押す。



Favorites 画面が表示されます。

4 ^ / v キーを押して設定を消去するキー番号を選択し、SELECT キーを押す。



- Clear FAV1 : FAVORITES キー (1 番) の割り当て設定を消去します。
- Clear FAV2 : FAVORITES キー (2 番) の割り当て設定を消去します。
- Clear FAV3 : FAVORITES キー (3 番) の割り当て設定を消去します。
- Clear FAV4 : FAVORITES キー (4 番) の割り当て設定を消去します。
- Clear All : すべての FAVORITES キーの割り当て設定を消去します。

選択した FAVORITES キーの割り当て設定が消去されます。

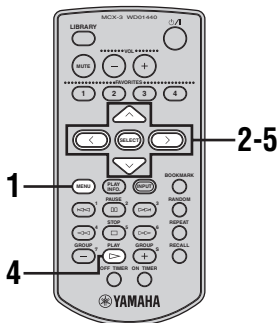
曲統計データから選曲する

サーバー機には、サーバー機およびクライアント機の曲統計データが保存されます。この曲統計データから曲を選択して再生することができます。曲統計データには以下の3種類があります。

Times played (再生回数順) :
再生回数の多い順に曲を表示します。

Recently played songs (最近再生した曲) :
再生した順に曲を表示します。最新のものが一番上に表示されます。

Recently stored albums(最近録音したアルバム) :
録音した順にアルバムを表示します。最新のものが一番上に表示されます。



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 ^ / v キーを押して「Library」を選択し、SELECT キーを押す。



Library 画面が表示されます。

3 ^ / v キーを押して「Song Statistics」を選択し、SELECT キーを押す。



Song Statistics 画面が表示されます。

4 ^ / v キーを押して表示する曲統計データの種類を選択し、SELECT キーを押す。



選択した種類の曲統計データが表示されます。「Recently stored albums」を選択した際にアルバム単位で再生する場合は、^ / v キーを押してアルバム名を選択し、▷ キーを押します。曲単位で再生する場合は、^ / v キーを押してアルバム名を選択し SELECT キーを押します。

5 ^ / v キーを押して再生する曲を選択し、SELECT キーを押す。



選択した曲またはアルバムの再生が始まります。

プレイリストから選曲する

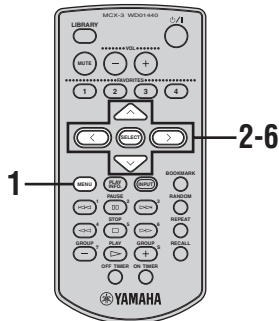
プレイリストとはお好みの曲を集めて作成する再生曲リストのことです。これらのプレイリストを使用してお好みの曲を簡単に本機で再生することができます。プレイリストの作成や編集方法については、サーバー機に付属している「MCX-1000 取扱説明書」の「プレイリストを編集する」(P.88 ページ)をご参照ください。



- 本機のブックマークリストからプレイリストを作成して、サーバー機や別のクライアント機で選曲する際にそのプレイリストを使用することができます。詳しくは「ブックマークリストからプレイリストを作成する」(P.37 ページ)をご参照ください。
- MusicCASTでは、サーバー機に最大1007個のプレイリストを作成することができます。

ご注意

クライアント機でプレイリストを編集することはできません。プレイリストの編集はサーバー機で行ってください。



- 1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

- 2 ^ / v キーを押して「Library」を選択し、SELECT キーを押す。



Library 画面が表示されます。

- 3 ^ / v キーを押して「Playlists」を選択し、SELECT キーを押す。



Playlists 画面が表示されます。

- 4 ^ / v キーを押してコレクションを選択し、SELECT キーを押す。



選択したコレクション内のプレイリストが表示されます。

- 5 ^ / v キーを押してプレイリストを選択し、SELECT キーを押す。

選択したプレイリスト内のすべての曲を再生する場合は、^ / v キーを押してプレイリストを選択し、▷ キーを押します。



選択したプレイリスト内の曲が表示されます。

6 \wedge / \vee キーを押して再生する曲を選択し、SELECT キーを押す。

選択した曲の再生が始まります。

選択した曲の再生が終了すると、プレイリスト内の登録順で次の曲が自動的に再生されます。

曲の選択画面に戻るには、 \leftarrow キーを押します。

部屋を移動して引き続き同じ再生曲を楽しむ (リコール再生)

リコール再生機能を使用すると、サーバー機や別のクライアント機で再生している曲を本機で引き継いで再生することができます。音楽を聴いている最中にお部屋を移動する場合など、移動先でも簡単に同じ曲を選曲し引き続き再生することができるので便利です。

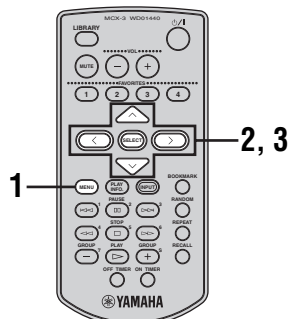


- リコール元 (呼び出される機器) の再生が停止している場合、停止した時点での再生情報がリコール先 (呼び出す機器) で反映されません。
- ランダム再生、リピート再生、ブロードキャストなどリコール元 (呼び出される機器) で設定していた再生モードもリコール先 (呼び出す機器) で反映されます。

ご注意

- サーバー機とネットワーク接続されていないクライアント機をリコール再生に使用することはできません。詳しくはサーバー機に付属している「MCX-1000 取扱説明書」の「ネットワーク (LAN) の設定をする」(P.158 ページ) をご参照ください。
- サーバー機では外部機器から録音した曲、音楽 CD、MP3 CD を再生することができませんが、これらの音声データをサーバー機から引き継いでクライアント機でリコール再生することはできません。
- リコール再生を行った後にリコール元 (呼び出される機器) で行った操作は、リコール先 (呼び出す機器) には反映されません。

■別のクライアント機の再生を本機で引き継ぐ



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 \wedge / \vee キーを押して「Recall Play」を選択し、SELECT キーを押す。



Recall Play 画面が表示されます。

3 \wedge / \vee キーを押してリコール元 (呼び出されるクライアント機) を選択し、SELECT キーを押す。

リコール再生を行わずに操作を中止する場合は、 \leftarrow キーを押します。

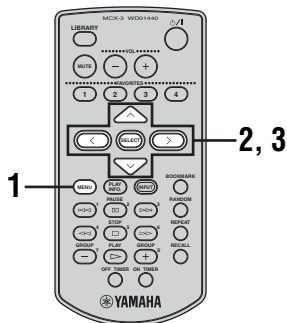


リコール元 (選択したクライアント機) の再生情報に従って本機で再生が始まります。



Recall Play 画面で表示されるクライアント機の名前を編集することができます。詳しくはサーバー機に付属している「MCX-1000 取扱説明書」の「クライアント名を編集する」(P.145 ページ) をご参照ください。

■ サーバー機の再生を本機で引き継ぐ



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 上/下 キーを押して「Recall Play」を選択し、SELECT キーを押す。



Recall Play 画面が表示されます。

3 上/下 キーを押して「Server」を選択し、SELECT キーを押す。

リコール再生を行わずに操作を中止する場合は、左キーを押します。



サーバーの再生情報に従って本機で再生が始まります。

■ ショートカットキーでリコール再生を実行する

リモコンのショートカットキーを使用すると、ディスプレイのメニュー操作をしなくてもリコール再生を実行することができます。

1 RECALL キーを押したままにする。



2 以下のいずれかのショートカットキーを押してリコール元（呼び出される機器）を選択する。

ショートカットキー	リコール元
+ (S)	サーバー機
◀◀ (1)	クライアント機 1
⏏ (2)	クライアント機 2
▶▶ (3)	クライアント機 3
◀◀ (4)	クライアント機 4
□ (5)	クライアント機 5
▶▶ (6)	クライアント機 6
- (7)	クライアント機 7

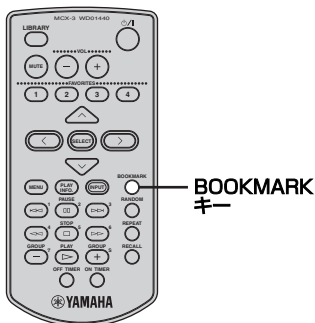
リコール元（選択した機器）の再生情報に従って本機で再生が始まります。

ブックマークを使用する

お好みの曲をブックマークしておくでブックマークリスト（ブックマークした曲のリスト）から選曲して簡単に再生することができます。ブックマークリストには最大 999 曲登録することができます、ブックマークリストからプレイリストを作成することも可能です（※37 ページ）。これにより複数のお好み曲リストを保存しておくことが可能になります。

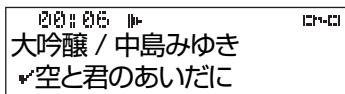
■曲をブックマークする

再生情報画面またはメニュー画面でお好みの曲を表示し、以下の手順で曲をブックマークします。



1 BOOKMARK キーを押す。

曲名の左側にチェックマーク (✓) が表示され、その曲がブックマークリストに登録されます。



再生情報画面の表示



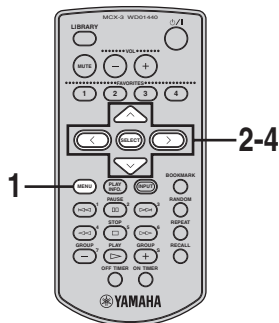
メニュー画面の表示

ブックマークを外すには、再度 BOOKMARK キーを押します。



アルバムを表示している際に BOOKMARK キーを押すと、該当アルバム内に登録されているすべての曲をブックマークすることができます。ただしブックマークをオフにする操作はアルバム単位ではできませんので、曲ごとに行ってください。

■ブックマークリストから選曲する



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 上/下キーを押して「Library」を選択し、SELECT キーを押す。



Library 画面が表示されます。

3 上/下キーを押して「Bookmarks」を選択し、SELECT キーを押す。



Bookmarks 画面が表示されます。

- 4 ^ / v キーを押して再生する曲を選択し、SELECT キーを押す。

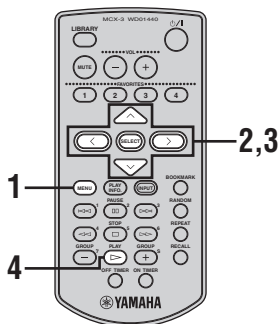


選択した曲の再生が始まります。

再生を停止して Bookmarks 画面に戻るには、くキーを押します。

■ブックマークリストからプレイリストを作成する

ブックマークの内容をコピーしてプレイリストを作成することができます。これにより本機のお好みの曲リストを複数保存しておくことができます。また本機でブックマークした曲のリストをサーバー機や別のクライアント機で使用することができます。



- 1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

- 2 ^ / v キーを押して「Edit Bookmark」を選択し、SELECT キーを押す。



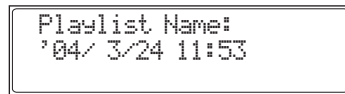
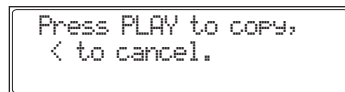
Edit Bookmark 画面が表示されます。

- 3 ^ / v キーを押して「Copy to playlist」を選択し、SELECT キーを押す。



- 4 ▷ キーを押してプレイリストを作成する。

プレイリストを作成せずに操作を中止する場合は、くキーを押します。



サーバー機の初期設定コレクション(コレクション1)に新しいプレイリストが作成され、ディスプレイの表示が Edit Bookmark 画面に戻ります。



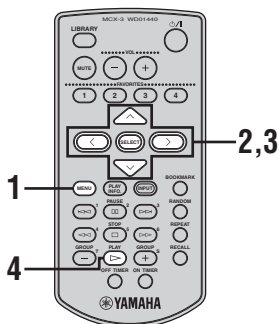
プレイリストの名称には自動的に現在の日時が適用されますが、サーバー機でプレイリスト名を編集することができます。プレイリスト名の編集についてはサーバー機に付属の「MCX-1000 取扱説明書」の「プレイリスト名を変更する」(P.94 ページ)をご参照ください。

■ブックマークリストの内容を消去する

ブックマークリストの内容をすべて消去して、すべての曲のブックマークを外すことができます。



ブックマークリストは1つしか保存されません。新しいブックマークリストを作成する前に、プレイリストにコピーしておけば前のブックマークリストの内容を保存したまま、新しいブックマークを作成することができます。



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 上/下キーを押して「Edit Bookmark」を選択し、SELECT キーを押す。



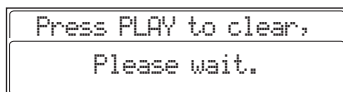
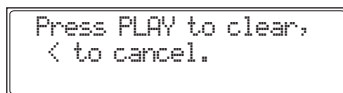
Edit Bookmark 画面が表示されます。

3 上/下キーを押して「Clear All」を選択し、SELECT キーを押す。



4 右向きキーを押してブックマークリストの内容を消去する。

ブックマークリストの内容を消去せずに操作を中止する場合は、左向きキーを押します。



ブックマークリストの内容が消去され、ディスプレイの表示が Edit Bookmark 画面に戻ります。

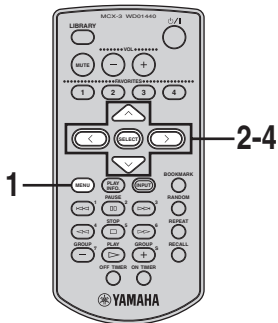
電源モードを自動的にスリープにする (オフタイマー)

オフタイマーを使用すると、本機で曲を再生していても、一定の時間が経過したら電源モードを自動的にスリープに切り替えることができます。おやすみ前に音楽をお楽しみになる場合などに便利な機能です。オフタイマーを設定する方法は2種類ありますので、いずれかの手順行ってください。



- オフタイマーを使用していない場合でも、再生停止中に操作をしない状態が30分経つと、本機の電源モードは自動的にスリープに切り替わります。
- オフタイマーとオンタイマー (P.40 ページ) は同時に使用することができます。

■メニュー操作でオフタイマーを設定する

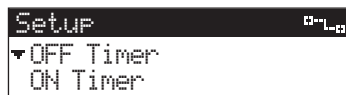


- 1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。
- 2 上/下キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。



Setup 画面が表示されます。

- 3 上/下キーを押して「OFF Timer」を選択し、SELECT キーを押す。



OFF Timer 画面が表示されます。

- 4 上/下キーを押してオフタイマーが作動するまでの時間を選択し、SELECT キーを押す。

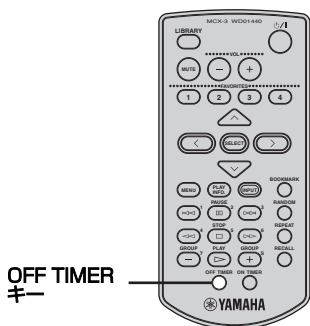
設定時間は、OFF (設定しない)、30min (30分)、60min (60分)、90min (90分)、120min (120分) から選択することができます。

オフタイマーを設定せずに操作を中止するには、左キーを押します。



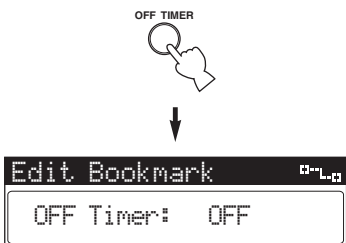
オフタイマーを設定すると、ディスプレイの表示が Setup 画面に戻り、フロントパネル上の TIMER ランプが点灯します。

■ OFF TIMER キーでオフタイマーを設定する



1 OFF TIMER キーを押してオフタイマーが作動するまでの時間を選択する。

キーを押すたびにディスプレイの表示が「OFF」（設定しない）、「30min」（30分）、「60min」（60分）、「90min」（90分）、「120min」（120分）で切り替わります。



オフタイマーを設定すると、フロントパネル上の TIMER ランプが点灯し本体のディスプレイのバックライトが消灯します。

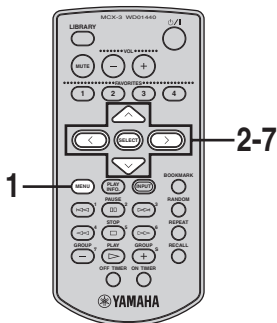
電源モードを自動的にオンにする (オンタイマー)

オンタイマーを設定すると、指定した時刻に本機の電源モードを自動的にオンに切り替えることができます。またオートプレイ機能 (P.50 ページ) と組み合わせて使用すると、電源モードをスリープにした際に再生していた曲をオンタイマー作動時に自動再生することができるので、音楽を目覚ましにすることもできます。オンタイマーを設定する方法は2種類ありますが、ON TIMER キー操作では時刻を設定することはできません。時刻の設定はメニュー操作で行ってください。



- サーバー機でも各クライアント機のタイマーを設定することができます。詳しくはサーバー機に付属している「MCX-1000 取扱説明書」の「クライアント機のタイマー機能」(P.154 ページ) をご参照ください。
- オフタイマー (P.39 ページ) とオンタイマーは同時に使用することができます。
- サーバー機で12時間表示/24時間表示を切り替えることができます。詳しくは、「MusicCAST バージョンアップマニュアル Vol.2」の「12/24 時間表記を切り替える」(P.“MusicCAST バージョンアップ2” 31 ページ) をご参照ください。

■メニュー操作でオンタイマーを設定する



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 上/下キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。



Setup 画面が表示されます。

3 上/下キーを押して「ON Timer」を選択し、SELECT キーを押す。



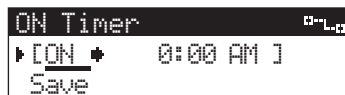
ON Timer 画面が表示されます。

4 SELECT キーを再度押す。



設定欄にカーソルが表示されます。

5 上/下キーを押して「ON」を選択し、右キーを押す。



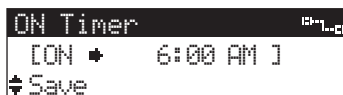
6 オンタイマーを動作させる時刻を設定し、SELECT キーを押す。

時刻を設定するには上/下キーを押して時/分を切り替え、上/下キーを押して各数値を選択します。



7 上/下キーを押して「Save」を選択し、SELECT キーを押す。

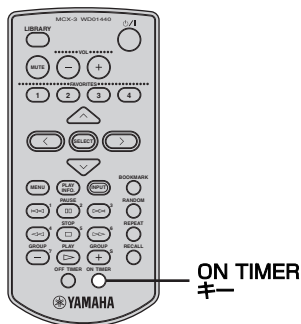
オフタイマーを設定せずに操作を中止するには、上/下キーを押して「Cancel」を選択し、SELECT キーを押します。



ディスプレイの表示がSetup画面に戻ります。電源モードをスリープにした際にフロントパネル上のTIMERランプが点灯します。(オフタイマーが設定されている場合は既に点灯しています。)

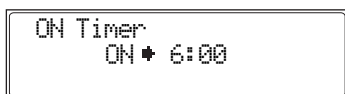
■ ON TIMER キーでオンタイマーを設定する

ON TIMER キーは、オンタイマーのオン / オフを切り替えるのみで、オンタイマーを作動させる時刻を設定することはできません（メニュー操作で設定した時刻を自動的に選択します）。時刻の設定が必要な場合は、メニュー操作で行ってください（[p.41](#) ページ）。



1 ON TIMER キーを押して「ON」を選択する。

キーを押すたびにディスプレイの表示が「ON」（設定する）と「OFF」（設定しない）で切り替わります。



電源モードをスリープにした際にフロントパネル上の TIMER ランプが点灯します。（オフタイマーが設定されている場合は既に点灯しています。）

サーバー機の再生を一斉配信する（ブロードキャスト）

ブロードキャストとは、MusicCAST システムの各機器にサーバー機で再生している曲や音声を一斉配信する機能です。サーバー機でブロードキャストを実行すると、サーバー機の再生曲をブロードキャストモードに設定されているすべてのクライアント機に一斉配信（ブロードキャスト再生）することができます。家庭内のさまざまな場所に設置したクライアント機で同じ曲をお楽しみになる場合などに使用ください。



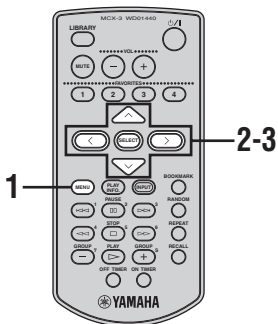
サーバー機で本機をブロードキャストの対象クライアントとして設定しておく、本機で操作をしなくても自動的にブロードキャスト再生を開始することができます。詳しくは「MusicCAST バージョンアップマニュアル Vol.2」の「ブロードキャストを開始する」（[p.8](#)）「MusicCAST バージョンアップ 1」8 ページ）をご参照ください。

ご注意

- ブロードキャスト再生を行うと、オンタイマーおよびオフタイマーの設定が自動的にオフになります。ブロードキャストを停止してもオンには戻らないので、必要に応じてタイマーを再設定してください。
- ブロードキャスト再生中にサーバー機および各クライアント機で約0.2秒以下の再生時間のズレが生じることがあります。

■本機をブロードキャストに参加させる

本機でブロードキャスト再生をお楽しみいただく前に、サーバー機でブロードキャストが開始されている（サーバー機のディスプレイにブロードキャストアイコンが表示されている）ことをご確認ください。サーバー機でブロードキャストが開始されていれば、途中からでも本機に参加させることができます。



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

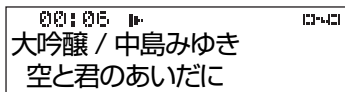
2 上/下 キーを押して「Recall Play」を選択し、SELECT キーを押す。



Recall Play 画面が表示されます。

3 上/下 キーを押して「サーバー」を選択し、SELECT キーを押す。

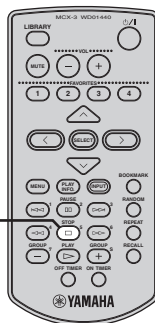
ブロードキャスト再生を行わずに操作を中止する場合は、クキーを押します。



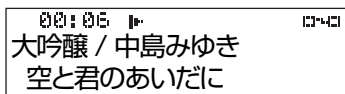
ディスプレイに再生情報画面が表示され、ブロードキャスト再生が始まります。

音楽を聴く

■本機をブロードキャストから外す



1 □ (STOP) キーを押す。



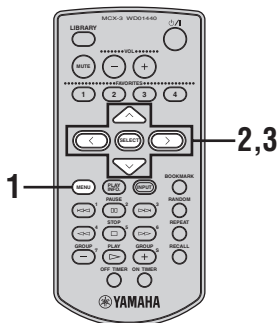
本機のブロードキャスト再生が停止し、ディスプレイに再生情報画面が表示されます。

外部音声の再生

MCX-CA15 に接続された外部機器の音声を楽しむ

外部機器（CD プレイヤー、コントロールアンブなど）を MCX-CA15 に接続すると、その外部機器で再生している音声を本機でお楽しみいただけます。接続方法については、「設置マニュアル」の「他の外部機器を接続する」（P.15 ページ）をご参照ください。

本機で外部音声を再生する前に、「Setup」画面の「Amplifier」設定で「MCX-CA15」が選択されていることをご確認ください。詳しくは「ヤマハ AV アンブを登録する」（P.47 ページ）をご参照ください。



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 上 / 下 キーを押して「Input」を選択し、SELECT キーを押す。



Input 画面が表示されます。

3 上 / 下 キーを押して「AUDIO IN」を選択し、SELECT キーを押す。



Server : サーバー機の音声を入力します。

AUDIO IN : 外部機器の音声を入力します。

Auto : サーバー機または外部機器の音声を自動で選択します。

MCX-CA15 に接続している外部機器の音声が本機で再生されます。

ご注意

- 入力を「Auto」に設定時、サーバー機と外部機器から同時に音声を入力した場合は、サーバー機からの入力が優先されます。サーバー機の音声を停止した場合は、自動で外部機器からの再生に切り替わります。
- 入力を「AUDIO IN」に設定時、サーバー機の音声を再生した場合は、設定が自動的に「Server」に切り替わります。後に外部機器の音声を再生する際は、再度入力を「AUDIO IN」に設定してください。
- 入力を「AUDIO IN」に設定時、外部音声を再生中に FAVORITES（フェイバリット）機能（P.25 ページ）を使用した場合、FAVORITES（フェイバリット）機能の割り当て設定が優先されます。

■サーバー機に保存されている曲の再生に戻す

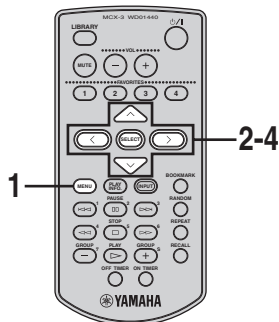
上記の手順 1、2 を実行後、上 / 下 キーを押して「Server」を選択し、SELECT キーを押します。

サーバー機に接続された外部機器の の音を再生する

外部機器（CD プレイヤー、コントロールアンブなど）をサーバー機に接続すると、その外部機器で再生している音声を本機でお楽しみいただけます。接続方法については、「MCX-1000 取扱説明書」の「AUDIO 接続端子」（P.17 ページ）をご参照ください。

ご注意

- サーバー機は MusicCAST システム上のすべてのクライアント機に同一の外部入力音声を配信しますので、いずれかのクライアント機でサーバー機の外部入力音声を切り替えると、すべてのクライアント機で外部入力音声が切り替わります。
- サーバー機をブロードキャストモードに設定している場合、サーバー機に接続された外部機器の音声を再生することはできません。
- 外部音声は MP3 フォーマットでサーバー機から各クライアント機に配信されます。サーバー機の設定で PCM 再生クライアントに指定されているクライアント機についても同様です。



- 1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

- 2 ^ / v キーを押して「Library」を選択し、SELECT キーを押す。



Library 画面が表示されます。

- 3 ^ / v キーを押して「External Inputs」を選択し、SELECT キーを押す。



External Inputs 画面が表示されます。

- 4 ^ / v キーを押して外部機器が接続されているサーバー機の入力端子（Optical、Coaxial、Analog のいずれか）を選択し、SELECT キーを押す。



Optical : サーバー機の OPTICAL IN 端子に接続した外部機器の音声を再生します。

Coaxial : サーバー機の COAXIAL IN 端子に接続した外部機器の音声を再生します。

Analog : サーバー機の ANALOG IN 端子に接続した外部機器の音声を再生します。

選択したサーバー機の端子に接続されている外部機器の音声が本機で再生されます。

■外部音声の再生を停止する

- キーを押します。



ヤマハ AV アンプでプリセットしたラジオ局の放送を聴く

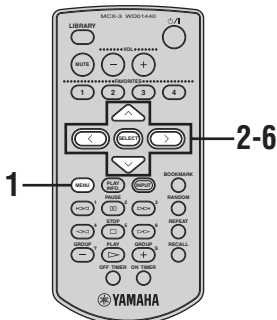
MusicCAST に対応したヤマハ AV アンプをサーバー機に接続すると、ヤマハ AV アンプでプリセットしたラジオ局の放送を本機でお楽しみいただけます。対応ヤマハ AV アンプについては「MCX-1000 取扱説明書」の「操作可能なヤマハ AV アンプを確認する」(P.203 ページ)、接続方法については同書の「ヤマハ AV アンプと接続して使用する」(P.135 ページ)をご参照ください。

※

本機でラジオ音声を再生する前に、サーバー機およびヤマハ AV アンプの電源が入っていることをご確認ください。

ご注意

- サーバー機は MusicCAST システム上のすべてのクライアント機に同一のラジオ局の放送を配信しますので、いずれかのクライアント機でラジオ局を変更すると、チューナー受信中のすべてのクライアント機でラジオ局が変更されます。
- ラジオの音声は MP3 の音質でサーバー機から各クライアント機に配信されます。サーバー機の設定で PCM 再生クライアントに指定されているクライアント機についても同様です。



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 上/下キーを押して「Library」を選択し、SELECT キーを押す。



Library 画面が表示されます。

3 上/下キーを押して「External Inputs」を選択し、SELECT キーを押す。



External Inputs 画面が表示されます。

4 上/下キーを押して「AV Receiver」を選択し、SELECT キーを押す。



プリセットグループ選択画面が表示されます。

5 上/下キーを押してプリセットグループを選択し、SELECT キーを押す。



プリセット局選択画面が表示されます。

6 上/下キーを押して聴きたいラジオ局を選択し、SELECT キーを押す。



選択したラジオ局の放送が本機で再生されます。

本機でヤマハ AV アンプを操作する (AV リンク機能)

AV リンク機能とは、本機を操作してMCX-CA15 または I/O ボックスに接続したヤマハ AV アンプの機能を制御する機能のことです。この機能を使用するには、IR フラッシャーが必要になります。AV リンク機能で操作できるヤマハ AV アンプの機能

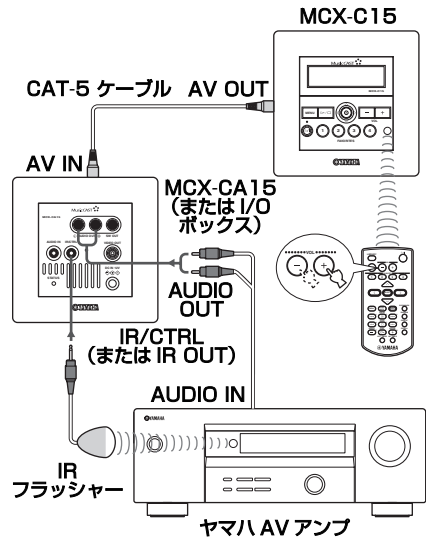
- 音量の調節
- 入力の切り替え (本機の出音声を再生)
- プリセットグループとラジオ局の選択 (アンプの入力を TUNER に設定時)

ご注意

- AV リンク機能に対応しているヤマハ AV アンプは、Amplifier 画面 (48 ページの手順 4) で選択できる機種のみに限ります。
- ゾーン設定の対応機種は特定のヤマハ AV アンプに限ります。対応の有無については、ご使用のヤマハ AV アンプに付属している取扱説明書をご参照ください。

■ AV リンク機能を使用するための接続

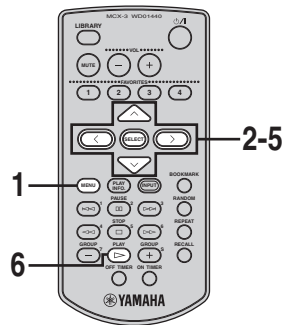
AV リンク機能を使用するには、図のように本機、MCX-CA15 (または I/O ボックス)、ヤマハ AV アンプを対応ケーブルで接続する必要があります。IR フラッシャーは、MCX-CA15 の IR CTRL 端子 (または I/O ボックスの IR OUT 端子) に接続し、発光部をヤマハ AV アンプの赤外線受光部に向けて設置します。



音楽を聴く

■ ヤマハ AV アンプを登録する

AV リンク機能を使用してヤマハ AV アンプを操作するには、まず以下の手順でヤマハ AV アンプの登録を行ってください。



- 1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

- 2 ^ / v キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。



Setup 画面が表示されます。

- 3 ^ / v キーを押して「Amplifier」を選択し、SELECT キーを押す。



Amplifier 画面が表示されます。

- 4 ^ / v キーを押して MCX-CA15(または I/O ボックス) に接続したヤマハ AV アンプの機種を選択し、SELECT キーを押す。

ゾーン設定対応のヤマハ AV アンプを使用している場合は、^ / v キーを押してアンプの機種を選択し SELECT キーを押した後、^ / v キーを押してゾーンを選択し、SELECT キーを押します。



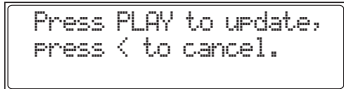
Amp Input 画面が表示されます。

- 5 ^ / v キーを押して MCX-CA15(または I/O ボックス) に接続したヤマハ AV アンプの入力を選択し、SELECT キーを押す。

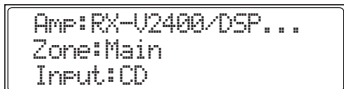


- 6 > キーを押す。

設定を変更せずに操作を中止する場合は、< キーを押します。

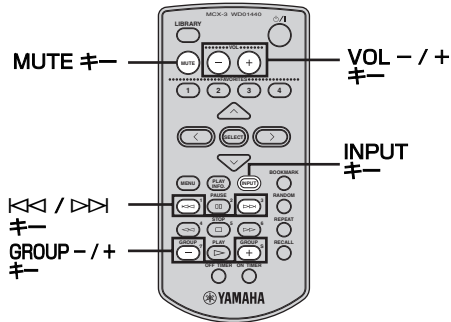


ディスプレイに設定した内容が表示されます。



これで登録は完了です。操作方法については「AV リンク機能の操作」(※49 ページ)をご参照ください。

■ AV リンク機能の操作



AV リンク機能では本機のリモコンの下記のキーでヤマハAVアンプを操作することができます。

VOL - / + キー：
音量を調節します。

MUTE キー：
一時的に消音します。再度押すと消音を解除します。

GROUP - / + キー：
プリセットグループを切り替えます。

<< / >> キー：
プリセット局（ラジオ局）を切り替えます。

INPUT キー：
入力を切り替えます。

ご注意

- ご使用のヤマハAVアンプによっては、AVリンク機能で消音機能（MUTE）を操作できない場合があります。
- GROUP - / + キーと<< / >> キーは接続したヤマハAVアンプがチューナーを搭載している場合のみ有効です。

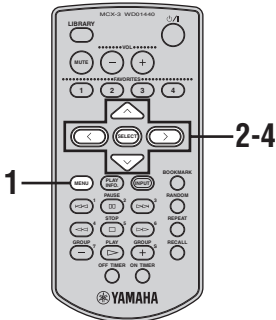
その他の機能

スリープにした時の曲を再生する (オートプレイ機能)

オートプレイ機能とは電源モードをスリープにした時の再生曲情報を保存し、次回電源モードをオンにした際に同じ曲を自動的に再生する機能です。



オートプレイ機能を使うと、スリープ時に再生(または選択)していた曲が先頭から再生されます。



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 ^ / v キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。



Setup 画面が表示されます。

3 ^ / v キーを押して「Auto Play」を選択し、SELECT キーを押す。



Auto Play 画面が表示されます。

4 ^ / v キーを押して「ON」(設定する)または「OFF」(設定しない)を選択し、SELECT キーを押す。



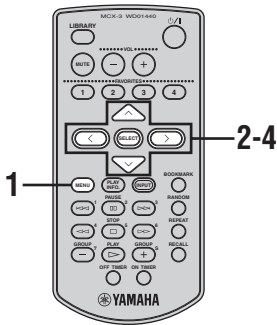
「ON」を選択すると、オートプレイ機能が有効になります。

音量を自動で調節する（オートレベルコントロール機能）

サーバー機はCDなどのオリジナル音源からオリジナルの音量で録音します。音量が異なるさまざまな音源から録音した曲を続けて再生するときに、音量の差が目立つ場合などは、オートレベルコントロール機能を使用すれば、これらの差を補正し一定の音量で再生をお楽しみいただけます。

ご注意

異なるジャンルの曲を続けて再生する際など音量のばらつきが極端な場合、オートレベルコントロール機能を使用しても適切な音量に調整されないことがあります。このような場合はオートレベルコントロール機能をオフにして手で音量を調節してください（P.20 ページ）。



- 1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。
- 2 上 / 下 キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。



Setup 画面が表示されます。

- 3 上 / 下 キーを押して「Auto Level Control」を選択し、SELECT キーを押す。



Auto Level Control 画面が表示されます。

- 4 上 / 下 キーを押して「ON」（設定する）または「OFF」（設定しない）を選択し、SELECT キーを押す。



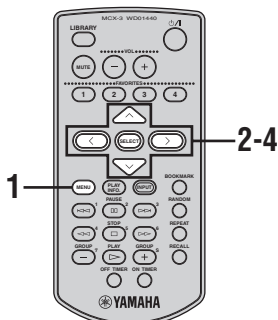
「ON」に設定すると、各曲の音量が自動的に調節され一定の音量で再生を楽しむことができます。

外部出力音の音量・音色を制御する (オーディオコントロール)

本機から出力する音声の音量・音色を、本機で調節するか外部機器で調節するか選択することができます。MCX-CA15 を使用する場合など、通常は「Variable」(本機で調節) を選択してください。



初期設定では、「Variable」(本機で調節) が選択されています。



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 ^ / v キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。



Setup 画面が表示されます。

3 ^ / v キーを押して「AUDIO OUT」を選択し、SELECT キーを押す。



AUDIO OUT 画面が表示されます。

4 ^ / v キーを押して「Variable」または「Fixed」を選択し、SELECT キーを押す。



Variable : 本機で音量・音色を調節します。

Fixed : 外部機器で音量・音色を調節します。本機で音量・音色を調節することはできません。

選択した機器で本機が出力する音声の音量・音色を調節できるようになります。

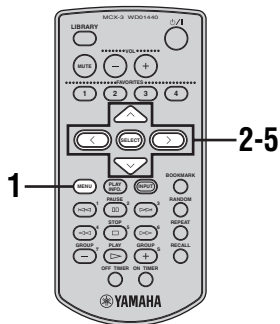
ご注意

- 「Fixed」を選択した場合、本機の音量レベルが自動的に最大に設定されます。再生を開始する前に外部機器側で音量を調節してください。
- 「AUDIO OUT」(手順 3) は、「Setup」画面の「Amplifier」設定で「MCX-CA15」または「MCX-IB15」を選択している場合、かつ I/O ボックスを本機に接続している場合にのみ選択することができます。これ以外の場合には、「AUDIO OUT」(手順 3) を選択した際に「Prohibited」という禁止メッセージが表示され、設定を変更することはできません。

ディスプレイの設定

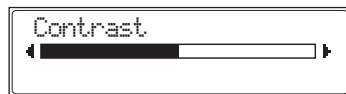
コントラストを調節する

本機の設置場所によってはディスプレイの表示が読みにくい場合があります。このような場合、以下の手順でディスプレイのコントラストを調節してください。通常、明るい場所では高いコントラスト、暗い場所では低いコントラストが適しています。



4 ^ / v / < / > キーを押してコントラストを調節する。

コントラストを上げる場合は ^ または > キー、下げる場合は v または < キーを押します。



5 SELECT キーを押す。

設定が保存されます。

1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 ^ / v キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。



Setup 画面が表示されます。

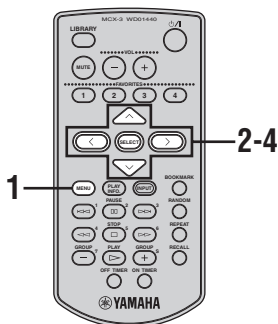
3 ^ / v キーを押して「Contrast」を選択し、SELECT キーを押す。



Contrast 画面が表示されます。

スクリーンセ이버機能を使用する

TVやモニターを本機のVIDEO OUT 端子に接続してディスプレイ内容を表示する際、スクリーンセ이버機能を使えば同一映像による画面焼付けを防ぐことができます。スクリーンセ이버機能は最後の操作から2分間経過すると自動的に作動します。



- 1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。
- 2 ^ / v キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。



Setup 画面が表示されます。

- 3 ^ / v キーを押して「Screen Saver」を選択し、SELECT キーを押す。



Screen Saver 画面が表示されます。

- 4 ^ / v キーを押して「ON」(設定する) または「OFF」(設定しない) を選択し、SELECT キーを押す。

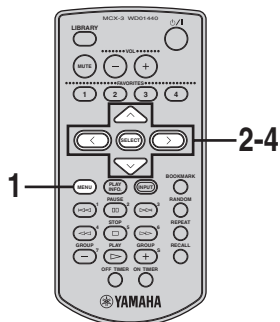


「ON」に設定すると、スクリーンセ이버が有効になります。

システムの設定

バージョン情報を確認する

本機にインストールされているファームウェアのバージョンを確認することができます。



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 上/下キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。



Setup 画面が表示されます。

3 上/下キーを押して「System」を選択し、SELECT キーを押す。



System 画面が表示されます。

4 上/下キーを押して「Information」を選択し、SELECT キーを押す。



ディスプレイに本機のファームウェアバージョンが表示されます。



前のメニューに戻るには、左キーを押します。

設定を工場出荷時の状態に戻す

本機に何らかの問題が発生した場合、設定を工場出荷時の状態に戻す（初期化する）ことができます。初期化する前に必ず下記の説明をよくお読みください。

初期化が必要と考えられるケース

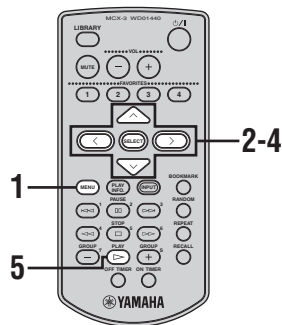
- 原因不明な不具合が発生し、「故障かな？と思ったら」（※60 ページ）を参照しても解決できない。
- 各種設定において誤った設定値を指定しており、復旧するのが難しい。
- 本機を他の MusicCAST システムで使用するため、初期化する必要がある。

ご注意

サーバー機で本機の操作またはネットワークをロックしている場合、本機でシステムの初期化を実行することはできません。初期化を実行するには、サーバー機で設定しているクライアントロックおよびネットワークのロックをオフにしてください。クライアントロックをオフにする方法はサーバー機に付属している「MCX-1000 取扱説明書」の「クライアント機をロックする」（※142 ページ）、ネットワークのロックをオフにする方法は「MusicCAST バージョンアップマニュアル Vol.2」の「機能・設定にロックをかける（ロック機能）」（※“MusicCAST バージョンアップ2”3 ページ）をご参照ください。

ご注意

- 本機の設定を初期化してもインストール済みのファームウェアや、サーバー機および他のクライアント機の設定やデータには影響しません。
- 初期化したあとは必要なシステム設定を再度行ってください。
- ネットワーク設定が工場出荷状態に戻り、サーバー機との接続が遮断されます。



1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 上/下キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。



Setup 画面が表示されます。

3 上/下キーを押して「System」を選択し、SELECT キーを押す。



System 画面が表示されます。


4 上/下キーを押して「System Reset」を選択し、SELECT キーを押す。



確認画面が表示されます。

5 ▷ キーを押す。

初期化せずに操作を中止するには、< キーを押します。



```
Press PLAY to restore  
to factory setting.
```

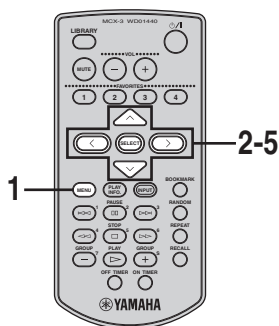
本機の設定が初期化され、しばらくして本機が再起動します。

ネットワーク設定の確認

本機のネットワーク接続に何らかの問題が発生した場合など、以下の手順で本機のネットワーク設定を確認することができます。確認後、ネットワークの設定に問題がある場合は、「設置マニュアル」の「MCX-C15 のネットワーク設定」(P.22 ページ) を参照し、本機のネットワーク設定を変更してください。

ご注意

サーバー機で本機の操作やネットワークをロックしている場合、本機でネットワーク設定を変更することはできません。設定変更を実行するには、サーバー機で設定しているクライアントロックおよびネットワークのロックをオフにしてください。クライアントロックをオフにする方法はサーバー機に付属している「MCX-1000 取扱説明書」の「クライアント機をロックする」(P.142 ページ)、ネットワークのロックをオフにする方法は「MusicCAST バージョンアップマニュアル Vol.2」の「機能・設定にロックをかける (ロック機能)」(P.3 “MusicCAST バージョンアップ 2” 3 ページ) をご参照ください。

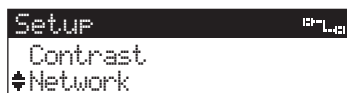


- 1 MENU キーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。
- 2 上/下キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。



Setup 画面が表示されます。

- 3 上/下キーを押して「Network」を選択し、SELECT キーを押す。



Network 画面が表示されます。

- 4 上/下キーを押して「Status」を選択し、SELECT キーを押す。



Status 画面が表示されます。

- 5 へ/へキーをして「IP Address」を選択し、SELECT キーを押す。

```
Status
▶ IP Address
```

ディスプレイに本機のネットワーク設定が表示されます。ディスプレイの表示をスクロールするには、へ/へキーを押します。

```
IP Address
ID: [      ]
IP: [ 0. 0. 0. 0 ]
```

- ID**： 本機のネットワーク ID
(MusicCASTシステム内の本機の ID 番号)
- IP**： 本機が使用している IP アドレス
- Msk**： 本機が使用しているサブネットマスク
- MAC**： 本機の MAC アドレス

トップメニューに戻るには、く キーを押します。

故障かな?と思ったら

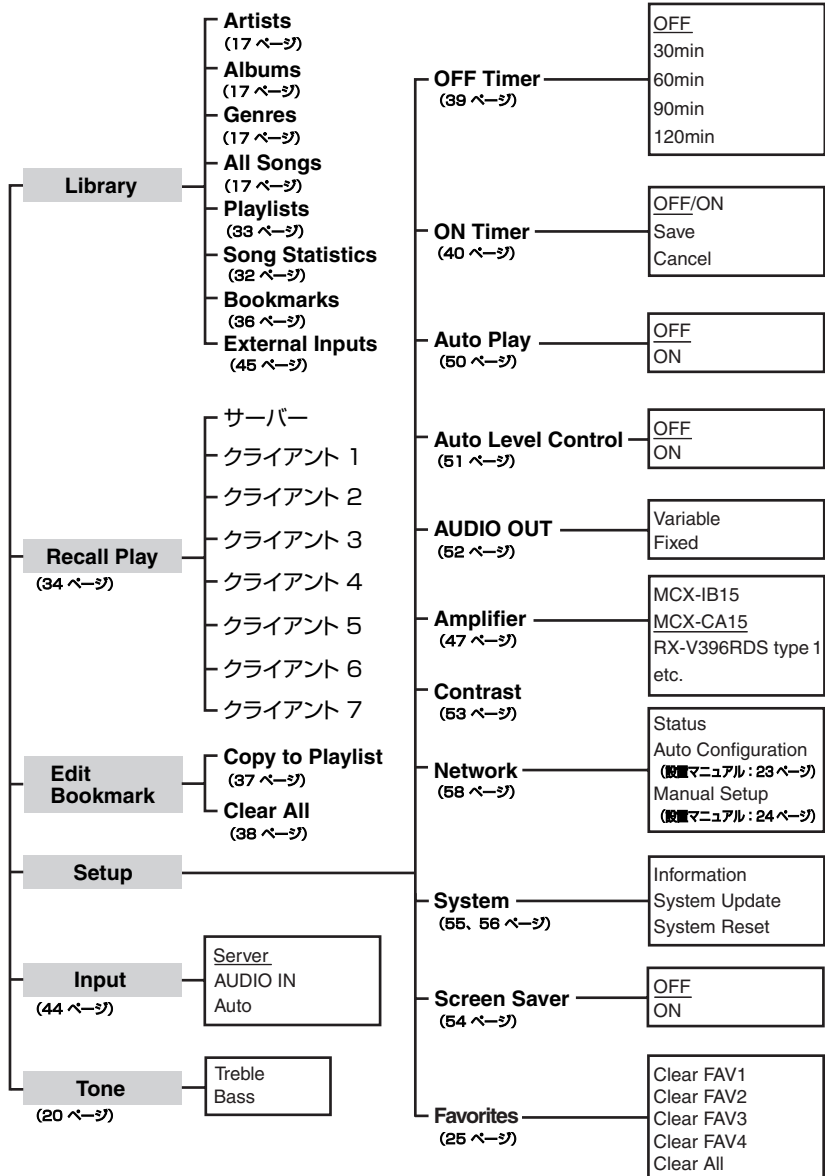
ご使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や、対処しても正常に作動しない場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げ店または最寄のヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせ、サービスをご依頼ください。

症状	原因	対策	参照ページ
本機から音が出ない	音量が低く設定されている。	音量を上げてください。	20 ページ
	スピーカーがMCX-CA15に正しく接続されていない。	スピーカーとMCX-CA15の接続を確認し、正しく接続しなおしてください。	—
本機で再生ができない	サーバー機の電源モードがスタンバイになっている。	サーバー機の電源モードをオンにしてください。	—
	サーバー機にMP3フォーマットに変換された曲データが保存されていない。	サーバー機に曲を録音してください。	MCX-1000 取扱説明書 (25 ページ)
	選択した曲がサーバー機でMP3フォーマットに変換中である。	サーバー機でMP3フォーマットに変換されるまでお待ちください。(変換されると曲名の横に表示されている「*」が消えます。)	MCX-1000 取扱説明書 (25 ページ)
本機の再生音が音飛びする	ネットワークが非常に混雑している。	ネットワーク周辺機器をアップグレードするか、MusicCASTシステムのネットワークを既存のネットワークから独立させてください。	—
本機の再生音が音飛びまたは停止する	複数のクライアント機で同時に再生している、またはサーバーで再生、録音、編集などの操作を行っている。	サーバー機から同時に受信・再生するクライアント機の数を減らすか、サーバー機での操作を中断してください。	—
曲の選択メニューに表示中の一部の曲が本機で再生されない	選択した曲がサーバー機で録音中である。	サーバー機で録音が終わるまでお待ちください。	MCX-1000 取扱説明書 (25 ページ)
本機からサーバー機の外部機器を選択できない	サーバー機が外部機器からの音声を録音中である。	サーバー機で録音が終わるまでお待ちください。	MCX-1000 取扱説明書 (31 ページ)
本機の操作が音量調節と再生停止しかできない	サーバー機の設定で本機がロックされている。	サーバー機のクライアントロックをオフにしてください。	MCX-1000 取扱説明書 (142 ページ)
チューナーの近くで本機の再生を開始するとラジオ放送にノイズが入る	本機とチューナーの距離が近すぎる。	本機とチューナーを1m以上離して設置してください。	—

症状	原因	対策	参照ページ
本機で前の曲の再生が終了してから次の曲の再生が始まるまで時間がかかる	クライアント機の再生では通常の状態では曲間が長くなる場合があります。	故障ではありません。	—
サーバー機に接続しているヤマハ AV アンプのプリセット局の放送を聴けない	サーバー機のフロントパネル上にある ANALOG REC LEVEL の設定が低い。	ANALOG REC LEVEL の設定を上げてください。	MCX-1000 取扱説明書 (16 ページ)
	サーバー機に接続しているヤマハ AV アンプの設定が間違っている。	ヤマハ AV アンプの設定を正しく設定しなおしてください。	MCX-1000 取扱説明書 (135 ページ)
	サーバー機に接続しているヤマハ AV アンプの電源がスタンバイになっている。	ヤマハ AV アンプの電源をオンにしてください。	—
	ヤマハ AV アンプがサーバー機に正しく接続されていない。	ヤマハ AV アンプとサーバー機の接続を確認し、正しく接続しなおしてください。	MCX-1000 取扱説明書 (17 ページ)
	ヤマハ AV アンプが FM/AM 電波を受信していない。	ご使用のヤマハ AV アンプに付属している取扱説明書をご参照ください。	—
本機でヤマハ AV アンプのプリセット局の放送を聴いていると、音声が中断したり突然入力が切り替わることがある	別のクライアント機によってプリセット局が変更されたり外部入力音声の再生に切り替えられた。	別のクライアント機での操作を中断してください。	—
MCX-CA15のSTATUSランプが点滅する	ショートなどの理由で MCX-CA15 の保護回路が作動している。	スピーカーケーブルの芯線が接触していないか確認してください。すべての接続が正しいことを確認したら、本機のフロントパネル上の ON/OFF ボタンを約 10 秒間押し続けてシステムを再起動してください。	—

クイックメニューガイド

以下の図は本機のメニュー項目（太字）および設定値（細字）の階層を示したものです。



* 設定値の下線は初期値であることを意味しています。

用語解説

本書では普段あまり使わない特殊用語や MusicCAST 独自の用語などが使用されています。ここではこれらの用語をカテゴリー別に 50 音順で説明しています。

再生

アルバム

特定のアーティストに属す曲の集まりのことです。通常、1 枚の CD をサーバー機に録音すると、その CD は 1 つのアルバムとしてサーバー機に保存されます。

アーティスト

アーティストとはアルバムの演奏者のことで、サーバー機に録音された各アルバムは同一アーティストごとにグループを形成します。

ジャンル

ジャンルとはアルバムの分野（ロック、ジャズ、クラシックなど）のことで、サーバー機に録音された各アルバムは同一ジャンルごとにグループを形成します。

曲

再生に使用する最小単位です。曲とは CD やカセットなどの 1 トラックに相当する一連の音声のことです。

グループ

サーバー機やクライアント機が再生に使用する曲の集まりの単位です。例えば、曲単位ではなくアルバム単位で再生している場合は「アルバム」というグループを再生していることになり、ジャンル単位で再生している場合は「ジャンル」というグループを再生していることになります。

ブックマーク

お好みの曲を簡単に選ぶためにつけるチェックマークのことです。最大 999 曲まで、このブックマークをつけることができます。またブックマークをつけた曲のリストをブックマークリストといいます。再生する際にこのリストからお好みの曲を簡単に選曲することができます。

プレイリスト

サーバー機において、曲・アルバム・アーティスト・ジャンル名からお好みのものを選択して作成する再生曲リストのことです。最大 1007 個のプレイリストを作成することができます。各機器では、グループの再生と同様にプレイリスト単位で曲を再生することができます。

ライブラリー

サーバー機において、グループと保存したすべての曲を管理する場所です。

録音

MP3 フォーマット

「MPEG-1 Audio Layer 3」の略で、サーバー機のハードディスクに音楽データを録音する際に使用するデータフォーマットの 1 つです。高品質な音楽データであると同時に、圧縮率も非常に高いため（PCM フォーマットの約 10 分の 1 のサイズ）、大量の音楽データをハードディスクに保存することができます。

PCM フォーマット

「Pulse Code Modulation」の略で、サーバー機のハードディスクに音楽データを録音する際に使用するデータフォーマットの 1 つです。音の品質は非常に高いのですが、データサイズが大きくなるため、ハードディスクの領域をたくさん使用します。

ネットワーク

IP アドレス

ネットワークに接続した各機器に割り当てられる識別番号のことです。

CAT-5 ケーブル (LAN ケーブル)

Local Area Network (LAN) において、2 つの機器を接続するケーブルのことです。

サブネットマスク

ネットワーク内で特定の機器が属するグループを識別する数値のことです。

TCP/IP

「Transmission Control Protocol/Internet Protocol」の略で、ネットワーク上の機器が情報を共有できるようにその情報をコード変換するシステムのことで、

DHCP

「Dynamic Host Configuration Protocol」の略で、LAN 上の機器に対して IP アドレスを自動的に割り当てるシステムのことで、MusicCAST システムにおいては、任意の機器がネットワークにログインすると、DHCP サーバーから自動的に IP アドレスが割り当てられます。

ネットワーク

データや情報を共有する機器の集まりのことです。

ネットワーク接続

MusicCAST システムにおいて、サーバー機と各クライアント機が情報を交換するために必要な接続のことです。有線 LAN または無線 LAN で接続することが可能です。(本機は有線 LAN 接続のみ対応しています。)

有線 LAN

LAN ケーブル (ストレート) 経由で機器間のデータ通信をするネットワークのことです。

ハードウェア

CD

「Compact Disc」の略で、あらかじめデータが保存されている半径 12cm (5 インチ) のプラスチックディスクのことです。保存データを編集することはできません。

CD-R

「Compact Disc Recordable」の略で、CD と同様のプラスチックディスクですが、データを録音することができます。MusicCAST システムでは、サーバー機を使用してオーディオ用 CD-R にデータを保存することが可能です。保存データを編集することはできません。

CD-RW

「Compact Disc ReWritable」の略で、CD-R と同様にデータの録音が可能なディスクです。保存データを編集することができます。

IR フラッシュャー

赤外線を発光して外部機器に信号を送信する機器です。MusicCAST システムでは、AV リンク機能で使用します。

ソフトウェア

AV リンク

MCX-CA15のリモコンでヤマハAVアンプの機能（音量調節、入力切り替え、チューナーブリスセット局の切り替え）を操作する機能のことです。

メニュー

選択できる設定項目などが、リスト形式で表示されたものです。メニューはサーバー機およびクライアント機のディスプレイに表示されます。

仕様

オーディオ部

- 周波数特性 (EIAJ) 20 Hz ~ 20 kHz、± 0.5 dB
- 全高調波歪率 (EIAJ) 0.008%
- S/N 比 (EIAJ) 100 dB
- ダイナミックレンジ (EIAJ) 98 dB
- 出力レベル (EIAJ) 2.0 Vrms

一般

- 再生フォーマット MP3、リニア PCM
- 電源 / 電圧 AC 100 V、50/60 Hz
- 消費電力 5 W
- 動作温度 5 ~ 35 °C
- 寸法 (幅×高さ×奥行き) 120×120×106 mm
- 質量 (AC アダプターを除く) 0.6 kg

* 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

* オーディオ部の各数値は I/O ボックスを接続して測定したものです。

本機は「JIS C 61000-3-2」適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

● ヤマハ電気音響製品サービス拠点

- 北海道 〒 064-8543 札幌市中央区南十条西 1-1-50
ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108
- 仙台 〒 984-0015 仙台市若林区卸町 5-7
仙台卸商共同配送センター 3F
TEL (022) 236 - 0249
- 首都圏 〒 143-0006 東京都大田区平和島 2丁目 1番 1号
京浜トラックターミナル内 14号棟 A-5F
TEL (03) 5762 - 2121
- 浜松 〒 435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465 - 6711
- 名古屋 〒 454-0058 名古屋市中川区玉川町 2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター 3F
TEL (052) 652 - 2230
- 大阪 〒 565-0803 吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ(株)
千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262
- 四国 〒 760-0029 高松市丸亀町 8-7
ヤマハ(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045
- 九州 〒 812-8508 福岡市博多区博多駅前 2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



★永年ご使用の製品の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

- **保証期間**
お買い上げ日より1年間です。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**
 - ◆ **技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
 - ◆ **部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
 - ◆ **出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **持ち込み修理のお願い**
故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。
- **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定にご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくために AV 製品全般について記載しております。

製品の機能や取扱いに関するお問い合わせは、お客様ご相談センターにご連絡ください。

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 3459

住所 〒 430-8650

静岡県浜松市中沢町 10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00、13:00~18:00
(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきます。)



ヤマハ株式会社